

〔資 料〕

近代日本食物史 (完)

—新聞記事見出しに見る昭和初期 (1941-45) の食物事情—

加藤 澄江

The History of Food in Modern Japan (concluded)

—Food Conditions Seen in Newspaper Topics during the Early Showa Period (1941-45)—

Sumie Kato

本稿は太平洋戦争終結までのわが国の食生活の事情を明らかにすることを目的に、食に関する新聞記事の抜粋の保存データに基づき、資料の整理を試みるものである。序 (本誌 778 号)、I 期 (1926-30) (779 号)、II 期 (1931-35) (803 号)、III 期 (1936-40) (815 号) に続き、今回は最終の IV 期すなわち昭和 16 年 (1941 年) から昭和 20 年 (1945 年) までの 5 年間についての年表を発表する。

なお、参考として昭和 21 年 1 月~12 月までの 1 年間についての年表を付載する。

年 表

昭和 16 年 (1941 年)

【食品に関する記事】

1月7日	主婦の心得 利用は多いみかんの皮	朝日新聞東京
7日	お台所切抜帳 鯉の保存法	朝日新聞東京
8日	おくにの話題 百六十二貫の鏡餅を豊橋陸軍病院へ贈る	朝日新聞東京
14日	蜜柑の活用 奥田久司	朝日新聞東京
17日	家庭菜園 隣組でも工場でも 空地に作物 さっそく実行 食糧報国に共同栽培 空地利用協会専務理事 農学博士 早川直瀬	朝日新聞東京
25日	冬の早魃凶作の不安なし	朝日新聞東京
31日	食用になります おひたしなど試みて下さい お茶殻 陸軍獣医学学校幹事 宮本 三七郎大佐談	朝日新聞東京
31日	何を避難食に? 家族の人数に応じて 日ごろの用意	朝日新聞東京
2月3日	フランスから砂糖は絶望 遠いお葬式には弁当持参	朝日新聞東京
10日	ミカンの皮の活用 練り味噌を作る	朝日新聞東京
3月5日	代用甘味の使用 もし蜂蜜や飴が手に入れば	朝日新聞東京
9日	名物入りの代用食 節米駅弁どしどし登場	朝日新聞東京
14日	パンの時間売り 大森一主婦	朝日新聞東京
17日	材料を生かした郷土食 その土地のみの立派な国民食 女子栄養学園案	朝日新聞東京
4月11日	駅弁の新体制	朝日新聞東京
11日	京都のそば鮓 京都	朝日新聞東京
12日	立派な食用油 茶の実から これこそ何よりの更生法 東京市衛生試験所 奥田 久司氏談	朝日新聞東京

15日	月四回“肉なし日”決まる 料理店は二回 混入食も廃止	朝日新聞東京
21日	進歩した調理法 南方料理 特有の香辛料を用いて	朝日新聞東京
28日	正しい銃後の食生活 実物で見せる“国民食展”	朝日新聞東京
5月7日	茶殻利用のお惣菜 工夫ひとつで変わった風味 陸軍獣医学校 佐々木国夫少佐談	朝日新聞東京
6月7日	主婦の科学 味噌 醤油のカビ こうすれば防げます 女子経済専門学校教授 沼畑金四郎	朝日新聞東京
21日	主婦の常識 御飯をたく水 汲みたしと汲みおき水	朝日新聞東京
27日	食糧が街に溢れて困る アルゼンチンの嘘のような話	朝日新聞東京
29日	おいしくて経済 交替で買出しと調理 お隣近所との協力食事	朝日新聞東京
7月2日	魚の卵(一) 日大講師 黒沼勝造	朝日新聞東京
3日	魚の卵(二) 日大講師 黒沼勝造	朝日新聞東京
5日	主婦の常識 これからは朝とぎ お米の夜とぎは腐りやすい	朝日新聞東京
12日	野菜にこの工夫 配給難への主婦心得 東京衛生試験所栄養部長 近藤光之氏談	朝日新聞東京
15日	見捨てるな雑草 立派に野菜代用になります 小石川植物園 松崎直枝氏	朝日新聞東京
21日	代用コーヒー 味も香も良い たんぽぽの根や梧桐の実 小石川植物園園芸主任 松崎直枝氏	朝日新聞東京
25日	野菜不足の対策 無駄なく使う 南瓜 人参の調理法 厚生科学研究所国民栄養部 住田アヤ氏談	朝日新聞東京
28日	野菜不足の対策 何よりも海草 すばらしい日本茶の効果 慶應義塾大学医学部 助教授 原実博士談	朝日新聞東京
8月7日	主婦の常識 お手製の目盛りでメジャー・カップを利用 女子経済専門学校 沼畑金四郎	朝日新聞東京
28日	馬鈴薯 発芽を防いで 永く保存しましょう	朝日新聞東京
9月1日	とうもろこし保存の方法 東京府農会	朝日新聞東京
24日	百科相談 お味噌の酸味を抜く 村井孝子	朝日新聞東京
10月3日	代用コーヒー“豊年” 家庭で簡単に作れます 日野耕一路氏談	朝日新聞東京
10日	野菜長期貯蔵へ 家庭の漬物も一考の要 農林省特産課技師 熊沢三郎氏	朝日新聞東京
11月12日	椿と山茶花の実から立派な食用油 平田由子	朝日新聞東京
14日	缶詰一步をすすめて 味覚本位から栄養本位へ 農林省特殊食品課 徳安健太郎 技師談	朝日新聞東京
14日	越中新米の走り	朝日新聞東京
15日	季節の常識 魚類 寒ぶりの走り	朝日新聞東京
18日	季節の常識 野菜 白菜	朝日新聞東京
19日	季節の常識 魚類 スルメイカ	朝日新聞東京
20日	季節の常識 果物 みかん	朝日新聞東京
21日	季節の常識 魚類 イワシ	朝日新聞東京
28日	季節の常識 野菜 里芋	朝日新聞東京
29日	主婦の常識 惣菜 ちくわ	朝日新聞東京
12月2日	季節の常識 魚類 さば	朝日新聞東京
3日	季節の常識 魚類 ハタハタ	朝日新聞東京
4日	季節の常識 魚類 加工品	朝日新聞東京
6日	季節の常識 野菜 大根	朝日新聞東京
8日	大いに食べましょう いかやたこ 消化吸収率のよい栄養源 厚生科学研究所国民栄養部 樋口太郎博士談	朝日新聞東京
8日	利用法の多いみかんの皮 保存しましょう 奥田久司	朝日新聞東京
24日	鮭と鱒とどこが違う? お正月用品の“新巻”検分	朝日新聞東京

【栄養に関する記事】

1月1日	翼賛一家 新春の計 元日の夜に家庭常会 万事虚礼廃止	朝日新聞東京
1日	お屠蘇の効能 度を過ぎずに祝えばよいもの 厚生省薬品生産課長 松尾仁氏	朝日新聞東京
8日	医療豆読本 数の子・昆布の栄養と消化 原徹一博士談	朝日新聞東京
9日	医療豆読本 小魚の栄養価 原徹一博士談	朝日新聞東京
10日	医療豆読本 かまぼこの腐敗 原徹一博士談	朝日新聞東京
15日	練乳にも活用の道 こうして牛乳や重湯に混ぜる	朝日新聞東京
21日	お台所切抜帳 大豆の活用 厚生科学研究所国民栄養部 原徹一博士談	朝日新聞東京
27日	鍛錬の冬は耐寒食で あたたかいとて油断は禁もつ 東京市衛生試験所 近藤光之技師談	朝日新聞東京
29日	ビタミンD 召上れ 寒中にはぜひ沢山	朝日新聞東京
2月4日	野菜と糖分 煮かた食べかたの注意 日本女子大学家政学部	朝日新聞東京
18日	保健食の意義 配給米と栄養 どうしたら完全食になるか 科学化へ主婦の努力	朝日新聞東京
21日	すえ飯はたべられる 洗っても 干しても 雑炊でも	朝日新聞東京
22日	お台所切抜帳 胡桃の用途	朝日新聞東京
3月1日	国民食 展覧会と試食の会でわかる こんなお献立 妊産婦の国民食 細川まさ子 庄司よし子 越川美代子	朝日新聞東京
6日	国民食 授乳婦の分 女子栄養学園案	朝日新聞東京
7日	国民食 幼児の分 女子栄養学園案	朝日新聞東京
11日	国民食 成年女子(軽労作の分) 女子栄養学園案	朝日新聞東京
12日	国民食 成年女子(重労作の分) 女子栄養学園案	朝日新聞東京
29日	“肉なし日”には魚や貝などで栄養をとりましょう 調理次第でおいしい栄養献立 慶應病院食養部主任 芦澤千代女史談	朝日新聞東京
4月9日	哺乳瓶の洗い方	朝日新聞東京
9日	“馬”を丈夫にする 米より良質の蛋白質 馬糧としての茶殻 茶殻を集めて献納しましょう	朝日新聞東京
14日	栄養価十分の国民食パン お台所の福音 家庭でのこしらえ方 食糧国連盟常務理事 中澤弁次郎氏談	朝日新聞東京
15日	噛めばもろもろの味「国民食パン」の試食会	朝日新聞東京
18日	“配給米”を活かせ 台所栄養学 主婦の腕一つです 東京市衛生試験所 筒井政行氏	朝日新聞東京
21日	子供のお八つは一つの食事 お母様読本 栄養分に注意したい 女子栄養学園 園主 香川綾子女史の話	朝日新聞東京
29日	仕事と食物 熱量しらべ 戦時国民食展より	朝日新聞東京
6月26日	赤ちゃん栄養訓 乳児栄養十二訓のポスターを全国へ配布 大日本国防衛生協会	朝日新聞東京
28日	お母様へ注意 可愛い赤ちゃんへよい乳を与えましょう 東大教授 栗山重信博士の話	朝日新聞東京
7月7日	馬鈴薯 皮のまま蒸すこと 煮ると栄養価を失います 理研 井上兼雄	朝日新聞東京
11日	小麦粉のビタミン 焼いても煮ても破壊します 理研 井上兼雄	朝日新聞東京
25日	海苔や野菜で 野菜不足の対策 不足を補いましょう 厚生科学研究所 福井忠孝氏にきく	朝日新聞東京
28日	人工栄養の赤ちゃんへ 生馬鈴薯汁 絶好の果汁代用品 愛育研究所 武藤静子	朝日新聞東京
8月6日	栄養はよいか 銃後の生活 今秋行う栄養調査 内閣統計局 森労働課長の話	朝日新聞東京
12日	夏の授乳に御注意 牛乳を腐らせぬように 厚生科学研究所国民栄養部 福井忠孝氏談	朝日新聞東京
13日	離乳期の食餌(上) どんなものを与うべきか 若いお母様の心得 厚生科学研究所国民栄養部 福井忠孝氏調査発表	朝日新聞東京

14日	離乳期の食餌（下） 順序を追って 新しい食物の与え方 厚生科学研究所国民栄養部 福井忠孝氏の注意	朝日新聞東京
22日	トマトとその栄養 食べる場合にこの知識 自由学園科学グループ	朝日新聞東京
9月9日	不足を補う栄養 赤ちゃんへ煮干粉 卵や生魚のかわりに適当 栄養研究所 武藤静子女史談	朝日新聞東京
16日	児童の食生活（上） まず偏食を矯正 間食に注意しましょう 東京市保健館学校衛生部長 宮崎肇栄養士談	朝日新聞東京
16日	百科相談 生姜の栄養 一ノ戸伊勢子	朝日新聞東京
17日	児童の食生活（下） よき訓練こそ 健康にたいする第一条件 東京市保健館学校衛生部長 宮崎肇博士談	朝日新聞東京
24日	産後の食餌（上） 俗説に迷わず 十分な栄養食 カルシウムの補給 厚生科学研究所国民栄養部 福井忠孝氏談	朝日新聞東京
25日	産後の食餌（下） 偏食に陥らず 適量を過不足なく 厚生科学研究所国民栄養部 福井忠孝氏談	朝日新聞東京
25日	栄養価の多い向日葵の種子	朝日新聞東京
10月1日	育児の秘訣（上） 夜の目も寝ずに 子供達を護る 子宝部隊長 大谷ゆうさんの話	朝日新聞東京
2日	育児の秘訣（下） お弁当やお八つにも細かな心遣い 子宝部隊長 大谷ゆうさんの話	朝日新聞東京
23日	百科相談 野菜がもつ栄養量 近藤光之氏談	朝日新聞東京
11月21日	公共施設を利用しましょう① 手軽な金融機関 簡単な手続きで借りられる	朝日新聞東京
22日	公共施設を利用しましょう② “優生結婚” や育児奨励へ資金貸し	朝日新聞東京
25日	公共施設を利用しましょう③ 母と子の相談所 いろいろ親切な取計い	朝日新聞東京
26日	公共施設を利用しましょう④ 銃後の夜と食 主婦のよい相談相手	朝日新聞東京
12月5日	茶の葉から疲労回復の素 ビタミンCの抽出に成功	朝日新聞東京

【調理に関する記事】

1月4日	お手軽料理 スルメイカの巻き焼 宇多繁野	朝日新聞東京
7日	不時の来客 軽いお料理 蒲鉾のみどり酢 若葱のお椀 宇多繁野	朝日新聞東京
8日	不時の来客 軽いお料理 橙酢蠣 宇多繁野	朝日新聞東京
9日	この要領で 冬の台所に助かる燃料 御飯炊きとゆでる野菜	朝日新聞東京
9日	暖かい晩餐 大陸風の料理 山田政平氏案	朝日新聞東京
10日	お台所切抜帳 野菜・果物の皮の利用	朝日新聞東京
18日	大根の活用 おいしいハリハリの作り方	朝日新聞東京
20日	お台所切抜帳 ニコゴリ	朝日新聞東京
25日	お料理 野菜鍋	朝日新聞東京
27日	家庭科学 鉄瓶と薬罐との比較 セト引が一番早く沸く	朝日新聞東京
27日	生鱈のトマト焼 村井たか子	朝日新聞東京
29日	楽しみ鍋 寒い日のお料理 田中よね	朝日新聞東京
30日	蜂蜜の用途	朝日新聞東京
31日	鍋料理 たら豆腐鍋 白菜と油揚げの鍋 田中よね	朝日新聞東京
2月1日	温かいシチュー鍋 田中よね	朝日新聞東京
4日	鍋の活用 底の平たいものもいい 沼畑金四郎	朝日新聞東京
5日	お台所切抜帳 からい味噌漬	朝日新聞東京
5日	おいしい代用食 牛の腎臓脂を使って 鈴木まさえ	朝日新聞東京
6日	季節料理 おいしい三種 白菜のふるふき めざし潮汁 玉葱の鰯詰め 日本女子大家政学部	朝日新聞東京
6日	カキフライ あげ方の注意	朝日新聞東京

8日	季節料理 砂糖なしの酢のもの 日本女子大学家政学部	朝日新聞東京
11日	百科相談 パン焼き粉の自製 食糧学校	朝日新聞東京
12日	おやつ 鈴木まさえ	朝日新聞東京
13日	お料理 鏡大根 高橋虎松	朝日新聞東京
14日	兎の肉をおいしく食べるには	朝日新聞東京
14日	代用食 そばがき 高橋虎松	朝日新聞東京
15日	あたたかい飲みもの 葛湯	朝日新聞東京
18日	飲みもの フルーツドリンク	朝日新聞東京
20日	焼いも 家々でつくりましょう	朝日新聞東京
21日	お台所切抜帳 煮干をうまく使う	朝日新聞東京
25日	お台所切抜帳 牛蒡の茹で方	朝日新聞東京
28日	代用食 雑炊まかに炊き 高橋虎松	朝日新聞東京
28日	お料理 鯖ねぎ	朝日新聞東京
3月1日	お料理 鶯宿梅 高橋虎松	朝日新聞東京
3日	お料理 シャコ信田焼	朝日新聞東京
3日	鯨が入荷しました おいしい食べかたいろいろ 日本水産談	朝日新聞東京
5日	お料理 パンにつけるクリーム 鈴木まさえ	朝日新聞東京
5日	「甘味」を採るにはこの心がけ お砂糖の合理的な使用方法	朝日新聞東京
6日	お料理 吸物を上手につくるには	朝日新聞東京
6日	第一公式 一円三銭の国民食	朝日新聞東京
7日	むだのないお料理 頭や尾も 栄養価を活かしましょう 香川綾子女史談	朝日新聞東京
8日	お料理 蒲鉾の揚げもの	朝日新聞東京
10日	お料理 切ばし大根ゴマ酢合え	朝日新聞東京
13日	お料理 ブリのアラ粕汁	朝日新聞東京
13日	食物の好き嫌い 偏食を直す料理法五つ みそ汁A みそ汁B 人参のかりん糖 くわい煎餅 くわい松風焼 女子栄養学園案	朝日新聞東京
15日	早春の味覚 茨城県 小松澤ゑい子	朝日新聞東京
18日	お彼岸の精進料理 生椎茸の海苔酢 宇多繁野	朝日新聞東京
18日	魚や鶏肉 焼く順序	朝日新聞東京
19日	お彼岸の料理 あり合せの材料で 田中よね	朝日新聞東京
20日	お料理 くわいの磯部揚げ 宇多繁野	朝日新聞東京
21日	羊羹の切り方	朝日新聞東京
25日	五目豆腐の薄あんかけ“五人分” 秋穂敬子	朝日新聞東京
26日	のり巻 上手につくる秘訣	朝日新聞東京
4月1日	お台所切抜帳 玉ねぎの皮むき	朝日新聞東京
2日	お台所切抜帳 筍のゆで方	朝日新聞東京
3日	お料理 数の子沢庵漬雲丹和え 高橋虎松	朝日新聞東京
5日	お料理 ゴマ御飯 高橋虎松	朝日新聞東京
7日	お料理 はまぐりケチャップ和え 高橋虎松	朝日新聞東京
8日	お料理 焼漬け兎肉ねぎ二枚酢 高橋虎松	朝日新聞東京
9日	お台所切抜帳 お料理と米の磨ぎ汁	朝日新聞東京
10日	節肉料理の調理法 鯨肉の網焼 凍豆腐のクリーム煮 筒井孝三氏談	朝日新聞東京
11日	お弁当のお菜 兎肉の浸揚と茹の薑煮 秋穂敬子	朝日新聞東京
11日	食べられる草や花 春の山野から ハイキングのよいお土産 小石川植物園 松崎直枝氏談	朝日新聞東京
12日	お弁当のお菜 魚の味噌づけ焼とうどの甘酢 秋穂敬子	朝日新聞東京
16日	お弁当のお菜 いかの醤油干しとたけのこの粉節煮 秋穂敬子	朝日新聞東京
17日	ふき ことしは豊年 ふきを食べましょう 女子栄養学園	朝日新聞東京

19日	おいしく頂けます サンドウィッチの変わった中味 黒田初子	朝日新聞東京
19日	風流な やきいも代用 (きぬかつぎ)	朝日新聞東京
21日	お弁当のお菜 粕鱈の田麩と煎りばす 秋穂敬子	朝日新聞東京
22日	おさしみの醤油	朝日新聞東京
24日	お弁当のお菜 煎豆腐 秋穂敬子	朝日新聞東京
25日	お弁当のお菜 肉よせ焼きと筍煮物 秋穂敬子	朝日新聞東京
26日	お弁当のお菜 煎り鳥 秋穂敬子	朝日新聞東京
29日	お弁当のお菜 小鯔とうどの煮物 秋穂敬子	朝日新聞東京
5月1日	お料理 野草を利用 落と昆布の佃煮 小松澤い子	朝日新聞東京
1日	銃後の食生活① 工夫で活かせる 時局向のおやつ あまいアン代りにクルミや落花生を利用して (一) メリケン粉利用 (二) 蒸し菓子 (三) 干うどんの利用 (四) 寒天の利用 村井多嘉子女史談	朝日新聞東京
2日	銃後の食生活② 工夫で活かせる 棄てるな 魚の頭も臓物も立派なお料理ができます 宇多繁野女史談	朝日新聞東京
2日	お料理 ミートローフ 黒田初子	朝日新聞東京
2日	外米の臭み 簡単にぬける 日本女子大家政部	朝日新聞東京
3日	銃後の食生活③ 工夫で活かせる 食べられる いろいろの動物肉 調理次第でおいしくなる 山口留次郎氏談	朝日新聞東京
3日	節米代用食五つ これなら栄養も十分あります 建国だんご 里芋のおろしだんご 馬鈴薯の饅頭 卵の花ぱん 卵の花小判やき 日本女子大家政部	朝日新聞東京
3日	お料理 玉子とほうれん草サンドイッチ 黒田初子	朝日新聞東京
5日	お料理 よめ菜弁当 黒田初子	朝日新聞東京
6日	銃後の食生活④ 工夫で活かせる 野菜の屑 切れ端も皮も葉も 立派な副食物になる 秋穂敬子女史談	朝日新聞東京
6日	弁当のおかず 鯨のつけ焼き 胡瓜のうに詰 黒田初子	朝日新聞東京
7日	外米にねばり こうして出す 日本女子大家政部	朝日新聞東京
7日	お料理 あさりの菜穂いり 宇多繁野	朝日新聞東京
9日	栄養ある家庭パン お宅で簡単に作れます 日本女子大家政部	朝日新聞東京
10日	お料理 筍と昆布の煮しめ 宇多繁野	朝日新聞東京
12日	お料理 めざしのしぐれ煮 宇多繁野	朝日新聞東京
14日	主婦の科学 包丁の切れ味 引いて切るのが効果的です 女子経済専門学校 沼畑金四郎	朝日新聞東京
15日	お料理 鯛と若布の酢の物 宇多繁野	朝日新聞東京
16日	お料理 節米になるいわしのだんご汁 宇多繁野	朝日新聞東京
21日	食卓の野趣 わらび料理	朝日新聞東京
21日	おいしい新茶のいれ方	朝日新聞東京
24日	香を失わぬ胡瓜もみの作り方	朝日新聞東京
28日	お料理 若布と葱のお吸物 宇多繁野	朝日新聞東京
6月5日	お料理 節米になる印度風ケジリー 岩田廣重	朝日新聞東京
6日	捨てずに活かせる とろろ芋くずの利用	朝日新聞東京
6日	国民食お献立 御家庭で試食してはいかが 鯔のムニエル そら豆の塩ゆで ごぼうの辛煮 大日本生活協会内 国民食相談所発表	朝日新聞東京
22日	ガス 時間も費用も経済 電気の約半分で済みます 東京女子専門学校 守屋盤村氏談	朝日新聞東京
24日	主婦の科学 カラ煎りは大禁物 セト引き器具の扱い方 沼畑金四郎	朝日新聞東京
29日	甘辛お好みのビスケット 家庭で簡単にできます	朝日新聞東京
7月5日	市民代用食 代用食パン (三人分四十銭) 沼津電話	朝日新聞東京
6日	簡易お惣菜 人参と蒟蒻胡麻和え 高橋虎松	朝日新聞東京

8日	季節のお料理 鱈のニラなまず 宇多繁野	朝日新聞東京
12日	季節料理 いため野菜 高橋虎松	朝日新聞東京
14日	お料理 胡瓜紅葉和 片山富美子	朝日新聞東京
15日	ガスコンロの修繕	朝日新聞東京
15日	青豆呉汁 片山富美子	朝日新聞東京
17日	焼竹輪のキャベツ巻 田中よね	朝日新聞東京
24日	お料理 こんにゃく きゅうり けし酢味噌 田中よね	朝日新聞東京
25日	お料理 フィッシュボール 田中よね	朝日新聞東京
25日	お料理 鍋しぎ焼茄子 田中よね	朝日新聞東京
29日	お料理 太刀魚ムニエル 片山富美子	朝日新聞東京
8月6日	お料理 南瓜いわし 高橋虎松	朝日新聞東京
8日	野菜代わりに昆布を利用して家庭料理 おいしく頂けます 昆布の味噌汁 鯖のオボロ蒸し 昆布の冷スープ 出しがらの利用	朝日新聞東京
8日	お料理 南瓜まんじゅう 高橋虎松	朝日新聞東京
9日	こうして食べましょう 魚一尾買いの魚の処理法	朝日新聞東京
11日	栄養の多いお菜 昆布やわかめを使って 佃煮・わかめの胡麻塩 慶應病院食養部 芦澤千代氏談	朝日新聞東京
11日	お料理 ポテトターツ 黒田初子	朝日新聞東京
13日	お料理 ポテトペーパー 黒田初子	朝日新聞東京
15日	お料理 馬鈴薯や人参でおいしい漬物 遠藤ふく	朝日新聞東京
16日	昆布の佃煮 佃た醤油で 村井多嘉子女史談	朝日新聞東京
18日	小鱈の昆布巻 村井多嘉子女史談	朝日新聞東京
22日	お料理 馬鈴薯と玉葱のサラダ 黒田初子	朝日新聞東京
25日	お料理 馬鈴薯の味噌焼 高橋虎松	朝日新聞東京
26日	お料理 塩鮭のいため酢 高橋虎松	朝日新聞東京
29日	お料理 玉葱の丸煮 村井孝子	朝日新聞東京
9月4日	主婦の常識 ガラス器具の曇り こうして綺麗にしましょう 沼畑金四郎	朝日新聞東京
8日	お料理 玉葱の肉詰め 村井孝子	朝日新聞東京
8日	ほしうどんの食べ方 かびたものはこうなさい 東京市衛生試験所 筒井政行氏	朝日新聞東京
9日	百科相談 玉蜀黍の利用法 東京市衛生試験所 筒井政行氏	朝日新聞東京
10日	中華料理 溜全洋葱 片山富美子	朝日新聞東京
19日	家庭の福音 こしらえましょう お米の蒸しパン 栄養豊かな完全食 厚生科学研究所国民栄養部 福井忠孝氏談	朝日新聞東京
20日	磨ぎ汁の利用	朝日新聞東京
22日	お料理 北海道かれいの二味焼 宇多繁野	朝日新聞東京
30日	おいしい大麦の水飴 御家庭ですぐ出来ます	朝日新聞東京
10月2日	百科相談 食用酢の作り方	朝日新聞東京
8日	百科相談 ほしいいの利用法 厚生科学研究所国民栄養部 住田アヤ氏談	朝日新聞東京
11日	野菜大根の葉も利用 乾燥野菜を作しましょう 農林省特産課技師 熊澤三郎氏談	朝日新聞東京
14日	物の扱い方 ナイフ	朝日新聞東京
15日	じゃがいも餅 家庭で簡単に作れる お食事代わりに	朝日新聞東京
16日	野菜を利用して お子さんへ 臨戦型お菓子“おやつ”に恰好です 東京製菓学校 宮野忠吉氏談	朝日新聞東京
17日	物の扱い方 なべ	朝日新聞東京
25日	廃物利用 捨てる蔓から おいしいおかずが出来ます 森田久	朝日新聞東京
25日	包丁の使い方	朝日新聞東京
11月12日	お料理 かぶナス 宇多繁野	朝日新聞東京

13日	外米がおいしくなる “寒天” を利用した炊き方	朝日新聞東京
15日	おいしい“おやつ” みかん汁のおさつクリーム 東京市保健館 正木富貴子	朝日新聞東京
18日	お料理 廃品利用の野菜まんじゅう 河口愛子氏談	朝日新聞東京
19日	お料理 廃品利用の鳴戸まき 河口愛子氏	朝日新聞東京
21日	お料理 廃品利用の玉揚げ 河口愛子氏	朝日新聞東京
25日	燃料の節約 薪たき御飯	朝日新聞東京
29日	お料理 廃品利用の“これは結構” 河口愛子氏	朝日新聞東京
12月 2日	子供や病人にもよい 挽き茶と蜜柑汁の暖かい飲物 正木富貴子	朝日新聞東京
3日	お料理 大根利用のみそ蒸しとけんちん汁 厚生科学研究所国民栄養部 住田アヤ氏	朝日新聞東京

昭和 17 年 (1942 年)

【食品に関する記事】

1月 3日	食糧僅か二箇月分	朝日新聞東京
4日	長期戦と化学工業 大飛躍の機到る	朝日新聞東京
4日	王女への贈物 萎びた果物	朝日新聞東京
7日	味噌醬油を割当配給 六大府県の主要都市で実施	朝日新聞東京
8日	食糧公社を設置 食糧管理法案要綱 主要食糧の総合配給	朝日新聞東京
10日	米穀会計拡充決定	朝日新聞東京
10日	南方農業資源開発 きょう拓務省で打合せ	朝日新聞東京
12日	キナの栽培量 南方の植物資源	朝日新聞東京
13日	兵糧は お好み次第 熱帯圏の戦場	朝日新聞東京
14日	カード制で実施 大都市の野菜自給圏	朝日新聞東京
14日	甘藷 馬鈴薯価格きょうから改訂	朝日新聞東京
17日	パンに涙の舌鼓	朝日新聞東京
28日	お砂糖の宝船	朝日新聞東京
29日	暮塩特配	朝日新聞東京
29日	井野農相南方地方米作の蓬萊採らず 内外地自給自足を堅持	朝日新聞東京
29日	共栄圏 重要物資需要見通し	朝日新聞東京
30日	半分しかない丼御飯に非難	朝日新聞東京
30日	お台所に行き渡らぬ魚 原因は入荷不足	朝日新聞東京
30日	一人当たり 0.4 斤 お砂糖の特配量決る	朝日新聞東京
31日	漁場は北方に主力農相言明 有望な未開の底魚業	朝日新聞東京
31日	食糧難深刻化	朝日新聞東京
31日	一日発足の衣食新切符制	朝日新聞東京
31日	町内会の法制化既に腹案を有す地方局長言明	朝日新聞東京
31日	油脂の欠乏 米国の悩み	朝日新聞東京
2月 1日	自家味噌の移入 不足の隣組への融通はよろし あすからの切符制	朝日新聞東京
3日	労務者への配給米都合つき次第増配農相答弁 外米輸入促進	朝日新聞東京
3日	お魚の登録制配給が実施されて二ヶ月余	朝日新聞東京
3日	魚の新配給制 四日目位に一人卅匁は行渡る	朝日新聞東京
5日	戦時下食糧対策	朝日新聞東京
6日	お魚の新ルート至極順調	朝日新聞東京
6日	酒屋さん衣更え きょうから家庭用配給所	朝日新聞東京
7日	プランクトンから薬用 工業用油	朝日新聞東京
8日	お魚が余ります マグロも五千貫以上の入荷	朝日新聞東京

10日	生活必需品とは？ 議会で基準を明示	朝日新聞東京
10日	主要食料品の配給 総合切符制は困難 食品局長答弁 家庭用に優先割当	朝日新聞東京
10日	日常食料品の配給円滑に努力 配給機構を今後改善	朝日新聞東京
11日	米の切符制	朝日新聞東京
12日	「満腹」の攻城軍 食傷する鹵獲の牛缶	朝日新聞東京
12日	強い日本にロンドンの憂鬱 食糧泥棒横行 一列車の中身掻払う	朝日新聞東京
13日	消える実績 お酒は配給の一本槍 清酒一世帯二月分は五合	朝日新聞東京
13日	二月分の乾菓子配給 塩乾魚の新Ⓔ	朝日新聞東京
15日	日満支を通ずる 自給強化体制確立 戦時食糧部会の答申	朝日新聞東京
20日	野菜の季節価格	朝日新聞東京
21日	台所へ玉葱援軍今日明日	朝日新聞東京
22日	一向に姿見せぬ祝賀ビール小売店へは配給済み	朝日新聞東京
24日	玉葱の臨配は廿八日	朝日新聞東京
26日	食用油を増配 多人数家庭へ	朝日新聞東京
27日	味噌醤油の通知帳出来上る 来月三日迄に家庭へ配布	朝日新聞東京
3月1日	台湾トマト近くお目見得	朝日新聞東京
1日	二三日遅れる玉葱	朝日新聞東京
1日	御神酒を捧げて祈る 生死も榮辱もただ砲と一体	朝日新聞東京
3日	米実収高近く発表 新調査方法の全国集計成る	朝日新聞東京
3日	味も栄養価も内地のものと変らない家庭を賑わす「台湾トマト」	朝日新聞東京
3日	丁香の産地 香料島アンボン① 九大教授 林博 金平亮三	朝日新聞東京
4日	肉配給も人数制に	朝日新聞東京
4日	昔に変わる姿 香料島アンボン② 九大教授 林博 金平亮三	朝日新聞東京
4日	戦時下の施設 準備全し銃後の食糧配給陣	朝日新聞東京
6日	南方の水産物漁場の総面積実に数百万平方哩 東秀雄	朝日新聞東京
8日	ウイスキーの原料	朝日新聞東京
10日	お酒五合を特配 陸軍記念日に	朝日新聞東京
10日	魚の行列買に救いの手	朝日新聞東京
12日	米飯と酒	朝日新聞東京
15日	市内共同献立配給所一覧表	朝日新聞東京
15日	行列買をやめて 共同献立配給所を利用せよ	朝日新聞東京
16日	椰子の一夜酒 東京農業大学教授 農博 住江金之	朝日新聞東京
17日	お肉を公平配給 家庭の人数で増す	朝日新聞東京
19日	大豆も新たに加わり食糧の重要性 食糧あるいは食糧総会増産へ本年度生産目標 きまる	朝日新聞東京
19日	比島の砂糖公定価	朝日新聞東京
20日	米穀証券改称「食糧証券に」	朝日新聞東京
20日	お菓子にも規格版 種類も限定出廻りも円滑に	朝日新聞東京
20日	代用コーヒー統制	朝日新聞東京
24日	野菜の出廻り好調 隣組配給制	朝日新聞東京
25日	お酒五合を配給	朝日新聞東京
25日	まだ千町歩の空地蔬菜を作れ 市で種子も斡旋	朝日新聞東京
26日	米の心配は無用 吉田ハノイ総領事談	朝日新聞東京
26日	米穀証券借換発行	朝日新聞東京
27日	魚の配給に朗報 各家庭へも一日置き	朝日新聞東京
27日	蕎麦の集荷配給統制一定化	朝日新聞東京
28日	皇后陛下 御紋菓に榮える式典 健気な覚悟述べる遺児代表 紅白一對の御紋菓	朝日新聞東京
31日	あすからお魚が毎日買えます	朝日新聞東京

4月1日	理想には遠いが…久し振りにどっと鮪	朝日新聞東京
1日	野菜栽培や精米も弾雨下で勤勞 比島に活躍の台湾公隊	朝日新聞東京
5日	家庭菜園一年中とれる四尺固定時の栽培法	朝日新聞東京
5日	四月分の配給菓子	朝日新聞東京
6日	出廻らぬ魚を狙上に 大口消費者へは要求の区別 生鮮度は著しく低下 各種省 調査官業者と懇談	朝日新聞東京
6日	サゴ椰子 佐々木喬	朝日新聞東京
7日	野菜にも実体調査	朝日新聞東京
7日	次はビルマからお米	朝日新聞東京
7日	野菜評定 八月までに目鼻つく	朝日新聞東京
9日	十年計画の食糧増産案	朝日新聞東京
9日	もうすぐ届くぞ ビルマ米の味 兵隊さんが贈る宝船	朝日新聞東京
15日	露天食堂	朝日新聞東京
16日	「外米」の改名	朝日新聞東京
16日	水なし戦線 バタアン血戦に 焼け付く咽喉で叫ぶ 水はあとだ 前進 空っぽ 水筒で五日間	朝日新聞東京
17日	米穀楽観は禁物 南方諸地域も減産の恐れ 農林省総務局長放送	朝日新聞東京
17日	大祭で特記 今日もお酒は一升ずつ	朝日新聞東京
18日	春の野菜 にはら	朝日新聞東京
19日	日用食料品の適正配給	朝日新聞東京
21日	野菜心配なし 空襲あっても鉄壁陣	朝日新聞東京
21日	砂糖の山も今は夢 どん底へ追いこまれる米国	朝日新聞東京
21日	ビール 四月分二本	朝日新聞東京
21日	五月からパン切符 常食者は米と差引 子供と産婦に一箇月五食分	朝日新聞東京
22日	粉卵を配給 乾燥粉卵を一般家庭に	朝日新聞東京
22日	皇軍の温情に泣く比島医師の手記	朝日新聞東京
23日	南方案内 比律賓の食物	朝日新聞東京
23日	食糧の配給確保 日商建議 恒久策を樹立せよ	朝日新聞東京
23日	日々の生活の中へ 習慣として解け込む 生活即防空の新生活態度	朝日新聞東京
24日	大いに利用したい 妊婦に増配されるパンの切符制	朝日新聞東京
25日	南の砂糖を特配 兵隊さん有難とう嬉しい五月	朝日新聞東京
26日	この頃は殆ど毎月欠かさず各家庭にお酒の配給をしている 酒と日本菓子	朝日新聞東京
26日	春の野菜ほうれん草の作り方注意	朝日新聞東京
28日	食べ切れぬは米の泉 ラングーンから「内地」へ補給	朝日新聞東京
29日	南からのお米 湯河長官の視察談	朝日新聞東京
5月3日	南のお砂糖 七日頃から特配	朝日新聞東京
5日	大都市食糧問題の対策(上) 雑草にも栄養価 丸本彰造	朝日新聞東京
6日	大都市食糧問題の対策(下) 解決は電撃的に 丸本彰造	朝日新聞東京
8日	アンボンをゆく「果物にも親日値段」いつか商人にも馴染	朝日新聞東京
8日	ヒマの種子	朝日新聞東京
10日	柏餅に寄せて	朝日新聞東京
13日	めっきり減った女学生の外食 一ヶ月の生活費しらべ	朝日新聞東京
13日	お砂糖を繰上配給 六七月分を今日中に	朝日新聞東京
13日	五月分のお酒 一世帯五合	朝日新聞東京
13日	野菜鮮魚の配給 閣議で改善を決定	朝日新聞東京
13日	自由に作れる種子なし果実	朝日新聞東京
14日	柏餅楽屋話 一生菓子商店	朝日新聞東京
14日	春の野菜 里いも	朝日新聞東京

16日	四箇月振り 蘇る砂糖 “共栄圏へ贈水”と張切る二百万	朝日新聞東京
16日	日本ビールの凱歌	朝日新聞東京
16日	ガラス器から瓶へ 湿気を除けて保存 砂糖の濫費をつつしめ	朝日新聞東京
16日	つるな今が蒔き時	朝日新聞東京
17日	惜しんで食べるな これから中毒季節 魚の鮮度の保ち方見分け方 慶應病院食養部 芦澤千代氏談	朝日新聞東京
17日	魚屋の登録替え断行 十九日から廿一日までに手続き変えない家庭も再録	朝日新聞東京
19日	すくすく伸びる復興の稲苗 お米の国ビルマに響く建設譜	朝日新聞東京
20日	帝都へ鱈の大群 三陸沖に季節外れの襲来	朝日新聞東京
20日	果物屋の倉庫生活	朝日新聞東京
21日	お米配給正確に親切に 全国に奉仕運動展開	朝日新聞東京
22日	配給は明朗第一 お米のサービス懇談会開く	朝日新聞東京
22日	濫りに農地を消すな 食糧の確保へ 宅地変更に釘	朝日新聞東京
23日	配給所の登録替	朝日新聞東京
31日	全国米屋さん大会	朝日新聞東京
6月2日	お魚入荷嬉しい激増	朝日新聞東京
4日	お魚毎日売る 余るほどの入荷ぶり	朝日新聞東京
5日	衣食は絶対に困らぬ 大きな原住民の信頼 ビフテキもパンも思いのまま 最近のジャバの話	朝日新聞東京
5日	隣組の配給	朝日新聞東京
6日	二十日から食用油配給	朝日新聞東京
7日	青物類の公価 年一本建か 面白くない季節別㊦	朝日新聞東京
9日	どうすればよいか 主婦の悩み 買物行列 魚商業組合で解消へ五つの試案	朝日新聞東京
9日	マレーに朗らかな増産進軍 農事研究所を視る 自給しよう 米 蔬菜何でも出来る農業の宝庫	朝日新聞東京
10日	慰問品について	朝日新聞東京
10日	抽選でパン特配	朝日新聞東京
13日	魚屋の立場	朝日新聞東京
13日	茶がなくて悲鳴 ここにも米英の悩み	朝日新聞東京
14日	六月分のビール配給 残酒を抽選で配給	朝日新聞東京
18日	満州国から大豆近く大量入荷	朝日新聞東京
20日	正しく申告せよ 配給の台帳	朝日新聞東京
21日	今年は南瓜の当り年 帝都の台所へ日に百二十四万貫入荷	朝日新聞東京
21日	勿体ない供物	朝日新聞東京
23日	貯蔵の鰯特配	朝日新聞東京
26日	青果組合に警告 不公平があるとの市民の声	朝日新聞東京
28日	魚配給に警告 粗悪品横行	朝日新聞東京
30日	お盆増配お菓子と醤油	朝日新聞東京
7月1日	家庭へ安くてよい魚 帝都だけの公価標準決定 鮮度や入荷量によって変る	朝日新聞東京
1日	マグロ大量入荷	朝日新聞東京
2日	スラバヤにて 水も滴る冬菜 西瓜 住民の手を執り二箇月の汗 野菜の栽培	朝日新聞東京
6日	マレーの食糧不安なし 三年で完全自給 開墾と増産 代用食も奨励	朝日新聞東京
7日	ビール 今月は四本宛	朝日新聞東京
7日	魚の片寄らぬ対策 全国一律に鮮度評価	朝日新聞東京
7日	歓声揚った「白い豆腐」浙袴戦線に物の不足と闘う兵隊	朝日新聞東京
8日	牛乳値上げ 一合十一銭五厘に	朝日新聞東京
10日	お化け野菜を一掃 農林省規格の評価を監督	朝日新聞東京
10日	豊作予想される 作付は極めて順調 農相報告	朝日新聞東京

10日	八月分は二倍に 前線からのお中元 砂糖	朝日新聞東京
16日	首相顔づく 日光で豆腐屋と問答	朝日新聞東京
17日	「時なし大根」の種 家庭 隣組菜園 三万人に配布	朝日新聞東京
21日	鯉節を割当て配給 九月頃には各家庭へ	朝日新聞東京
24日	夏の菜園 秋いんげんの播種 農林技師 熊澤三郎	朝日新聞東京
25日	ご飯の保ち方 油でいためるか 焼いておく 住田アヤ氏談	朝日新聞東京
25日	口をあけたらはやく飲め 清涼飲料水 東京市衛生試験所 奥田久司氏	朝日新聞東京
26日	港一杯鯨だらけ 熊野太地港内で人間と取組み	朝日新聞東京
27日	冬まで貯蔵せよ どっと南瓜と馬鈴薯	朝日新聞東京
29日	出荷にご褒美 さあ来るぞ野菜 お魚	朝日新聞東京
30日	よく選んで貯えよ 冬まで十分保つのはよく熟した南瓜と馬鈴薯	朝日新聞東京
8月4日	一人が日に一丁半 お豆腐に自由登録制	朝日新聞東京
5日	お菓子は二十銭 サイダーは一本ずつ 八月の配給	朝日新聞東京
7日	食用油の配給 数量と方法	朝日新聞東京
7日	お菓子の値段改正 廿日頃から中級品一本建て	朝日新聞東京
7日	鯉節にも新公価	朝日新聞東京
7日	豆腐にも㊦	朝日新聞東京
7日	牛乳に監察隊 組合で自粛	朝日新聞東京
9日	野菜の保存法 土瓶に入れて床下へ 岩村守	朝日新聞東京
9日	米と砂糖に公価設定必需品の供給愈々円滑化	朝日新聞東京
9日	地方食糧営団 十月中に設立	朝日新聞東京
9日	鮮魚の購入はなるべく登録店で	朝日新聞東京
20日	北から銃後へ贈物 海の幸を溢れるばかり お礼には故郷のお野菜	朝日新聞東京
20日	米屋さんの大陸開始 近く最初の集団転業	朝日新聞東京
20日	生活問答 乳児用牛乳購入票の効力	朝日新聞東京
20日	果物だより① 南方から銃後へ まさに千紫万紅 到るところで一品果物屋の氾濫 昭南島 特派員報告	朝日新聞東京
21日	果物だより② 南方から銃後へ ドリヤンの魅惑 昭南島 特派員報告	朝日新聞東京
22日	果物だより③ 栄養価に富む南国の香り豊かな果実果汁 昭南島 特派員報告	朝日新聞東京
22日	乾いた暗い所へ 缶詰は保存の方法次第	朝日新聞東京
25日	比重を見れば配給卵の新古がわかる 女子経済専門学校 沼畑金四郎	朝日新聞東京
26日	生活問答 玄米の配給申込み	朝日新聞東京
28日	みかん去年程でなくてもまず昨年並に農林省出荷を督励	朝日新聞東京
28日	牛乳の配給 幼児や病人に優先	朝日新聞東京
28日	うれしい第三列 子持ちの母と妊婦 八百屋さんの美しい取計らい 麻布区元広尾町 斎藤みよ子氏推薦	朝日新聞東京
9月1日	生活問答 下宿 寄宿への配給	朝日新聞
2日	台所へ総裁の贈物 役人風は吹かさず親切配給 きょう中央食糧営団発足	朝日新聞
3日	お酒九月分の配給	朝日新聞
5日	今月のお菓子配給	朝日新聞
5日	青果も近く統制配給 片寄る品を全市に行渡らす 野菜不足これで一掃	朝日新聞
8日	青果物の登録配給 まず「おさつ」から 出盛りの十月中旬実施	朝日新聞
8日	十月お台所を賑わす 味は満点の“新米”感謝の心で食べよう	朝日新聞
9日	月一本を配給 新公価で月末から かつお節	朝日新聞
9日	あすから医療米配給	朝日新聞
9日	鰯を筆頭に鯉や鯖 お台所へ入荷好転のお知らせ	朝日新聞
9日	生活必需品だけは公平確実に配給する 新発足した食糧営団の解説(上)	朝日新聞
10日	麦の価格調整	朝日新聞

10日	行列の心配なし 配達も掛売りもやる 食糧営団の解説(下)	朝日新聞
11日	東京府食糧営団きょう設立委員会	朝日新聞
11日	果汁の濃さがわかる 瓶に貼られた「ボーム」の表示 女子経済専門学校 沼畑金四郎	朝日新聞
12日	鯉節と削り節値上げ この公価で家庭配給	朝日新聞
12日	出回りを円滑に 野菜の公価近く改訂	朝日新聞
12日	作れ 冬の野菜 空地利用に本腰	朝日新聞
13日	殖える林檎や白菜 青果の入荷割当決る	朝日新聞
15日	待望のおさつ特配 一人百匁ずつの割合	朝日新聞
20日	八十銭以下の蒲焼や にぎり鮭は八銭 食欲の秋に新公定価格	朝日新聞
22日	婦人の協力次第で行列買いも解消する 配給 消費 指導の三者を一丸に	朝日新聞
24日	食べ物の節約もお国へご奉公の心で 銃後生活を明朗にする座談会	朝日新聞
26日	幾つかの型で配給 冬までに行列を解消 銃後生活明朗にする座談会	朝日新聞
27日	情実買いをやめよ “横流れ”の原因になる	朝日新聞
28日	“行列買いはぜひ止めて” 協力会議第二日目 山高女史経済常会を提唱	朝日新聞
29日	子供は一般の倍 十月分の配給決る	朝日新聞
29日	買い漁りに厳罰 闇取引を断乎摘発	朝日新聞
29日	品物を売惜しまず 闇のない明るい営業へ 銃後生活を明朗にする座談会	朝日新聞
30日	食糧の配給 あらゆる施策通じ改善	朝日新聞
30日	新Ⓔのすし 鰻とりあえず一日から	朝日新聞
10月 1日	油脂酒などを追加 鉄道の計画輸送に新種目	朝日新聞
1日	お互いに自制が必要 銃後生活を明朗にする座談会	朝日新聞
2日	辻出しは順調 きょうから天ぷら すしに新Ⓔ	朝日新聞
2日	悪い前例を残さず 銃後生活を明朗にする座談会	朝日新聞
3日	八百屋さんの監視隊	朝日新聞
7日	行列買いに救いの手 妙案練って忽ち実行	朝日新聞
7日	おいしい新米 来週食膳に 感謝をこめて頂きましょう	朝日新聞
8日	お米に玉蜀黍が混ざります	朝日新聞
8日	行列しなくとも買える八百屋のよいお手本 市へ提案「地域登録制が最上」	朝日新聞
9日	玄米希望者だけ配給	朝日新聞
10日	いも類も営団で配達 主食物の総合配給近く店開き	朝日新聞
10日	主婦達も反省せよ 行列解消に協力の要	朝日新聞
11日	家庭にvariなし 小麦粉 乾麺 パン類を一手分配 きょう府食糧営団生る	朝日新聞
11日	新穀の上納 十二日より五日間	朝日新聞
11日	魚屋の登録配給 前住者の実績とは何等関係なし 市戦時生活配給第二課談	朝日新聞
12日	二三月分まとめて炭焼戦士へ特配 米味噌無駄な下山解消	朝日新聞
12日	不平等者は遠慮を申合わせ 当番が笑顔で手伝い 残りの主婦は楽しく家事へ	朝日新聞
13日	砂糖と菓子	朝日新聞
13日	伊 食糧不安なし 国家組織と精神力で克服 小麦は近年になき増収	朝日新聞
16日	お菓子の配給品 期限前に売切れるはずはない	朝日新聞
16日	砂糖菓子の更生 安岡常雄寄	朝日新聞
16日	卵の殻も大豆汁も 立派な代用洗濯剤	朝日新聞
20日	地方食糧営団年内に 組織完了	朝日新聞
20日	特配小麦粉 お米と差引き	朝日新聞
21日	八百屋の立場 早尾金次朗寄	朝日新聞
22日	内地ばかりか南方まで牛乳の需要に応ずる 十年計画で乳牛増殖に乗出す	朝日新聞
24日	値段や数量を表示 野菜行列買い解消の協議会	朝日新聞
25日	食物総力戦 砂糖代用に柿の皮 日本女子大食物室	朝日新聞

25日	市場だより きょう魚の入荷 魚市場	朝日新聞
26日	野菜増産に援兵 八百屋さん勤労奉仕	朝日新聞
27日	不足もいまが峠 あと二週間ぐらいの辛抱	朝日新聞
28日	野菜 東京へ出動令 キャベツ部隊大根部隊など 日に五十万貫を目標	朝日新聞
28日	蔬菜行列解消へ 百の対策より実行が大切 翼政代議士築地市場を視察	朝日新聞
29日	食用油を配給 十二月迄の分	朝日新聞
29日	明治節ウレシイナ お菓子の増配 コドモは五十銭ずつ	朝日新聞
11月1日	お魚行列も止めよう 五案を出して創意実施を指導	朝日新聞
1日	隣組の合意でやれ 八百屋選びも配給方法も御自由に	朝日新聞
1日	油をなめてはいかん 量目調査実施	朝日新聞
1日	登録に生きた「見本」行列もなく明るい店前風景	朝日新聞
3日	家庭登録は六日迄に	朝日新聞
3日	市場だより きょう魚の入荷量 魚市場	朝日新聞
3日	野菜の登録制を業務用にも実施 これで家庭用は大丈夫	朝日新聞
5日	名物菓子も一安心 特別値段で売ってよし	朝日新聞
6日	無くしたい行列や闇 台所代表は叫ぶ 経済協議会初登場の紅二点	朝日新聞
6日	乾燥タマゴ配給きまる	朝日新聞
6日	風月など二十五軒 和生菓子特級店と新公価決る	朝日新聞
6日	学童に副食物を！ 府協力会議 三委員会開く	朝日新聞
6日	妊産婦に栄養品 六大都市の厚生協議会開く 東京市	朝日新聞
7日	水産食糧営団の設置 京浜地区魚類配給統制会で成案	朝日新聞
7日	あすから鯨赤肉 希望の家庭へ配給される	朝日新聞
8日	蔬菜購入票 十日までに各家庭へ	朝日新聞
8日	三世帯百匁 鯨肉切符制 百匁三十五銭	朝日新聞
8日	赤ちゃんの牛乳 翼賛会で懇談会開き円滑化を期す	朝日新聞
11日	帝都へ蜜柑の配給 一人当り一貫五百匁	朝日新聞
12日	多すぎる店や少ない店 お野菜登録に種々相 購入方法は殆んど個人別	朝日新聞
15日	行列もなく隔日配給 お野菜十六日から登録制に 入荷量を掲げて明るく公平に	朝日新聞
17日	市場で青物問答 助役さん親心の視察	朝日新聞
17日	きょう野菜の登録制販売始る 先ず順調の迂り出し 初日は一人当り六十五匁	朝日新聞
17日	捨てるな葉類 まだ六割は食べられる 厨芥しらべ(上) 東京市衛生試験所 近藤光之氏の話	朝日新聞
18日	行列買は先ず解消 警視庁監視隊の報告集	朝日新聞
18日	捨てる前に まずその活用を考えよ 厨芥しらべ(下) 東京市衛生試験所 近藤光之氏談	朝日新聞
18日	満州からおそば 挙納に際し市民へお裾分け	朝日新聞
18日	千葉から甘藷	朝日新聞
19日	鉄箒 玄米是非 率島生 配給所と玄米 北川生	朝日新聞
19日	野菜の分荷を迅速に 青物商組合から協力を要望	朝日新聞
19日	神宮奉献の満州そば	朝日新聞
20日	順調なすべり出し 消費者たちに安全感 “野菜の隣組登録制”の成績	朝日新聞
20日	一人では持てない「個人買い」を採用の実例	朝日新聞
22日	お野菜の登録と台所の心得 先ず貯蔵すること 一・二ヶ月の入荷減に備えよ	朝日新聞
25日	お正月の餅はお米から差引く 一人一キロは全国一律	朝日新聞
26日	悪い点は直しましょう 野菜登録 十日間の成績調べ	朝日新聞
12月1日	早く買えます 野菜やお魚 新たに輸送会社建設	朝日新聞
3日	成る程素晴らしい 名物菓子の初物検査	朝日新聞
3日	市民のお台所へ快報二つ 積上げたお野菜の山 冬枯に備えて貯蔵の下相談 早	朝日新聞

	くなるお魚の配給 無駄なく運ぶ輸送会社が誕生	
3日	お菓子 今月も子供五十銭 楽しい配給日きまる	朝日新聞
4日	千葉から正月用海苔	朝日新聞
5日	野菜 霜枯に備えて こうして貯蔵せよ 東京市農漁課 山本技師談	朝日新聞
9日	お正月の牛豚肉を特配 廿八日から五人家庭に八十匁	朝日新聞
12日	一世帯に一尾 鮭鱒特配決る	朝日新聞
15日	お正月用に特配 粉末鶏卵	朝日新聞
15日	玄米食は山の手に激増	朝日新聞
16日	牛豚に新最高価格	朝日新聞
16日	年の瀬のお台所に朗報 野菜の出回りに拍車 季節価格に弾力性きょうから実施	朝日新聞
17日	台所へおく一つの基準 一人当り四十五銭 戦争下一日分の最低食費 生活改善中央会	朝日新聞
17日	外食者と食堂 麻布生	朝日新聞
17日	お正月に盛り沢山のご馳走 牛豚肉に鶏卵 鰹節や蜜柑も特配決る	朝日新聞
17日	特殊工場の戦士へ酒五合	朝日新聞
18日	正月酒は配達する 各隣組で一括して申し込めば他の特配品も届ける	朝日新聞
19日	蜜柑 一人当り約五個 廿日から配給します	朝日新聞
25日	どっと出まわるお魚類の見分け方食べ方	朝日新聞
27日	子供用の菓子は二つに分類	朝日新聞
29日	正月用焼ちくわ 二人以上の世帯へ配給 魚市場	朝日新聞
29日	食糧戦の必勝を期す 中央農業協力会全国に新運動展開	朝日新聞
29日	外米に鍛え上げた舌だ 黒い御飯で敵の謀略に勝て	朝日新聞
29日	郵便局に餅の山 田舎からの贈答品に局員大汗	朝日新聞
31日	御馳走は孔雀 雹に故国を偲ぶビルマ	朝日新聞

【栄養に関する記事】

1月14日	妊婦を届出制に	朝日新聞東京
19日	豆科学 桃の速成に成功 カルフォルニア大学 W・E・ランマーツ博士	朝日新聞東京
23日	南方作戦と伝染病(上) 固体の抵抗力 季節によって変動 矢追秀武	朝日新聞東京
24日	南方作戦と伝染病(中) 酷熱と抵抗力ビタミンB ₁ の効力 矢追秀武	朝日新聞東京
25日	南方作戦と伝染病(下) 免液体の産生へ ビタミンB ₂ の効力 矢追秀武	朝日新聞東京
29日	食糧戦にも完勝の胃腸を	朝日新聞東京
29日	栄養価を全部利用 健康体をつくれ 時局と食べ方の研究	朝日新聞東京
29日	食物と栄養	朝日新聞東京
31日	鰯・鮭で蛋白確保 農相答弁 小宮山七十五郎氏	朝日新聞東京
31日	合理的な使い方味噌醤油の配給制実施に主婦の心得べき栄養上の注意	朝日新聞東京
2月9日	食物と栄養について 桜井芳人著 原徹一	朝日新聞東京
14日	二尾食べれば栄養満点 半乾いわし	朝日新聞東京
18日	熱帯果実とビタミン① バナナ パパイア パイナップル 理研所員 農博 山本亮	朝日新聞東京
19日	菓子か薬か	朝日新聞東京
21日	熱帯果実とビタミン② マンゴウ サボデラ パッションフルーツ 理研所員 農博 山本亮	朝日新聞東京
21日	少ない材料を活かせ 勝つための食生活	朝日新聞東京
22日	熱帯果実とビタミン③ セイロンオリーブ タロリンドセイロンオリーブ シュガーアップル カスタードアップル サワリップ バサバザクロ カランボラ アボガートルペーア 理研所員 農博 山本亮	朝日新聞東京

22日	滋養分も看板倒れ この頃衛生氾濫するお菓子までがこの栄養剤	朝日新聞東京
23日	豆科学 人参の黄色色素 カロチンはビタミンAと同様な作用をもつ	朝日新聞東京
24日	先ず母体に御注意軽視できぬ「新産児脚気」 貴重な保健婦の報告	朝日新聞東京
26日	お米や肉は豊富 野菜不足にはバナナ料理など 自給のマレー兵站部	朝日新聞東京
28日	味噌より栄養の多い新しい調味料「トマト煉り」	朝日新聞東京
3月3日	食糧と栄養① 変らぬ栄養量 米配給制の効果 理研職員 井上兼雄	朝日新聞東京
4日	食糧と栄養② 節米の効果 企まずして栄養改善 井上兼雄	朝日新聞東京
5日	食糧と栄養③ 節食から健康へ デンマークの好適例 井上兼雄	朝日新聞東京
8日	魚類副産物から重要なビタミン	朝日新聞東京
15日	うっかり信用出来ない“母乳検査薬”に注意	朝日新聞東京
18日	理研の今昔① 耀かしい業績 満二十五年を迎えて 辻二郎	朝日新聞東京
19日	理研の今昔② 研究論文三万頁 廿五年間の成果 辻二郎	朝日新聞東京
20日	理研の今昔③ 純正科学研究へ 千五百名の人材 辻二郎	朝日新聞東京
29日	食物の量と質	朝日新聞東京
4月10日	これから多くなる乳児の消化不良症 子を持つ母の注意が必要	朝日新聞東京
11日	母乳で育てたい 注意すべき人工栄養	朝日新聞東京
12日	軍用食糧に貢献 日本農芸化学会 春の学会展望	朝日新聞東京
21日	暗闇でも見えるビタミンAの効果	朝日新聞東京
22日	魚介類で補え 足りない栄養価 パンを食べる人々の注意	朝日新聞東京
22日	生卵と同じ栄養価 配給の粉卵	朝日新聞東京
25日	乳児とパン	朝日新聞東京
5月4日	大都市食糧問題の対策 雑草にも栄養価	朝日新聞東京
18日	保健上焦眉の急 南洋の食生活と栄養(上)	朝日新聞東京
19日	反省を要する点 南洋の食生活と栄養(下)	朝日新聞東京
20日	七分搗復活	朝日新聞東京
29日	赤ちゃんへ福音 牛乳の一定量が入る 全粉乳と調製粉乳の使い方	朝日新聞東京
29日	新茶の効用 疲れを休めるヘキソノールの香 ヴィタミンCを多量に含む 理研所員 井上兼雄氏談	朝日新聞東京
31日	牛乳類に頼らず育児法も“日本式”へ 興亜の赤ちゃんに凱歌揚る	朝日新聞東京
6月3日	魚の臓物にある素晴らしい栄養価 但し 腐敗し易いのが欠点	朝日新聞東京
4日	消化吸収率がよく赤ちゃんには好適 椰子油の栄養価と調理法	朝日新聞東京
6日	重湯ばかりでは赤ちゃんは育たない 牛乳や粉乳で育てる秘訣	朝日新聞東京
7日	栄養 食味申分ない 冷凍鯨肉のもどし方 しかしすぐ食べてしまうこと	朝日新聞東京
10日	赤ちゃんの命とりメレナ ビタミンKの不足から	朝日新聞東京
12日	血が止まらぬ ビタミンK不足の対策	朝日新聞東京
8月8日	生活問答 乳の出ない母の悩み 市消費経済部 沖原配給課長談	朝日新聞東京
9日	食味も香りもよく ビタミンも破壊されぬ 今後安くなる冷凍野菜や果物	朝日新聞東京
11日	あるもので補え 赤ちゃんの栄養源 工夫次第で何からでも採れる	朝日新聞東京
21日	栄養分が多いちくわ 小鯰二, 三尾に匹敵する 東京市衛生試験所食品実験室	朝日新聞東京
9月4日	妊娠脚気に利く ビタミンBの多い野菜類 理化学研究所 井上兼雄氏談	朝日新聞
15日	胚芽粉が登場 御飯にメンザイを混ぜるビタミンB ₁ の補給法	朝日新聞
10月9日	身体に抵抗力がつく ビタミンB ₁ の偉大な効果	朝日新聞
21日	捨てずに利用せよ 野菜に魚に含まれている栄養価	朝日新聞
11月7日	栄養士になりたい 資格を取るための信用ある学校 市衛生試験所 近藤光之氏談	朝日新聞
11日	離乳期に注意せよ 人工栄養児もよく育つ	朝日新聞
14日	青年期の結核予防 ビタミンBの補給が大切	朝日新聞
26日	玄米の話① 栄養成分が多い 消化をよくする炊き方で 長所を活かし節米に協力せよ 農林省米穀利用研究所 永原太郎技師の話	朝日新聞

27日	玄米の話② 欠点をよく心得て十分なカロリーを摂れ 栄養学的に節米の達成へ 理化学研究所 井上兼雄氏談	朝日新聞
28日	玄米の話③ よく噛んで食べよ 活かせる多量にある栄養分 理化学研究所 井上 兼雄氏談	朝日新聞
29日	玄米の話④ 石灰の多い菜っ葉を食べて不足を補うことが大切 理化学研究所 井上兼雄氏談	朝日新聞
12月 1日	玄米の話⑤ 炊き方次第 軟らかな御飯もできる 玄米食指導本部 石野彦行氏談	朝日新聞
2日	玄米の話⑥ 三十分以内で 早く炊ける方法 玄米食指導本部 石野彦行氏談	朝日新聞
3日	玄米の話⑦ 私には白米以上 玄米食の実行の体験を聴く 東京女高師講師 近 藤耕蔵氏談	朝日新聞
4日	玄米の話⑧ 風もひかない 玄米食実行の体験を聴く 東京府結婚奨励組合第二 相談所 小林珠子女史談	朝日新聞
5日	玄米の話⑨ 噛めばおいしい 玄米食実行体験を聴く 大審院判事 岡村玄治氏談	朝日新聞
5日	玄米食実践を懇談	朝日新聞
9日	玄米の話⑩ 消化もよい 胃を刺激する繊維の効 伝染病研究所 荒川清二氏談	朝日新聞
10日	玄米の話⑪ みな丈夫になる 玄米食実行部落の実例 伝染病研究所 矢追秀武 博士	朝日新聞
13日	皮膚の鍛錬には 慶應病院皮膚科 中村博士談	朝日新聞

【調理に関する記事】

1月 2日	両陛下御祝御膳に兵食	朝日新聞東京
2月18日	お台所の秘訣醤油の倍加法	朝日新聞東京
18日	きょう戦捷を祝ってお手製料理 カレーライス	朝日新聞東京
3月 3日	お料理 めざし蒲焼	朝日新聞東京
4日	ものを煮るコツ ガスの科学的な使い方	朝日新聞東京
6日	主婦の心得 配給の調味料 上手な使い方	朝日新聞東京
7日	ハモの調理法 味もよく栄養もある 家庭向き切落し料理	朝日新聞東京
7日	非常炊出し 銃後の隣組心得	朝日新聞東京
8日	お料理 めざし寿し	朝日新聞東京
14日	調味料を無駄なく使う 一日一人分割当を知って	朝日新聞東京
18日	まず子供へ その効果的な食べ方 牛豚肉の配給	朝日新聞東京
25日	野菜なるべく生で経済的栄養的な食べ方 市衛生試験所調理主任 筒井政行氏の話	朝日新聞東京
26日	野菜をおいしくする重宝な代用マヨネーズ 市衛生試験所調理部試作	朝日新聞東京
29日	必勝食生活の実践 来月八日 主婦の御台所常会	朝日新聞東京
31日	じゃがいもの皮のむき方 主婦の常識	朝日新聞東京
4月 5日	雷魚の刺身	朝日新聞東京
7日	春の野菜 春菊の食べ方	朝日新聞東京
7日	材料を活かして必勝食生活を実行 あすは大詔奉戦日の隣組常会 女子栄養学園 香川綾女史に聞く	朝日新聞東京
8日	きょうは主婦常会議せよ！ 必勝食生活	朝日新聞東京
10日	春の野草 食べ方いろいろ 小原植物園 松崎直枝氏	朝日新聞東京
12日	味噌とメリケン粉 有効な合理的使用方法	朝日新聞東京
12日	根の赤くなったほうれん草はこうして食べる	朝日新聞東京
12日	簡単に作れる代用牛乳	朝日新聞東京
14日	台所が何より自慢 臨海院(静岡県新居町)の改善ぶり 地方に拾う戦時生活集①	朝日新聞東京
15日	この頃の配給魚 上手なおいしい食べ方	朝日新聞東京
15日	吹きだすと鈴の鳴る釜 片山さんの台所改善ぶり 地方に拾う戦時生活集②	朝日新聞東京

17日	とうの出来たあぶら菜の花 こうして食べる	朝日新聞東京
19日	非常炊出しにこの注意	朝日新聞東京
26日	頭も骨も利用して塩鮭 鱒を使った必勝食	朝日新聞東京
28日	季節ものの野菜類 無駄のない食べ方	朝日新聞東京
5月1日	おいしい飴玉 増配の砂糖を利用して 子供の喜ぶおやつ	朝日新聞東京
1日	東印の食物	朝日新聞東京
2日	塩鮭 塩鱒の塩抜き法	朝日新聞東京
9日	むし料理や饅頭 全日本食生活指導者連盟総務 白石和正氏談	朝日新聞東京
12日	栄養分の多い昆布 必勝食生活に申し分なし	朝日新聞東京
15日	でんぶを利用して 砂糖不足を補うお料理	朝日新聞東京
21日	のしかで珍しい即席料理	朝日新聞東京
24日	白米よりもうまい玄米	朝日新聞東京
28日	上手に使えば…配給の醤油で充分足りる	朝日新聞東京
28日	栄養食の炊き出し いざの場合に備えて 隣組の糸乱れぬ講習ぶり 空襲時の炊き出しの講習	朝日新聞東京
29日	主婦の工夫一つ おいしい「だし」が出来る 一戸伊勢子氏談	朝日新聞東京
30日	海藻の栄養と持ち味を活かすコブの佃煮の利用法 全日本食生活指導者連盟 白石和成氏談	朝日新聞東京
6月9日	配給の魚に梅干 つゆ時に注意したいこと 香川綾氏談	朝日新聞東京
18日	おいしいおやつ 小麦粉で栄養ビスケット 日本女子大教授 手塚かね氏談	朝日新聞東京
19日	おやつ 栄養ビスケット 日本女子大教授 手塚かね氏	朝日新聞東京
21日	時局むきのおやつ 配給品を少しづつ残して 田中よね	朝日新聞東京
21日	堅いうちに塩漬け 梅干のつくり方心得 東京農業大学教授 農博 住江金之氏	朝日新聞東京
23日	代用食器の選び方 うっかりすると模様で中毒 東京市衛生試験所技師 奥田久司氏談	朝日新聞東京
24日	南瓜料理 吉野煮 厚生科学研究所国民栄養部 住田アヤ氏談	朝日新聞東京
28日	栄養の多いかぼちゃ ビタミン給源として好適 厚生科学研究所国民栄養部 住田アヤ氏談	朝日新聞東京
28日	栄養も逃がさず 色も味も変わらない 燃料節約の科学的炊事法（上）	朝日新聞東京
30日	もち味も活きる 燃料節約の科学的炊事法（下）食糧報国連盟 草木源二郎氏談	朝日新聞東京
7月1日	南瓜料理 しんじょ 酢の物 厚生科学研究所国民栄養部主任 住田アヤ氏談	朝日新聞東京
1日	いそがしい人々に 感謝された共同炊事 農繁託児所の勤労報告書 国民生活学院 水上久子	朝日新聞東京
1日	食品に工業品に 古くから微生物による醗酵 岡部連	朝日新聞東京
2日	工業の新分野 醗酵化学の著しい発達 かびの効用 岡部連	朝日新聞東京
5日	鮪のおいしい食べ方	朝日新聞東京
7日	砂糖いらずの茶菓 干なつめのおいしい食べ方 日本女子大 小笠原節子氏	朝日新聞東京
16日	戦時下女性として心得べき調理と栄養 女学校の家事の重要性	朝日新聞東京
26日	おいしいおやつ 馬鈴薯を油でいためて 馬鈴薯せんべい 焼馬鈴薯二種	朝日新聞東京
29日	節米に利用したい さつまいもの葉柄 栄養価も高い立派な代用食	朝日新聞東京
29日	火をつめて炊くこと 御飯の上手な保存法 厚生科学研究所国民栄養部 住田アヤ氏談	朝日新聞東京
31日	食べ物の腐敗どめ 水分を抜いて	朝日新聞東京
8月7日	魚ここまで戴けます けさお歴々を前に歩留り実演会	朝日新聞東京
16日	高い温度で短く 天麩羅の上手な揚げ方 大日本生活協会 守屋磐村氏談	朝日新聞東京
16日	どうしたらよいか お米の大敵 穀象虫 何より効果的な硼酸末の利用 大日本生活協会 守屋磐村氏談	朝日新聞東京
18日	濡れた布を巻いて 木炭節約 簡単で経済的な使い方 大日本生活協会 守屋磐	朝日新聞東京

	村氏談	
26日	おいしく頂ける配給のうどんの変った食べ方二種 日本女子大学校家政部	朝日新聞東京
28日	夏やせしないジャバ香辛料理の効果	朝日新聞東京
29日	兵隊さんも喜ぶジャバ香辛料理の献立	朝日新聞東京
9月11日	いわし料理 無駄のない風変りな調理法 カレー焼 味噌煮 ふりかけ 慶應病院食養部 芦澤千代氏談	朝日新聞
10月2日	南瓜を使って変った季節向きのお料理 いま比較的豊富に出回っている南瓜の変った料理 一戸伊勢子	朝日新聞
3日	南瓜の料理 あべかわ 一戸伊勢子	朝日新聞
6日	南瓜料理 田楽 一戸伊勢子	朝日新聞
8日	食物総力戦 サンマの上手な食べ方 東京市衛生試験所 筒井政行氏談	朝日新聞
9日	食物総力戦 かぼちゃの食べ方 東京市衛生試験所 筒井政行氏談	朝日新聞
10日	食物総力戦 白菜の上手な食べ方 東京市衛生試験所 筒井政行氏談	朝日新聞
13日	食物総力戦 イワシの食べ方 一戸伊勢子氏談	朝日新聞
14日	食物総力戦 さつまいもの食べ方 東京市衛生試験所 筒井政行談	朝日新聞
15日	食物総力戦 大豆粉の利用法 食糧協会 岡部皆太郎氏談	朝日新聞
16日	食物総力戦 乾燥鶏卵の食べ方 秋山長治郎氏談	朝日新聞
17日	食物総力戦 高菜を食べましょう 農林技師 熊澤三郎氏談	朝日新聞
20日	食物総力戦 調味料に佃煮の利用 白石和正氏談	朝日新聞
21日	食物総力戦 豆腐のこしらえ方 深川越中島陸軍糧秣本廠内食糧協会 岡部皆太郎氏談	朝日新聞
22日	食物総力戦 里芋白煮の作り方 東京市衛生試験所 筒井政行氏談	朝日新聞
23日	食物総力戦 さつまいもの利用法 一戸伊勢子氏談	朝日新聞
24日	食物総力戦 無理のない玄米の食べ方 食糧報国連盟 中澤弁治郎氏談	朝日新聞
27日	食物総力戦 鯨肉の上手な食べ方 慶應大食養部 芦澤千代氏談	朝日新聞
28日	食物総力戦 節米に小麦粉の利用 東京市衛生試験所 筒井政行	朝日新聞
29日	食物総力戦 落花生しるこの作り方 銀座三越戦時市民生活展	朝日新聞
30日	食物総力戦 いかの上手な使い方 一戸伊勢子氏談	朝日新聞
31日	食物総力戦 大根の葉 茎の利用法 一戸伊勢子氏談	朝日新聞
11月2日	食物総力戦 白菜 キャベツの芯も利用 一戸伊勢子氏談	朝日新聞
3日	食物総力戦 黴びた早漬たくあん 駒井孫三氏談	朝日新聞
5日	食物総力戦 佃煮こうなごの利用法 白石和正氏	朝日新聞
6日	食物総力戦 白菜鍋料理の作り方 一戸伊勢子氏談	朝日新聞
7日	市場だより きょう入荷の魚類 魚市場	朝日新聞
7日	食物総力戦 アチャラ漬の作り方 東京農業大学教授 住江金之博士談	朝日新聞
8日	食物総力戦 大根の一夜漬け 東京農業大学教授 住江金之博士談	朝日新聞
10日	加工するのが安全 さつまいもの保存法 農林省米穀利用研究所木原芳次郎博士談	朝日新聞
14日	配給のくじら肉 おいしく食べる調理法 大洋捕鯨株式会社 鈴木三弥氏談	朝日新聞
12月3日	子供にもおいしく ビタミンの効果も多い 玉蜀黍入りお米の炊き方	朝日新聞
4日	市場だより 魚市場	朝日新聞
18日	炊事用の木炭量 自ずから標準がある 台所の必勝心得	朝日新聞
19日	主婦の工夫ここにあり (一) 野菜を貯えよう 漬けるお塩はある筈です 東京戦時生活局配給部長 磯村英一談	朝日新聞
20日	主婦の工夫ここにあり (二) 十分乾かしてから 野菜類の有効な塩漬け法 農林技師 熊澤三郎氏談	朝日新聞
22日	主婦の工夫ここにあり (三) 大根・人参・葱などの貯蔵法 東京市戦時生活局配給部長 磯村英一氏談	朝日新聞
23日	主婦の工夫ここにあり (四) 凍らず腐らぬ 野菜類の上手な貯蔵法 農林技師	朝日新聞

	熊澤三郎氏談		
24日	主婦の工夫ここにあり (五) 土をかぶせて 野菜類の上手な貯蔵法 農林技師 熊澤三郎氏談	朝日新聞	
25日	主婦の工夫ここにあり (六) 栄養を逃さぬ 野菜類の上手な貯蔵法 理化学研究 所 井上兼雄氏談	朝日新聞	
27日	主婦の工夫ここにあり (七) 必ず水にもどす 便利な乾燥鶏卵の使い方 大東亜 生活協会 村上秀子氏談	朝日新聞	
27日	玄米こう炊け 翼賛会でコッ披露	朝日新聞	
27日	ガス割当量で十分 要は使い方一つです	朝日新聞	
27日	必勝へ戦う台所陣に贈る 配給米 一層黒くなります 搗きを減じて玄米に接近	朝日新聞	
29日	主婦の工夫ここにあり (終) 正月の献立 特別配給の鮭 鱒 数の子で 慶應 病院食養部 芦澤千代女史談	朝日新聞	

昭和 18 年 (1943 年)

【食品に関する記事】

1月5日	戦時生活 今日のお知らせ 魚の入荷・芋パン	朝日新聞
6日	戦時生活 今日のお知らせ 野菜の初荷	朝日新聞
7日	戦時生活 今日のお知らせ お魚の入荷	朝日新聞
21日	戦時型のお酒登場 お米を少く使い量を多くする	朝日新聞
24日	国民学校の弁当に味噌汁とお魚 東京市で配給します	朝日新聞
2月1日	学童のお弁当に鮭鱒 一人卅匁 三日から学校で配給	朝日新聞
2日	試食用を配給 さあ玄米食だ 玄米嚙んで勝ち抜こう	朝日新聞
2日	戦時生活 今日のお知らせ 野菜 玉ネギ出廻る お魚の入荷	朝日新聞
3日	お酒の配給量が殖えます 生産労務者が第一 家庭用も相当に増加の優遇	朝日新聞
4日	勤人はお弁当を持参 外食は困難になる 料理屋のお米九割五分(最高)減配	朝日新聞
4日	大人はお菓子遠慮 二月分は子供と老人だけに配給	朝日新聞
7日	乾魚と牛乳に統制団体生る 府水産物荷受組合 東京牛乳小売商業組合	朝日新聞
3月2日	学童へ佃煮とお豆を特配	朝日新聞
2日	お菓子の配給 帝都は前日通り	朝日新聞
2日	戦時生活 今日のお知らせ 魚の入荷 イワシ出廻る	朝日新聞
3日	戦時生活 今日のお知らせ 甘藷の配給	朝日新聞
4月1日	生鮮食料品に新対策 価格に弾力性 規格を整理	朝日新聞
2日	お菓子の値段改訂 お煎餅類はそのまま	朝日新聞
2日	お魚に季節別の公価	朝日新聞
3日	お酒 現在は三級品が最高 街で飲む人は値段にご注意	朝日新聞
3日	よい茶は山吹色で透明 今月末から出まわる新茶	朝日新聞
7日	養護児童二千人に乾燥鶏卵	朝日新聞
15日	今日のお知らせ 魚の入荷	朝日新聞
22日	酸くなった牛乳 腐敗ではない 利用せよ	朝日新聞
29日	お惣菜の自粛値 いよいよ近く実施の運び	朝日新聞
29日	えびす顔の増産戦士 仕事終わればビールと菓子の“饗宴”	朝日新聞
5月2日	今日のお菓子配給 乳児 児童 高齢者だけ	朝日新聞
4日	品質の悪い牛乳 業者に警告 配給されたらすぐお飲み下さい	朝日新聞
6日	帆立貝三十銭が最高 おでん 小料理屋も自粛値	朝日新聞
11日	花より食べよう 不忍池の蓮根を戦う台所へ	朝日新聞
11日	「押玄米」は作るな 努力ばかりで節約にはならぬ	朝日新聞

13日	情実買いをなくす お魚の登録	朝日新聞
21日	パン食にジャム増配	朝日新聞
6月2日	さつまいもを植えましょう 一坪から三貫目できる“飯郷”(さつまいもの新種)	朝日新聞
4日	粗悪調味料に断	朝日新聞
9日	一坪も遊ばせないぞ“花より団子”の垂範 各大臣官邸に蔬菜園	朝日新聞
10日	大豆と馬鈴薯 お米と差引 食糧営団が配給準備	朝日新聞
13日	マグロ千本 大挙して入京	朝日新聞
15日	佃煮の公価改正 二割方値上げし粗悪品を追放	朝日新聞
15日	配給籠 新ジャガ	朝日新聞
16日	配給籠 まぐろ	朝日新聞
17日	まぐろ大量入荷つづく	朝日新聞
17日	鯛やエビにも限度 配給品とほぼ同量	朝日新聞
18日	お魚 新鮮で早く 魚商組合支部を三分の一に統合	朝日新聞
20日	食糧増産の決戦策 労働面の改善へ 農民に誠意をもて 東浦庄治	朝日新聞
23日	駅弁も重点販売	朝日新聞
25日	高過ぎたお惣菜自粛値 農林省告示に触れ八月以降は無効	朝日新聞
25日	飲食料品は五厘下り	朝日新聞
25日	夏の牛乳配給 隣組を通じて	朝日新聞
27日	牛乳の酸敗を避け 搾乳は朝夕二回に	朝日新聞
29日	“おやつ”とは思ふな お米代用馬鈴薯きょうから一人一キロを配給	朝日新聞
30日	七月分お菓子の配給 乳児児童および高齢者に配給 配給方法	朝日新聞
30日	総合食堂も自粛値 二部に分け最高は二円五十銭 七月一日から	朝日新聞
30日	配給籠 マダラ 常磐方面より入荷	朝日新聞
7月1日	供米を総合推進 主食糧の配給調整期待	朝日新聞
1日	帝都へ南瓜を大量に	朝日新聞
2日	実施方策を協議 食糧増産 学徒などの動員	朝日新聞
3日	文士連 田植の手伝い	朝日新聞
3日	ヨイコ達が増産へ奉仕 内原のおさつ 南瓜よ よく稔れ	朝日新聞
4日	作家たちの一日百姓 中村屋湖氏以下男女の作家十一名	朝日新聞
4日	給食にも器材難 イギリスの小国民 ストックホルム渡辺特派員	朝日新聞
4日	食糧関係の防訓 帝都で大々的に興行	朝日新聞
6日	宮古で酒の等差配給	朝日新聞
7日	最高は五円まで 四階級で成るだけ定食売りに 西洋料理八日から実施	朝日新聞
7日	“芋飯で頑張ろう” この秋から差引配給	朝日新聞
7日	醸造用大麦 価格引上げ	朝日新聞
8日	米 味噌は空から補給 ニュウギニヤに戦う道路部隊	朝日新聞
8日	粗悪ソースに警告	朝日新聞
9日	小麦粉配給 お米と差引に	朝日新聞
10日	演習場にも薯や豆 陸軍が民間へ無償貸付	朝日新聞
11日	共栄圏の週間記録 自給農場を新設 食糧増産へ画期的飛躍	朝日新聞
11日	日仏印の物資供給 わが提案を受諾 協定数日中に急速妥結	朝日新聞
11日	入荷不足が原因 配給量の減少は都制と無関係 蔬菜類 魚介類市場へ打診	朝日新聞
13日	朝鮮水稲植付状況	朝日新聞
13日	学生食堂は打切り 学校も外食の経営に当るが休暇明けまでに解決	朝日新聞
15日	七十四翁も“お若い”仲間入り お米三合に漂う必勝魂	朝日新聞
15日	モヤシなどを特配 野菜夏枯れの対策	朝日新聞
15日	新生ビルマの経済再編成 特産米に万全の措置 英の破壊から全産業更正	朝日新聞
15日	北海道から馬鈴薯	朝日新聞

16日	食糧増産と地主	朝日新聞
16日	醬油のカビ防ぎ 熱湯で消毒してから密封	朝日新聞
17日	諸の統制改正 価格改訂と共に決定	朝日新聞
17日	諸類の移動と緩和	朝日新聞
17日	おやつ時代はすぎた 諸飯で勝ち抜け 全国に大増産運動	朝日新聞
17日	麦供出を快速調 重った田植えと収穫の繁忙に克つ 燃ゆる農家の必勝魂	朝日新聞
18日	配給籠 魚	朝日新聞
20日	食糧に臨機の措置 東條首相 食糧増産対策についての心構えを説く	朝日新聞
20日	味淋 白酒も家庭へ配給	朝日新聞
20日	配給籠 野菜 果実	朝日新聞
21日	翼壮 麦甘藷の増産推進	朝日新聞
21日	八月の常会徹底事項 徹底的な決戦食生活の実践 混食の実行 郷土食の励行 玄米食の実行	朝日新聞
22日	価格を悉く公定 魚介増産へ 物価協力会議 農林省へ建議	朝日新聞
22日	配給籠 魚	朝日新聞
22日	楽しくなる食生活 身近の野草を利用しましょう 郷土食の提唱	朝日新聞
23日	帝都へ野菜の進軍 茨城県から茄子や胡瓜	朝日新聞
23日	米穀補助金 規則きょう公布	朝日新聞
23日	配給籠 野菜	朝日新聞
24日	生菓子 毎月特別に配給 従来の配給とは別に	朝日新聞
24日	料理屋へも上酒 八月配給 お勘定はお客の手で	朝日新聞
24日	玄麦 売渡価格引上げ	朝日新聞
24日	配給籠 魚	朝日新聞
25日	野菜を貯える方法 玉ネギ バレイショ 南瓜 キュウリ ナス 菜物	朝日新聞
25日	主食観の是正へ 重要な栄養源 決戦下の食糧 甘藷 馬鈴薯	朝日新聞
27日	配給籠 野菜	朝日新聞
28日	野菜の出廻り好調 貯蔵する様にと都からの注文	朝日新聞
28日	野菜を無駄にせず 保存の方法を考えよ 家庭で簡単に出来る“乾燥野菜” 夏 大根の葉 南瓜 瓜 西瓜の皮 冬瓜 玉葱 トマト 馬鈴薯	朝日新聞
29日	配給籠 魚	朝日新聞
31日	配給籠 お魚	朝日新聞
8月1日	配給籠 野菜	朝日新聞
3日	日の丸弁当登場 駅弁十三年ぶりに値上げ	朝日新聞
3日	配給籠 野菜	朝日新聞
4日	配給籠 魚	朝日新聞
5日	乾パン差引配給 お米一合に六十匁	朝日新聞
5日	お芋の土まみれ 婦人協力隊 配給の店開き	朝日新聞
5日	配給籠 小麦粉	朝日新聞
7日	配給籠 満州大豆	朝日新聞
8日	共栄圏の週間記録 小麦粉三割増 農産物全面的に増収	朝日新聞
8日	配給籠 小麦粉	朝日新聞
10日	甘藷に感謝しつつ(上) 大森洪太	朝日新聞
10日	にしんを配給 一世帯五十匁	朝日新聞
10日	配給籠 野菜	朝日新聞
11日	野菜は塩漬せよ 茄子等は廿年来の豊作	朝日新聞
11日	配給籠 魚	朝日新聞
11日	甘藷に感謝しつつ(下) 大森洪太	朝日新聞
13日	外食券や青果の配給 関東地方行政協議会一部初幹事会	朝日新聞

13日	玉蜀黍の稗から糖蜜	朝日新聞
15日	食糧を貯蔵せよ 主婦よ 創意を凝らす秋だ	朝日新聞
17日	一つ外食券で結構 青果類の持ち出しも同步調	朝日新聞
17日	配給籠 魚	朝日新聞
18日	きゅうり 乾燥貯蔵法	朝日新聞
20日	配給籠 魚	朝日新聞
22日	出回りは大衆もの第一に お野菜や果物新公働の狙い	朝日新聞
24日	家庭へ缶詰の筍 ジャムも出廻る	朝日新聞
25日	野菜とソバを増産 種子を安く頒けます	朝日新聞
27日	配給籠 魚	朝日新聞
28日	共通外食券 生米は五日分まで 神奈川は横浜外二市だけ通用	朝日新聞
28日	非常時用野菜 作り方と貯え方	朝日新聞
9月1日	野菜 果物の買出し 業務用は御法度 あすから一般も制限	朝日新聞
1日	果物 妊婦 病人等へ優先配給 切符に準ずる証明書発行	朝日新聞
2日	大世帯に増配 九月からの家庭用食料油	朝日新聞
3日	薯を貯蔵しよう 黒い斑病と温度にご注意	朝日新聞
4日	塩たら類に新公働	朝日新聞
4日	配給籠 妊産婦に洋菓子	朝日新聞
5日	配給籠 湾内イワシ	朝日新聞
9日	貯蔵食にソバ 渋谷区で増産	朝日新聞
14日	早場米供出に力瘤 おいしい新米 来月はお台所へ	朝日新聞
15日	病人 乳幼児 妊婦へ きょうから果実の配給が行われます	朝日新聞
17日	お蕎麦くぞくと入京	朝日新聞
18日	稔りの青果類 都入り	朝日新聞
18日	家庭には上の味噌を 業務用には並の味噌を配給 廿日からの値上に監視の眼	朝日新聞
19日	順調になる鰯の配給 鰯の夜間訪問はしばらく御辛抱を	朝日新聞
29日	果実の増配 妊婦 乳幼児 病人へ	朝日新聞
10月1日	一石二鳥の野菜作り 待避壕の土手を利用せよ	朝日新聞
1日	佃煮 干物が配給されます	朝日新聞
2日	配給籠 魚	朝日新聞
3日	お豆の配給 お総菜用の豆類が配給されます	朝日新聞
3日	料理飲食業を五種類に 決戦型業態の取締要綱が決る	朝日新聞
4日	食糧増産の完遂 農商省	朝日新聞
5日	毒茸の見分け方 よく調べて採ること 在来の俗信はあてにならぬ	朝日新聞
6日	業務用に馬肉 牛豚は家庭へ	朝日新聞
6日	青森りんごの出荷計画	朝日新聞
6日	近く三日目に一度 今暫く御辛抱のお台所 魚の配給はよくなるか	朝日新聞
7日	ソースの配給	朝日新聞
7日	配給籠 魚	朝日新聞
7日	よく干す程旨くなる 特配の塩を上手に使え 沢庵と浅漬	朝日新聞
9日	配給籠 魚	朝日新聞
12日	配給籠 野菜	朝日新聞
12日	埼玉葱近く出廻り	朝日新聞
12日	佃煮あすから特配	朝日新聞
14日	南瓜で旨い栄養パン お手製の酵母でよくふくれる	朝日新聞
15日	パン働改正 十八日から実施	朝日新聞
16日	銚子からお魚列車	朝日新聞
16日	外地も食糧増産へ 朝鮮 台湾第二次対策急速に拡充	朝日新聞

16日	おさつの自動車	朝日新聞
16日	サンマ	朝日新聞
17日	春秋に楽しめる 家庭で簡単に出来る栽培 椎茸	朝日新聞
18日	十一月のお落配給	朝日新聞
19日	共栄圏の週間記録 米穀の画期的増産運動展開	朝日新聞
20日	ウサギの値上げ	朝日新聞
20日	缶詰の特配	朝日新聞
22日	配給籠 甘藷	朝日新聞
22日	どん栗献納	朝日新聞
24日	冷凍魚を配給	朝日新聞
24日	配給籠 魚	朝日新聞
26日	配給籠 味噌	朝日新聞
31日	捨てるな甘藷の葉 乾せば蛋白質の給源になる	朝日新聞
11月6日	配給籠 イワシ	朝日新聞
7日	夕食一人前三十円 また怪しからぬ高級料理店	朝日新聞
8日	野菜 まず不自由はない そろそろ白菜 大根が出廻る	朝日新聞
8日	配給籠 ニシン 北海道釧路にニシンの豊漁	朝日新聞
9日	配給籠 北千島の塩ます	朝日新聞
10日	白くなくなる砂糖 同時に1斤当り1銭値上げ	朝日新聞
10日	また佃煮の特配です	朝日新聞
11日	パン粉きょうから値上げ	朝日新聞
11日	配給籠 イワシの保存 手塩 立塩	朝日新聞
16日	配給籠 野菜	朝日新聞
17日	落花生油を配給	朝日新聞
18日	配給籠 いわし	朝日新聞
18日	おいしくて栄養価も多い 近くお目見得する「津軽漬」	朝日新聞
19日	配給籠 まぐろ	朝日新聞
21日	栄養のあるドングリ タンニンを除いて利用せよ	朝日新聞
12月1日	配給籠 鯉 妊産婦用に	朝日新聞
3日	配給籠 つけ菜	朝日新聞
4日	配給籠 さんま	朝日新聞
5日	配給籠 さしみ	朝日新聞
7日	配給籠 かきのむきみ	朝日新聞
10日	配給籠 正月用の数の子	朝日新聞
14日	静岡みかん積出し	朝日新聞
15日	正月用のお酒配給	朝日新聞

【栄養に関する記事】

1月24日	初の産業栄養士 紅一点の女性も混る十五名 守る戦う職場の健康	朝日新聞
2月9日	富国強兵の近道は先ず丈夫な赤ちゃん 大切な女性の保健衛生対策	朝日新聞
13日	徐々に“玄米がゆ”へ 離乳期の乳児への与え方 愛育栄養部主任 武藤静子女史の話	朝日新聞
17日	就寝前に食べるな 子供には「眠り」が大切	朝日新聞
28日	平生の栄養が大切 春先に多い猩紅熱の注意	朝日新聞
3月5日	血どめのビタミンK 妊婦は出産前にとること	朝日新聞
11日	サッカリン 栄養にはならない 家庭では使わぬ方がよい	朝日新聞
18日	今こそ鍛錬の好機 乳幼児の胃腸強化へ	朝日新聞

30日	理由はあっても 調理次第でさけられる 妊産婦栄養上の重要な問題	朝日新聞
4月16日	よく食べて学べ 夜学生に夕飯の心配	朝日新聞
21日	過ぎてはならぬ間食 子供の発育が悪くなります	朝日新聞
22日	牡蠣殻の粉 なによりのカルシウム源	朝日新聞
23日	玄米食に一億の突進 白米の2割減で済む どこからみても完全な主食	朝日新聞
24日	母体の栄養が第一 戦時下乳幼児の発育標準	朝日新聞
29日	血管を強くする ビタミンPの話	朝日新聞
5月7日	野草礼讃 野菜や肉にまさる すばらしい栄養分 牧野博士の示唆に富む話	朝日新聞
17日	栄養価は扱い方一つだ「豆もやし」は我儘者 女学生が科学分析に手柄 自由学園高等科のグループ	朝日新聞
18日	労働食を共にして荷役戦士を激励 鈴木さん早暁から査察	朝日新聞
26日	見逃せぬこの栄養価 豊富な脂肪で熱量をとれ 塩にしん礼讃	朝日新聞
6月3日	食物は規則正しく 乳幼児に対する梅雨期の衛生	朝日新聞
4日	カリの供給源 戦争と海藻	朝日新聞
6日	赤ちゃんへの福音 近く全粉乳が沢山出廻ります	朝日新聞
29日	栄養経済共に満点 馬鈴薯	朝日新聞
7月3日	その都度作ること 粉乳の与え方と見分け方 愛育会 武藤静子女史の話	朝日新聞
6日	妊産婦に“栄養特配” 手帳制をぐんと生かして	朝日新聞
16日	少量でも栄養は十分 “よくかむ” で節米しよう	朝日新聞
17日	栄養価の高い混食 決戦下の食糧として 最も好適な馬鈴薯 甘藷めし	朝日新聞
25日	昔ながらの混食 さつまいも	朝日新聞
8月12日	暑さで幼児の食欲が減退する時 これを普通に保たせるのは 母親の心がけ一つ 済生会赤羽乳児院 医学博士 小山武夫先生	朝日新聞
21日	決戦栄養学1 窮屈を覚悟せよ われらの食糧事情 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
22日	決戦栄養学2 科学で不安克服 最小の食物で最大の効果を 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
24日	決戦栄養学3 自給自足への強味 反省せよ不経済な消費法 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
25日	決戦栄養学4 問題は量に非ず 恐るべき食過ぎの弊害 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
26日	決戦栄養学5 基準食の決定 戦時必須の食糧管理 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
26日	よまないといそをする 家庭科学読本(十) 乳幼児と果物のしる	朝日新聞
27日	決戦栄養学6 蛋白質の使命 常に補給を怠るな 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
28日	決戦栄養学7 混合食の利点 蛋白質にも種々ある 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
31日	決戦栄養学8 最低量の確保へ フランスの蛋白飢餓の例 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
31日	乳児に適した 野菜スープの作り方 ビタミンCを無くせぬ様 済生会乳児院 加藤芳雄	朝日新聞
9月1日	決戦栄養学9 熱量は何から? 澱粉からとるのが早道 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
2日	決戦栄養学10 千三百は必要 戦時下わが国民への熱量 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
3日	決戦栄養学11 ビタミンの重要性 目に見えぬその減少症状 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
4日	決戦栄養学12 先ず眼に来る ビタミンAの欠乏症状 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
5日	決戦栄養学13 疲労倦怠の因 ビタミンB ₁ の欠乏 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
7日	決戦栄養学14 壊血病の原因 ビタミンCの欠乏 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
8日	決戦栄養学15 日光浴が早道 ビタミンDの補給法 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
9日	決戦栄養学16 ビタミンの必要量 この最低は確保せよ 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
10日	決戦栄養学17 葉や魚の臓腑 ビタミンAを含む食品 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
11日	決戦栄養学18 米とぎに注意 水にとけやすいB ₁ 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
12日	決戦栄養学19 捨てずに使え ビタミンB ₂ を含む食品 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
14日	決戦栄養学20 緑茶で補え ビタミンCの保存法 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
15日	決戦栄養学21 日光浴が第一 ビタミンDの補給 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
16日	決戦栄養学22 家庭菜園の増産へ ビタミンの補給対策 理研所員 井上兼雄	朝日新聞

17日	決戦栄養学 23	いも飯の効果	米の栄養欠陥を補う	理研所員 井上兼雄	朝日新聞
18日	決戦栄養学 24	代用食の栄養	大豆 うどん 小麦粉	理研所員 井上兼雄	朝日新聞
19日	決戦栄養学 25	栄養価に重点	味覚本位の栽培をやめよ	理研所員 井上兼雄	朝日新聞
21日	決戦栄養学 26	栄養ある野菜	公定価を高めて増産	理研所員 井上兼雄	朝日新聞
22日	決戦栄養学 27	戦後に備えて	乳幼児と妊産婦の栄養	理研所員 井上兼雄	朝日新聞
23日	決戦栄養学 28	乳児 幼少年へ	こうして栄養の補給	理研所員 井上兼雄	朝日新聞
24日	決戦栄養学 29	魚の肝臓や蛹	粉末にして菓子の中へ	理研所員 井上兼雄	朝日新聞
26日	間食	子供さんに何がよい			朝日新聞
28日	決戦栄養学 30	保健には十分	配給食糧の栄養量(完)	理研所員 井上兼雄	朝日新聞
10月19日	虫類の利用	蛙やいなごも食用に	離乳期の子供向き料理		朝日新聞
20日	児童の栄養	体位の低下は栄養の問題			朝日新聞
29日	いざ食生活にも勝ち抜かん	栄養第一で工夫を	生かせ乏しき食糧		朝日新聞
11月13日	学童と栄養①	青年期の体位の基	財団法人青嬰教会病院長 小林彰		朝日新聞
14日	学童と栄養②	蛋白質の良否	小林彰		朝日新聞
15日	全国乳幼児の栄養習慣	きょうから一斉に開始			朝日新聞
16日	学童と栄養③	ビタミンについて	小林彰		朝日新聞
17日	学童と栄養④	大切な栄養の釣合	小林彰		朝日新聞
19日	学童と栄養⑤	無駄なく食べる	小林彰		朝日新聞
20日	おいしい“くず湯”	離乳期の赤ちゃんのおやつに			朝日新聞
20日	学童と栄養⑥	栄養素をこわすな	小林彰		朝日新聞
21日	学童と栄養⑦	時局向のお献立	小林彰		朝日新聞
23日	学童と栄養⑧	煮物と焼物の献立	小林彰		朝日新聞
23日	蜜柑の皮を貯蔵しましょう	赤ちゃんのビタミンC給源			朝日新聞
26日	学童と栄養⑨	間食のお献立	小林彰		朝日新聞
27日	学童と栄養⑩	偏食の直し方	小林彰		朝日新聞
28日	学童と栄養⑪	人参の偏食匡正	小林彰		朝日新聞
30日	学童と栄養⑫	問題多いお弁当	小林彰		朝日新聞
12月1日	学童と栄養⑬	学校給食の要	小林彰		朝日新聞
9日	赤ちゃんの待避用意は	おやつや食物も大切な支度			朝日新聞
30日	「物」は食べたが	どれだけ栄養に	初めて研究完成す	衛生試験所 藤巻博士ら	朝日新聞
		により			

【調理に関する記事】

1月4日	節米に「芋パン」登場	風味があって栄養も満点			朝日新聞
6日	三重仕掛の玄米釜	実演会で好評			朝日新聞
12日	炊き方次第で	燃料は四分の一の節約			朝日新聞
19日	玄米食を実行	堆肥の材料も集めましょう			朝日新聞
20日	黒い寿司に業者の悩み	玄米でも美味しくと開く研究会			朝日新聞
2月4日	節約こそご奉公の一節				朝日新聞
16日	さあ無駄なしお台所へ	きょうから全市に強調運動始まる	「食品むだなし運動」		朝日新聞
		一斉に展開			
19日	骨や皮こそ栄養源	こうして“無駄のない調理”	食品の完全利用法	香川綾女史	朝日新聞
3月4日	漬物の漬汁の利用法	一寸の加工で醤油の代用に			朝日新聞
4日	戦時生活	今日のお知らせ	玄米で作るひなあられ		朝日新聞
6日	野菜のゆで方	熱湯で短時間			朝日新聞
10日	味覚の適温				朝日新聞
11日	玄米食普及へ	学童を通じて			朝日新聞

24日	今日のお知らせ 野菜の葉と皮	朝日新聞
26日	春の七草の食べ方	朝日新聞
4月1日	陣中食 煮込うどん	朝日新聞
2日	中国から学ぶべき食生活 井上・大橋両女史の土産話	朝日新聞
7日	おいしいくず餅 こんにゃくで	朝日新聞
22日	食べられる野草の見分け方	朝日新聞
22日	干飯はよい防空食 一粒の米も大切にしましょう	朝日新聞
5月4日	おやつ 子供の喜ぶポーロ 生大豆粉で簡単に出来る	朝日新聞
5日	燃料節約 重宝な釜ふた	朝日新聞
6日	おからの利用 むしパンやおいしいコロケ	朝日新聞
7日	干うどん おいしい煮込	朝日新聞
8日	野草 くこ	朝日新聞
21日	一年中共同炊事 お米や炭が浮き農事も捗る	朝日新聞
6月2日	おいしい青餡饅頭 そら豆を利用しましょう	朝日新聞
10日	玄米がおいしくなる 大豆飯 馬鈴薯飯の炊き方	朝日新聞
12日	農村のお手伝い 夜中から御飯炊き 太鼓の響きで集る主婦達	朝日新聞
27日	“馬鈴薯飯” おいしい炊き方	朝日新聞
29日	まぐろ料理 おいしく食べられる 調理法二つ 鎌倉和え 鍋焼き 一戸伊勢子 女史	朝日新聞
30日	三度分を一時に調理 その方がガスの節約になる	朝日新聞
7月4日	おいしいうどん料理 醤油のいらぬ調理の仕方	朝日新聞
6日	御飯の国策炊き 警視庁普及に乗出す	朝日新聞
17日	配給うどん 炊き込み方	朝日新聞
27日	店を四級に分けて 五円以上は御法度 支那料理の自粛値決まる	朝日新聞
27日	郷土食 焼びん	朝日新聞
28日	一分搗き国策炊きへ	朝日新聞
28日	郷土食 ほうとう 山梨県	朝日新聞
29日	郷土食 ちしゃなます 山梨県	朝日新聞
31日	砂糖 しょう油いらぬで おいしい“小麦粉飯” 配給される小麦粉の使い方 流 し焼五目あんかけ 味噌仕立て包みすいとん つみ入れシチュー	朝日新聞
31日	郷土食 しもつかれ 下野の老人に喜ばれる料理	朝日新聞
8月1日	おいしい大豆御飯 鶏肉位の栄養がある 炊き方もお米と同じく簡単	朝日新聞
1日	郷土食 ぎしぎし 熊本県	朝日新聞
4日	郷土食 なすのむしやき 茨城県	朝日新聞
5日	郷土食 お煮つけ 長野県	朝日新聞
6日	郷土食 だんご雑炊 福島	朝日新聞
7日	郷土食 茄子のずんだ和え 仙台	朝日新聞
8日	郷土食 代用食 馬鈴薯にうの花くず粉または小麦粉を加え練る 北海道	朝日新聞
10日	早飯も遅飯も大丈夫 産業戦士たちの賄を保証	朝日新聞
11日	ガス節約の五則 風に当てぬことです 大日本生活協会 守屋磐村氏	朝日新聞
14日	郷土食 南瓜の茎の佃煮 高知県	朝日新聞
14日	徳用な「共炊」のガス 検針は各家庭の合計量	朝日新聞
18日	郷土食 三平汁 北海道	朝日新聞
22日	外割練の理想煮 大変美味です	朝日新聞
27日	ガスを上手に使いましょ 先ず一日分の限度をしらべて	朝日新聞
9月4日	離乳食を赤ちゃん大歓迎 女子大生の満州開拓村協力記	朝日新聞
11日	南瓜のおやつ	朝日新聞
22日	米より栄養がある いも御飯のおいしい炊き方 甘藷の炊き方と貯え方の話	朝日新聞

30日	おいしいふかしパン 主食として上手な使い方 かぼちゃのジャム 野菜のあん	朝日新聞
10月5日	燃料を半分以下 新国策炊きを推進	朝日新聞
21日	保ちもよい おいしい干いも 炊かずに直ぐお米代り	朝日新聞
30日	お料理 さつま団子	朝日新聞
11月2日	なるべく水を少なく 野菜はトロ火で蒸すこと	朝日新聞
3日	黒こげにならない 油の多いお魚の上手な焼き方	朝日新聞
5日	蒸し過ぎな 夜分の御飯	朝日新聞
6日	飲湯沸かし 沸騰は無駄	朝日新聞
8日	天ぶらはやめましょう 熱量が要って不経済です	朝日新聞
13日	京の朝粥 郷土食について 京大医学部助教授 桑原正信	朝日新聞
26日	栄養も逃さない おさつの簡単な火力乾燥法	朝日新聞
12月17日	栄養のある味噌汁 お魚の臓物を利用しましょう	朝日新聞

昭和 19 年 (1944 年)

【食品に関する記事】

1月1日	食糧戦略① 自給達成を確信 国民栄養の増進期す 食生活の根本的刷新 新栄養給源満州大豆 農家の努力に期待 農商省食糧管理局長官 湯河元威	朝日新聞
2日	食糧戦略② 国家の為の増産決行に勇氣と誠意 弱気に勝利なし 中央農業会理事 東浦庄治	朝日新聞
4日	食糧戦略③ 総合配給へ切換 「栄養群」活用 決戦食へ 分配的配給の欠陥 決戦食生活の建設 最大栄養効率の発揮 中央食糧協力会 澤村克人	朝日新聞
5日	食糧戦略④ 定量消費に徹底 本格的総合配給へ 案外少ない米代食 小運搬力の強化要望 労力不足の対策 東京都食糧管理営団理事長 林信夫	朝日新聞
6日	子供の科学 七草 東京科学博物館 佐竹義輔博士の話	朝日新聞
7日	敵国の銃後(米国) 禁酒 食糧も大幅規正 贅沢生活切換に躍起 戦時生活	朝日新聞
7日	外食者専用の大食堂 四月早々都営で店開き	朝日新聞
7日	首相 たくあん問答 伊勢路で漬物屋を奇襲 宇治山田	朝日新聞
13日	酒 一般配給は減ります 重要産業戦士へは値段も据置	朝日新聞
13日	北洋の贈物	朝日新聞
15日	食糧増産を推進 農商省委員具体案作成	朝日新聞
16日	麦手入れ完遂運動	朝日新聞
17日	越路の深雪を蹴って米や味噌の橇行車 寒地に闘う国民錬成	朝日新聞
17日	はと麦を植えよう 申し分のない雑穀 米穀利用研究所農博 木原芳次郎氏談	朝日新聞
18日	衣食住に勝利の鍵 節米五百万石で三万機	朝日新聞
19日	清酒一升(三級)五円に	朝日新聞
19日	配給籠 お米に混ざる脱脂大豆	朝日新聞
20日	供米に沸る決戦調十五日現在本社調査 昨年の戦果を凌ぐ不撓の農魂 完納へ敢闘	朝日新聞
21日	食糧問題はこうしてほしい 議会へ民の声 配給品だけで最低を保証する機構	朝日新聞
22日	二十米穀年度以降食糧不安全くなし 山崎農相言明 配給米基準量は不変 山崎農商相答弁 本社速記要旨	朝日新聞
24日	食糧 自作農へ補給 段当り百五十円	朝日新聞
24日	西瓜 メロンは作付ご法度	朝日新聞
25日	当局に聴く 配給米の減量 帰省と配給米	朝日新聞
26日	当局に聴く はと麦の栽培	朝日新聞
27日	食糧戦線揺ぎなし農商相重ねて言明 鮮台米の移入増加 雑穀増産 麦の発育も好調	朝日新聞

27日	総合配給を高めて栄養の確保へ 中枢機関を公共的性格に	朝日新聞
28日	議会に取り上げられた生活 増税に応えん 一億戦闘配置より戦闘行動へ	朝日新聞
29日	配給籠 仏印の玉蜀黍	朝日新聞
30日	共栄圏の食糧増産 「勝利建国」への血肉 全国民蹶起す 早くも自給自足態勢 ビルマ ジャワ ニューギニア 比島	朝日新聞
30日	議会論議の焦点 食糧増産 食生活 最低限を確約 懸案の化学肥料増産へ	朝日新聞
2月1日	議会論議の焦点 食糧配給 中枢機関に公共性格 総合計画で栄養を確保	朝日新聞
1日	貴族院予算総会	朝日新聞
1日	米供出制改善を研究 価格改訂は考慮せず	朝日新聞
2日	共栄圏の食糧増産 健全農村へ再起 マライ 秦国 仏印	朝日新聞
2日	加工品を家庭へ 沢庵など冬枯れの野菜へ援軍	朝日新聞
2日	学童に干瓢 赤ちゃんに焼き麩	朝日新聞
3日	衣食住 両院委員会の審議に聴く 食糧増産は士気の源 航空機に劣らず重大 首相言明	朝日新聞
3日	まだ無駄あり生活工夫へ 買漁りがつくるぞ まやかしの品 お料理も胃袋主義へ	朝日新聞
4日	白飯 村から消えよ さとす土の歌人吉植さん さあ一億混食の進軍	朝日新聞
5日	女子挺身隊記(上) 夜毎に夢む“翼” 織手に担う戦力	朝日新聞
6日	女子挺身隊記(中) 颯爽紺の戦闘帽 男子の能率を凌ぐ	朝日新聞
7日	女子挺身隊記(下) 山盛りの丼飯にはち切れる健康	朝日新聞
8日	全都に雑炊食堂 十五日までに店開き	朝日新聞
9日	当局に聴く 酒の配給	朝日新聞
10日	当局に聴く 学生の配給米	朝日新聞
14日	増産へ焔とる精兵 広東荒蕪地に拓く軍墾農場	朝日新聞
15日	鮭屋も営業方針を決戦型に	朝日新聞
15日	ひえ 米に優る戦時食(上) 東亜農学研究所 農学博士 小原哲二郎	朝日新聞
16日	ひえ 特性を活かせ(下) 東亜農学研究所 農学博士 小原哲二郎	朝日新聞
16日	小麦の新品種決る	朝日新聞
16日	供米全国的に好調 平均九割三分を突破 完納 十都府県に達す 十五日現在本 社調査	朝日新聞
16日	遊興等もっての外 夕食(五円以上)に八割 財布の紐とかめ生活へ 遊興飲食税	朝日新聞
18日	配給 鳩麦を食べましょう 休閒地利用に好適の決戦食	朝日新聞
22日	ヨイコが砂糖を持ち寄り「船を頼みます」と甘い紅茶の接待	朝日新聞
22日	当局に聴く 加齢と増配	朝日新聞
22日	雑穀でも栄養満点 荒地に育つ戦時食糧	朝日新聞
23日	新增税一週間の戦果 棚晒し 高級品 グッと減った家族連れの夕食 一流料亭 に自粛の余地	朝日新聞
24日	最高も九十銭止り 本日から食堂の販売価格改正	朝日新聞
25日	これでよいか非統制物資の買漁り	朝日新聞
26日	決戦生活の十五目標 配給機構に公共性(四) 食糧配給(五) 空地利用(七) 高 級享楽停止	朝日新聞
27日	末端配給の完備へ 生活簡素化徹底と並行 正しい配給の要望 末端配給に公共性	朝日新聞
28日	空襲の備えはよいか 食糧 一箇月以上も用意 配給には挺身隊活躍	朝日新聞
3月4日	家庭も学童給食に協力必要 燃料食器を供出	朝日新聞
4日	いもや菜類中心に 昨年の二・三倍 帝都の学校農園大馬力	朝日新聞
4日	ジャガイモ五千貫 おさつ箱作りも上乘	朝日新聞
4日	残存食堂の自粛値近く決定	朝日新聞
5日	戦う農村の実相 権威ある指導肝要 増産意欲が村の緊密強化 団野特派員記	朝日新聞
8日	非常用生活物資貯蔵を強化 適宜に分散する	朝日新聞

8日	生活必需品配給になお間隙 徹底欠く公正重点 もっと機構に公正性を	朝日新聞
8日	第一線現地部隊長手記 腐敗米で甘酒製造 「原始」と戦う現地調弁 竹内少佐	朝日新聞
8日	南の兵隊さんから学童へ砂糖の宝船戴いて さあ出そうお札の手紙	朝日新聞
9日	都内の蔬菜園で蔽へ 生れる空地利用総本部	朝日新聞
9日	潤いは少々だが 享楽追放で浮んだ物資 魚 米 野菜 酒 味噌しょう油	朝日新聞
9日	海をわたる野菜 海上輸送により青果物を確保	朝日新聞
10日	神風賊 勤労者の食事が一方ならぬ難事となっている 外食券の制約	朝日新聞
10日	消失せぬ名残の夢 享楽追放 転進五日目の報告	朝日新聞
11日	塩鱒 散鱒の配給	朝日新聞
11日	おいしいお汁粉 ヨイコへ記念日の贈物	朝日新聞
11日	諸 魚を加工貯蔵 値段も改善 労働は学徒を動員	朝日新聞
12日	缶詰より燻製魚へ 貯性 栄養を失わぬ電燻法 函館高等水産学校教授 農博 谷川英一	朝日新聞
12日	防空食糧	朝日新聞
12日	配給制度近く改正 内田農商相語る 公働のない魚には公働を	朝日新聞
12日	お魚も責任販売制	朝日新聞
18日	大きくなれ 国の宝二百万に「学校給食」 先生方は遠慮	朝日新聞
18日	学童へ鯨の生皮配給	朝日新聞
19日	空地利用 ぜひ蒔こう蒨葎草とツルナ 都戦時農園班長 山本実	朝日新聞
21日	決戦食糧 大いに利用せよ いま採れる食用野菜 東京高等農林教授 末松直次	朝日新聞
21日	青鉛筆 お菓子の配給での出来事	朝日新聞
22日	春耕 増産準備は出来た 土地改良で一万町歩 観察班を設け節米報国 人工消 雪と農村電化 両年度土地改良一挙に完遂 琵琶湖干拓で四千石 牛馬移動班活 躍 “菊地精神” に奮い立つ	朝日新聞
22日	戦時型「もろみ添加清酒」醸造試験所技師 農博 山田正一	朝日新聞
23日	地方庁に責任制 蔬菜生産 出荷に実施 農商相言明	朝日新聞
23日	卵と種鶏の値上げ	朝日新聞
25日	戦時食糧確保へ邁進 報奨制の確立 作付け前の供出割当 郷土食使用の気風奨 励 米価は引上げても無駄	朝日新聞
25日	生産責任制を確立 報奨の対象は部落に 一生産責任制の確立	朝日新聞
26日	戦争科学 いわし国民体力増強へ 魚類蛋白質 絶好の供給源 東京水産講習所 長 杉浦保吉	朝日新聞
26日	栄養も満点 作り易い不断草と春菊 都戦時農園班長 山本実技師談	朝日新聞
27日	お蔭も弾丸 内田農商大臣官邸で蒔つけ	朝日新聞
27日	来月から郵便制度も改正 野菜 魚入りは厳罰	朝日新聞
28日	大東亜回報 供出成績好転	朝日新聞
28日	帝都の蔬菜 隘路を衝く 供出にひびく買出し 市場機構の改革も急務 出荷の 持ち込み制に欠点 不急作物を整理	朝日新聞
28日	軒先にも南瓜を	朝日新聞
29日	お魚はなぜ少いか 樽は返してほしい 漁業にも要員の指定を 遊閑水域利用 鯉などの養殖を委託 帝都の対策 羽田や葛西沖で貝飼育	朝日新聞
29日	六・七割余り 都内の家庭配給	朝日新聞
29日	配給籠 小笠原のまっこうくじら	朝日新聞
29日	街から村から 魚河岸の花 鮎子の鰯水揚げ 築地魚河岸に女性も敢闘	朝日新聞
29日	町内会で雑炊食堂 神奈川県で実施	朝日新聞
30日	パンの値上げ 半斤十三銭に	朝日新聞
30日	雑炊食堂を拡充 個人経営を認めず組合事業に	朝日新聞
31日	酒 一世帯に月二合 家庭用麦酒は据置き	朝日新聞

31日	いわし製品に新㊦	朝日新聞
31日	都で蔬菜の買付け	朝日新聞
31日	空地利用 便利な「摘み菜」肥料は必ず蒔く前に	朝日新聞
31日	予定通り発足 都の学童給食	朝日新聞
4月1日	千葉からの野菜供出良好	朝日新聞
1日	生ビールは一円廿銭	朝日新聞
2日	戦列断想 もっと科学的に 食生活も行政部門も 大阪市立生活科学研究所長 農博 下田吉人	朝日新聞
3日	食糧問題で懇談 内務 農商首脳が初の連絡会議	朝日新聞
3日	増産に名をかる 工場買出し 目に余る仲買人の暗躍	朝日新聞
4日	配給の隘路はこの手で打開 高知の場合 上田の場合	朝日新聞
4日	ドイツの食生活 増産担う婦人部隊 野菜は空闲地利用で賄う	朝日新聞
5日	常会ひらいて増産 全戸洩れなくさあ蒔きましょう	朝日新聞
7日	魚と野菜 配給を工夫する座談会① 総合制を採用せよ 東京の市場設備不完全	朝日新聞
7日	季節別価格に 南瓜や落など	朝日新聞
8日	魚と野菜 配給を工夫する座談会② 生産 出荷に責任制 鮮魚は一元的統制へ	朝日新聞
8日	一億 食糧増産戦士に 空耕地利用の具体案決る	朝日新聞
8日	線路 道路脇にも南瓜 大豆 千五百万青少年団員汗の種蒔	朝日新聞
9日	魚と野菜 配給を工夫する座談会③ 中央統制は明確に 評判のいい共同販売所	朝日新聞
9日	東北から山菜の援軍	朝日新聞
9日	配給籠 ウィスキー 果実酒などを家庭へ	朝日新聞
11日	配給籠 家庭にヘット 今月から	朝日新聞
11日	反省しよう精進一箇月 学校給食 家で与えよ弁当分 昼食浮かすは子供が可哀 そう 食堂 雑炊で行列解消 健全集会所の運営に一工夫	朝日新聞
12日	供出割当量突破 九日現在で 100.09% 十八年内地産米の供出	朝日新聞
12日	冬枯れの台所にお菜の輸血 野菜とお魚を増配 臨時値上げで出回り促進	朝日新聞
12日	鉄箒 鰯大漁	朝日新聞
14日	当局に聴く 蜜柑の皮の塩漬 ビタミンCはどうなる	朝日新聞
15日	関所なし台所へ一直線 生産者へは都から誘い水 商売気を抜いた市場機構	朝日新聞
15日	きょうから牛乳値上げ	朝日新聞
15日	値段は消費者本意 品物の腐敗の憂いは市場側で防止 鮮魚介類 蔬菜	朝日新聞
15日	決戦時報 何より増産と熱意 生鮮食糧の出荷 配給	朝日新聞
15日	印度作戦 月明下 野獣の戦列 水との戦い 草も食糧だ	朝日新聞
16日	お砂糖の節約 一人0.1斤減	朝日新聞
17日	南瓜の種からお菓子と食用油 町の研究家が贈る学校給食	朝日新聞
18日	大東亜回報 比島まず食糧増産 経済企画院活動	朝日新聞
18日	魚 蔬菜に職域登録 来月十日からまず工場で実施	朝日新聞
18日	混食してもうまい 食べられる野菜いろいろ	朝日新聞
19日	研究余滴 化学醤油の話 醸造試験所技師 農博 松本憲次	朝日新聞
21日	配給籠 魚 おやつに南京豆	朝日新聞
22日	天長節にヨイコヘパンの贈り物	朝日新聞
23日	お濠の鯉貸下げ	朝日新聞
23日	配給籠 納豆	朝日新聞
25日	米味噌を十日分 疎開者へ配給前渡し	朝日新聞
25日	副食物用の缶詰 廿五日から二回に分けて配給	朝日新聞
25日	噛みしめる宿の米 配給米で知る戦う東京の姿 遺族 試食に感謝の涙	朝日新聞
26日	配給籠 野菜 公定小売値	朝日新聞
26日	空地利用 家庭の菜園によい 栄養価の高い野菜いろいろ 東京科学博物館 九	朝日新聞

	里聡雄氏	
29日	米の供出に報奨金 情報局発表 割り当て突破に（一石当り）百円 九割以上に奨励金	朝日新聞
29日	食べられる若菜 くこ うこぎ	朝日新聞
30日	笑顔で戴く『お祝いパン』佳き日 学童へ嬉しい贈物	朝日新聞
5月1日	奢侈享楽追放の決戦非常措置として飲食店の夕食は四円まで引き上げ	朝日新聞
2日	砂糖もろこしから お子様用の甘味が手軽にとれる 野崎信夫氏	朝日新聞
3日	配給米でせんべい ふるい出した粉を利用して 武井俊一郎	朝日新聞
4日	葡萄 牛乳もお召 赤禱かけて空の決戦へ一役	朝日新聞
5日	決戦食に菊芋登場 一度蒔けば無肥料で毎年収穫	朝日新聞
5日	節句祝いによもぎ団子 大日本生活協会	朝日新聞
6日	獲れた卅三万石 北海道で春鯨の大漁	朝日新聞
6日	配給 新鮮な魚 にしん いわし	朝日新聞
7日	改善される供出割当 生産事情に即応 段別割り当ては絶対廃止	朝日新聞
8日	実情に即して決定 東北 北海道の米麦等供出割当	朝日新聞
9日	多食は不健康の因 生理学的に見た決戦食生活 教学練成所練成官 医博 杉靖三郎	朝日新聞
10日	お蕎の小売価格 廿日から実施	朝日新聞
12日	勿体ない煮豆の味 学校給食を描く童心讃歌	朝日新聞
13日	五月のお砂糖は四月と同量	朝日新聞
16日	大東亜回報 二毛作へ邁進	朝日新聞
17日	配給 丸大豆だけ お米の混合物	朝日新聞
20日	街にゆとりと潤い きょうから再発足 料理屋飲食店の等級決まる	朝日新聞
22日	海をおおう真白い数の子 札幌 青森の春鯨水揚げ好調 青森 前線へ送る新潟 筍・新発田	朝日新聞
23日	本土窺う敵は身近 防空生活に徹せん 御飯も大量に炊く用意	朝日新聞
27日	飲食税に一日から“納税証紙”と“納税切符”を使用	朝日新聞
27日	稜りの麦秋に弾む刈り取りに励む学童部隊	朝日新聞
27日	落穂の戦果七千二百石 全国二百万青少年 汗の成果	朝日新聞
28日	「都協力会議」明後日から 明朗な生活へ 三女史に女性の立場を聴く 乳児用牛乳について 竹内茂代女史談 戦時生活の明朗化 村岡花子女史談 家庭工場の統制機関 亀井たか女史談	朝日新聞
29日	切干甘藷で新案特許 横浜 陸奥湾で大羽鯛の大漁	朝日新聞
30日	昼食は二時まで一般食堂の時間を延長	朝日新聞
31日	燃え上がる決戦の総意 都協力会談第一日 家庭配給に重点 食堂は外食 旅行者に 町会や隣組に購入委員を お魚は伊豆七島から 野菜は日に六十匁 空襲時の食糧不安なし	朝日新聞
6月1日	乾うどんの配給	朝日新聞
3日	主婦日記 牛乳をもうすこし なかなか殖えぬ愛児の体重 川原トキ	朝日新聞
4日	雑炊あすから値下げ 食い損ないなし 行列は解消へ	朝日新聞
4日	酒なし世帯に落花生	朝日新聞
5日	千葉から帝都へ鯖の贈物 福島沿岸でも豊漁続く 学童に乾燥たにしを給食	朝日新聞
6日	増産一路① 麦 少ない肥料も活かす 迷信破る二毛作に凱歌 神谷特派員	朝日新聞
7日	増産一路② 馬鈴薯 馬耕具押す七十翁 いも一貫に肥料一貫 高田特派員記	朝日新聞
7日	満三歳から七歳迄 お米三勺を増配 あすから実施 学校給食はパンに	朝日新聞
7日	牛乳や乳製品を確保 乳幼児の哺育に不安解消	朝日新聞
9日	増産一路③ 米 野良仕事も雑炊で 供出へ噛みしめる忍苦	朝日新聞
10日	種子 米麦買入価決まる 酒米の格差は引下げ	朝日新聞

13日	配給 小麦粉 一世帯に六日分 かれい類やたら続いて入荷のお魚 玉ねぎ そら豆入荷	朝日新聞
16日	配給 きょうからお砂糖 七月頃から町会単位の店へ	朝日新聞
17日	食糧の心配なし 空襲下の備え万全 都食料課 奈良事務官談	朝日新聞
20日	警報下異状なし 鮮魚 野菜の入荷量	朝日新聞
24日	配給 野菜 魚	朝日新聞
26日	りんご豊作の快報	朝日新聞
30日	配給 うどん用の醤油 臨時家庭用一人当たり七勺 干椎茸と干瓢 選択配給決まる	朝日新聞
7月1日	配給 南瓜 野菜の公価改正	朝日新聞
4日	配給 赤ちゃんのお砂糖 七月一日から数量変更	朝日新聞
8日	配給 お野菜少しは増加 まだ軌道に乗らぬ新会社の集荷	朝日新聞
10日	お魚のソーセージ 愛知県水産試験場で試作成功	朝日新聞
11日	今年の食糧 麦の豊作に続いて劣らじと進む田植 芋の援軍また心強し	朝日新聞
12日	夏草を利用せよ カロリーも栄養も十分ある アカザ コアカザ イヌヒユ イノコズチ ツユクサ	朝日新聞
14日	有難い卵の配給 出来れば間食と燃料 母の希望	朝日新聞
22日	お米 働く学徒に加配 一般工員と同様に	朝日新聞
22日	配給 都下の野菜出盛る 馬鈴薯の輪番配給も始まる	朝日新聞
22日	おいしい戦時型パン 桑の葉 リンゴの皮など活かして 戦時食品の研究	朝日新聞
23日	学童集団疎開 各地の受入れ準備 配給外に補給 秋の果物も待つ新潟県	朝日新聞
23日	面会は毎月一回 上級校進学にも配慮 食糧と輸送荷物	朝日新聞
24日	二千人へ忽ち給食 帝都で初の避難炊出し訓練	朝日新聞
25日	隣組でさあ登録 魚と野菜の総合配給 一地域に三軒 お好きな店へ	朝日新聞
26日	配給 二町以上は配達 “健民豆腐”に新制度 ビールの割当	朝日新聞
27日	最後の勝利は米艦隊撃滅 バナナで渴を凌ぐ 水の不便なテニヤン 大宮島 米は自給自足	朝日新聞
28日	魚粉も統制品	朝日新聞
28日	配給 近くお魚が入る 三・四日すれば北海道から	朝日新聞
28日	豆もやし 大增産計画	朝日新聞
29日	小麦粉値上げ	朝日新聞
29日	配給 野菜の近在荷 一人当たり一日四十匁見当	朝日新聞
30日	下情は言い尽くした さあ進発 協力会議部門別会終る お台所を科学せよ 末端配給に無駄が多い 「雄詰パン」に舌鼓	朝日新聞
31日	菊作るより米作れ 尾道	朝日新聞
8月1日	お魚 野菜はなぜ出ない 新会社と一問一答 敵は依然と横流れ	朝日新聞
1日	変わらぬ学童給食 疎開直後は地元で立替え	朝日新聞
4日	上海の華人側食米配給復活 大使館当局談	朝日新聞
5日	備蓄食糧の絶対確保 総合的対策の確立緊要	朝日新聞
5日	疎开学童の食糧立替 大阪 兵庫も同様	朝日新聞
5日	佃煮の公価引上げ	朝日新聞
5日	配給 佃煮は一人廿匁	朝日新聞
5日	十日から納豆 家庭配給	朝日新聞
5日	疎开学童第一陣出発 板橋五校 群馬県妙義町へ 麦湯とお薯で歓迎	朝日新聞
8日	高らかに豆腐ラッパ 笑顔であつまる主婦さん達	朝日新聞
9日	稲 平年作と大差なし 水害 旱魃の悪条件克服	朝日新聞
9日	満州の作柄 豊作は確実	朝日新聞
9日	学童疎開 後援に“母の会”活用 父兄の財的援助はお断り	朝日新聞

9日	配給 きゃべつ 白菜 続々と入荷 老人へ養命酒 一世帯に一本	朝日新聞
9日	貝殻と酢でフクラシ粉造り 東京女子専門学校 武井俊一郎氏	朝日新聞
10日	食糧の地方的自給 備蓄 疎開の総合計画を徹底	朝日新聞
10日	決戦食生活へ道あり 楽観は禁物 盛れ創意	朝日新聞
10日	粉食こそ最適 利用資源は山とある 健民協会長陸軍主計少将 丸本彰浩氏の談	朝日新聞
11日	配給 疎開学童に乾パン 永い汽車の旅に当局の親心	朝日新聞
11日	紫蘇糖 甘さはお砂糖の三百倍 専売局から年内に売り出す	朝日新聞
12日	配給 お酒 世帯当たり五合程度 梨 静岡から	朝日新聞
15日	赤飯で歓迎 疎開の学童	朝日新聞
15日	蔬菜問答 生産と供出ともに個人割当て励行 臨時配給も考慮している 当面の対策 集荷の対策 根本の対策 並川都経済局長との一問一答	朝日新聞
16日	お米五日分を加配 同時に馬鈴薯 小麦粉計五日分も 東京・大阪で空襲に備え	朝日新聞
16日	始まった総合配給 明るい魚屋さんの移動販売店	朝日新聞
16日	配給 大豆を別配 主婦の希望にこたえて 全部食パンに お米代替のパン 妊婦には食パン来月から一斤 学校給食もパン食に	朝日新聞
17日	夏枯れのお台所へ援兵 一人一日野菜廿匁 お魚十五匁 大消費都市における食生活確保に関する 食特別処置 第一生鮮食糧品不足対策 (一) 蔬菜不足夏季対策 (二) 魚類不足夏季対策 (三) 缶詰の特別配給 第二主要食糧の家庭備蓄配給及び代替食糧の特別配給 (一) 主要食糧の配給 (二) 代替食糧の特別配給	朝日新聞
17日	決まった帝都の配給品 缶詰 佃煮 馬鈴薯 高野豆腐 塩鮭鱒 身欠き鯿 こんぶ 豆腐 うの花 糸引納豆	朝日新聞
18日	配給 缶詰は月末頃から 消費者の嗜好を考えて	朝日新聞
19日	きょうは防空強化日 生食に馴れよ 火も水も使わず非常時の食糧にこの心構え	朝日新聞
23日	配給 夏季対策のいも 差引きの分は戻します 下宿人へ福音 準世帯なみの扱い	朝日新聞
25日	配給 お魚は四日に一度 九月一日から定期的に	朝日新聞
26日	配給 “しおます” の切り身 あすから一品輪番配給	朝日新聞
27日	配給 八月分の砂糖 子供用菓子 妊産婦用のうなぎ	朝日新聞
30日	配給 小麦粉を加配 お米と差し引き分と合せ六日分 野菜の配達制 九月十五日から お酒とビール	朝日新聞
30日	南瓜 冬に備えて 上手な長期保存法	朝日新聞
31日	野菜の小売価格決まる	朝日新聞
9月1日	稲作 平年作に近し 報奨制に研究の余地 きょう二百十日 本社調査	朝日新聞
1日	きょうから魚の新小売価格 百匁当たりの小売価格	朝日新聞
2日	豆腐屋さんへ吉報 自家産の大豆で豆腐を作り販売することを許可	朝日新聞
2日	ご存じですか 食べられる野草 へちまなど漬物として好適 京都科学博物館 九里聡雄	朝日新聞
2日	いまが蒔き時 家庭菜園で上手に作るコツ 秋大根 農財省 加藤技師	朝日新聞
11日	非常食糧に心配なし	朝日新聞
11日	学童疎開 議場に沸く“決戦生活戦” 割当地は変えぬ 教員を殖やし栄養向上へ	朝日新聞
11日	雑炊食堂 新しく出直す 存廃 運営に一工夫	朝日新聞
12日	生きのいい鱈 帝都へ直行 銚子の臨港引込み線完成す	朝日新聞
14日	食費を引上げ 三円から五円 疎開児童の食費	朝日新聞
16日	配給 食用油	朝日新聞
16日	家庭の福音 柿の葉から上等のレモンを凌ぐビタミンCがとれます	朝日新聞
17日	野菜 お魚はなぜ出廻らぬ 待とう 新手の効き目 魚は来月 野菜は望み薄 軌道にのらぬ新措置 黒潮異変で魚は半分	朝日新聞
17日	食い止めた入荷減 少ないのは産地の不作 野菜 魚類 東京	朝日新聞
18日	片口鱈は不漁 月末は人参などに期待 大阪	朝日新聞

19日	来月から明春 おじゃが百万貫 お台所へ野菜代わりの贈物	朝日新聞
19日	配給 食塩	朝日新聞
21日	配給 豆腐と卵の花	朝日新聞
22日	空襲下の腹拵えは引き受けた 炊き出しは百万食分 避難者に“お握り” 備蓄輸送も手配ずみ 都民へ	朝日新聞
23日	野菜運賃七割引 国鉄が帝都のお台所へ心遣い	朝日新聞
23日	四メートルの大芋 前線で始めて知った塩の味	朝日新聞
23日	甘い「ダイナマイト」甘味料	朝日新聞
26日	食糧増産隊を拡充 工員も一時帰農 農業労力非常対策成る	朝日新聞
26日	配給 お菓子はあすから	朝日新聞
27日	野菜類の監督価格 きょう実施 平均三割値上り	朝日新聞
27日	配給 甘藷	朝日新聞
28日	甘藷に先買制度を実施	朝日新聞
30日	引受けた京浜の野菜 供給圏特産地決まる 麦畑も蔬菜畑に還元	朝日新聞
30日	塩干魚介の加工品値上げ あすから等級も整理して	朝日新聞
10月3日	配給 酒	朝日新聞
3日	鉄箒 大豆の利用 山崎百治	朝日新聞
4日	帝都へお魚増送 北海道からかれい ほっけ いか	朝日新聞
4日	配給 いわし	朝日新聞
6日	配給 小麦粉は加配 大豆も同様	朝日新聞
11日	百万貫の大根の放列	朝日新聞
11日	南瓜から飴がとれます 戦争科学生活協力会	朝日新聞
12日	疎開学童へ魚粉	朝日新聞
12日	鉄箒 玉蜀黍の食法 台北帝大元教授 農博 田中長三郎	朝日新聞
13日	配給 食用油	朝日新聞
14日	魚介 日光乾燥が一番 多量に獲れる種類を選べ	朝日新聞
14日	空襲下に野菜作り 戦う現地糧食生産隊	朝日新聞
14日	配給 佃煮	朝日新聞
16日	配給問答 乾パン二十食分 外食者の非常食糧 都食糧課米穀係 お味噌の目減り分 都食糧課食品係 しめったお砂糖 都食料課食品係	朝日新聞
17日	配給 お魚と貝	朝日新聞
18日	配給 野菜	朝日新聞
19日	配給 甘藷	朝日新聞
20日	おさつ 栄養を生かして 他のお惣菜と一緒に食べよう 勧めるおさつ料理 おさつ衣 そばいも 東京都衛生試験所技師 筒井政行氏の話	朝日新聞
20日	揺るがぬ独の食糧戦力 栄養中立国を凌ぐ 出来栄えよりパン用の穀物 食糧切符で自由に 空襲下豊かな稔り 恢復した牛豚飼育 馬鈴薯は軍需用へ	朝日新聞
21日	「紫蘇糖」近く発売 まず大都市から隣組で抽選配給	朝日新聞
22日	紫蘇糖 水・微温湯にとかして 配給品の甘さは砂糖の百倍 専売局中央研究所 仁尾正義技師の話	朝日新聞
24日	配給 高粱	朝日新聞
25日	配給 甘藷	朝日新聞
26日	配給 清酒とビール	朝日新聞
27日	おさつ おじゃが五十億貫 翼政 首相らに食糧充足	朝日新聞
27日	配給 お菓子	朝日新聞
28日	日用物資の交換所 来月初旬まず五都市に発足 食糧品も仲間入り	朝日新聞
28日	配給 草魚	朝日新聞
29日	配給 椎茸と焼麩 妊産婦に	朝日新聞

30日	配給問答 魚の配給制と目方 東京魚介配給統制組合 食用油の家庭配給 都食糧食品係	朝日新聞
31日	鉄箒 米の食法 田中嘉三郎	朝日新聞
31日	本年米収ほぼ平年作 予想高六千二百万石	朝日新聞
31日	配給 高粱の混合米	朝日新聞
11月 1日	配給 小麦粉	朝日新聞
2日	配給 甘藷 野菜	朝日新聞
3日	配給 幼児用パン	朝日新聞
4日	配給 丸大豆をお豆腐に加工	朝日新聞
5日	鉄箒 小都市の配給 鬼助	朝日新聞
7日	配給問答 備蓄米とパン食者 都食糧課米穀係	朝日新聞
8日	配給 鮮魚	朝日新聞
10日	お砂糖の配給 従来の四分の一	朝日新聞
10日	豆類雑穀に新価格	朝日新聞
10日	配給 小麦粉または乾パン	朝日新聞
11日	配給 まぐろ	朝日新聞
12日	配給 お餅	朝日新聞
12日	甘藷 一株から廿三貫 兵隊さんも増産のお手伝い はりきる特産地遠州 浜松にて田中特派員記	朝日新聞
14日	配給 寒天	朝日新聞
19日	紫蘇糖 愈々近く配給 甘グラムが一円	朝日新聞
19日	配給 お肉	朝日新聞
20日	都民食堂 お目見得 雑炊食堂は廿四日で廃止	朝日新聞
20日	内地へそばの贈物 京城	朝日新聞
20日	配給問答 砂糖配給と人員異動 都内移転とビール 結核患者のバター 都食糧課食品係	朝日新聞
21日	都民食堂の手引き 予約は廿五日迄に 将来は全部を都営に移す	朝日新聞
21日	配給 塩 野菜類	朝日新聞
22日	防空 増産へ重点 食生活確保へ 都予算七億五千万円	朝日新聞
24日	配給 魚	朝日新聞
29日	米供出と麦増産に奨励酒	朝日新聞
29日	配給 蒲焼券で母乳に酬いゆ	朝日新聞
30日	酒類は値上げ 酒一升到付卅銭	朝日新聞
30日	配給 お菓子	朝日新聞
12月 1日	お握りやお餅の配給 罹災者に宿舍も斡旋	朝日新聞
1日	配給 生牛乳	朝日新聞
2日	配給 甘藷	朝日新聞
5日	配給 数の子	朝日新聞
6日	配給 お餅は一人一キロ 煮干 数の子 お正月の贈り物決まる	朝日新聞
8日	不毛地に兵隊農場 雪の城砦で自給生活 北京戦線	朝日新聞
9日	配給 黒大豆	朝日新聞
10日	配給 焼海苔と寒天	朝日新聞
14日	配給 母乳素	朝日新聞
15日	米穀供出 九割以上に奨励金 生産者四十円 地主十五円(一石当り)	朝日新聞
15日	疎開 進む受け入れ態勢 住宅の改造に力瘤 食糧配給へも暖かい配慮 茨城 福島 山形 宮城	朝日新聞
16日	配給 砂糖	朝日新聞
16日	タロ芋に英気養い 翼待って反撃 ニューギニア皇軍敢闘	朝日新聞

17日	配給 お餅	朝日新聞
18日	配給問答 餅も隣組で分け合って 都食糧課米穀係	朝日新聞
19日	配給 お酒 ビール	朝日新聞
20日	配給 塩鱒	朝日新聞
21日	配給 菜豆	朝日新聞
21日	疎開に 麦の増産に 一月常会の徹底事項	朝日新聞
21日	次は甘藷増産	朝日新聞
22日	配給 女世帯にも三合 正月中のお酒	朝日新聞
23日	配給 薬味酒	朝日新聞
24日	配給 佃煮	朝日新聞
25日	配給問答 魚の配給が悪い 世田谷一主婦 お正月のお菓子の配給はないか 牛込区 辻村生 答 都食糧課食品係	朝日新聞
26日	戦うお台所の正月は朗らか 工夫で活かせ 配給 お魚 お野菜 お餅	朝日新聞
27日	大豆を加工します	朝日新聞
28日	配給 小豆	朝日新聞
29日	配給 高粱	朝日新聞
29日	乾物 沢庵値上げ	朝日新聞
31日	配給 納豆	朝日新聞
31日	戦う大晦日 防空越年の心構え 一点七点斑打の除夜の鐘 食べる動物園 いらみ鯛と台餅 名物爆弾やき 長崎	朝日新聞

【栄養に関する記事】

1月4日	決戦食（上）量と同時に質も 東京農大教授 農博 住江金之	朝日新聞
5日	決戦食（下）士気昂揚に栄養 住江金之	朝日新聞
12日	マア暖いおみおつけ きょうから渋谷国民学校で開始	朝日新聞
14日	兎を飼いましょう 肉を食べ皮は軍へ 家庭で簡単にとれる蛋白質 農商省畜産課 山本兵三郎技師談	朝日新聞
18日	節米へ熱いお雑炊 理研所員 井上兼雄氏	朝日新聞
21日	感冒 絶対安静が肝要です 予防は栄養工夫と耐寒訓練 伝染病研究所 鶴見秀雄氏談	朝日新聞
26日	鉄蒔 納豆の洋行 宇都宮高農教授 山崎百治	朝日新聞
26日	天麩羅代りに野菜 ビタミンAで脂肪を 理研所員 井上兼雄氏	朝日新聞
27日	母親学級 量よりも栄養分 みかんも皮ぐるみで 東大教授 工博 富塚清氏指導	朝日新聞
28日	少年の栄養 各省と対策を協議 厚相の答弁	朝日新聞
28日	母親学級 無駄なく栄養を 骨もたたいて食べる 東大教授 工博 富塚清氏指導	朝日新聞
29日	議会の質疑応答を聴いて 食糧省を設けよ 栄養の総合摂取の解決へ 農博 水野武夫	朝日新聞
31日	女子挺身隊 栄養たっぷり 体育 演芸に楽しい職場	朝日新聞
2月2日	“おでん”も運ぶ 署長さんまず陣頭指揮	朝日新聞
7日	栄養と外気で強く 赤ちゃんの戦時育て方	朝日新聞
14日	給食で優良壮丁 不健康地の名を返上	朝日新聞
18日	雑炊に三つの効用 満腹感に欺かれて栄養を失うな 都衛生試験所 近藤技師	朝日新聞
26日	ここに“給食”先登校あり 偏食直り太る学童 お母さんは専心仕事へ	朝日新聞
28日	神奈川で学童給食	朝日新聞
3月1日	米よりよい栄養 ハトムギを植えましょう	朝日新聞
4日	学童給食 六大都市二百万人へ 来月一日実施昼食一人当り七勺	朝日新聞
5日	神風賦 国民学校の取り組み	朝日新聞

8日	お炊事も私達で 模範給食 作る喜びに皆健康	朝日新聞
12日	ビタミンの補給源 理研所員 農博 中宮次郎	朝日新聞
24日	科学随想 ビールの濁膠 前日本曹達社長 中野友禮	朝日新聞
26日	学童給食 膳立ては好調 嬉しい給食の準備 日本橋十思国民校で 一年生にも間に合やす 食器持参で入学式 案ずるより易かったお釜動員	朝日新聞
26日	戦争科学 その栄養と加工法 陸軍主計大佐 第七陸軍航空技研究所長 川嶋四郎	朝日新聞
4月2日	空地利用 鉢 箱植で結構 ビタミンの多いチシャ 都戦時農園班長 山本実技師談	朝日新聞
7日	給食のお菜に野草 ヨイコが多摩 江戸川堤へ	朝日新聞
9日	雑炊に噛みしめる民情 安藤さん(内相) 街の栄養査察	朝日新聞
11日	反省しよう 精進一箇月 家で与えよ弁当分 昼食浮かすは子供が可愛そう	朝日新聞
13日	偏食も忽ち矯正 学童給食にこの効果	朝日新聞
14日	社説 学校給食と家庭の協力	朝日新聞
14日	岡部さん(文相)も舌鼓 きノウ学校給食を視察	朝日新聞
18日	先生方にも給食 十八日から	朝日新聞
21日	何より玄米食 食糧戦と謀略について(上) 海軍軍医中將 呉海軍病院長兼呉鎮守府軍医長 福井信立	朝日新聞
22日	主婦の協力を俟つ 食糧戦と謀略について(下) 福井信立	朝日新聞
22日	母乳育児へ御褒美	朝日新聞
23日	家畜を飼って蛋白質を補いましょう 農商技手 田内政晴	朝日新聞
26日	紙上学会 摂取量の調節へ B類ビタミンと栄養 理研所員 桜井芳人	朝日新聞
28日	戦争科学 なんきん豆の栄養価 理研所員 農博 中宮次郎	朝日新聞
6月7日	牛乳や乳製品を確保 乳幼児の哺育に不安解消	朝日新聞
21日	戦時科学 鍛えよ戦闘精神 睡眠と食餌に注意	朝日新聞
25日	乳児 乳製品は心配なく	朝日新聞
7月4日	粉食へ 新分野拓く 都が研究所	朝日新聞
12日	大豆を粉食しましょう 牛肉よりズッと多い栄養価	朝日新聞
14日	「母子栄養」の路はここに 牛乳も即刻配給へ 妊婦に贈りたい油 新鮮物	朝日新聞
21日	護る赤ちゃんの栄養乳製品の質と量を確保	朝日新聞
8月4日	疲労と栄養① 本質的なものと老廃物の蓄積 理化学研究所員 井上兼雄	朝日新聞
5日	疲労と栄養② 戦時浮腫の予防に大豆 井上兼雄	朝日新聞
9日	疲労と栄養③ 大切な食塩補給 井上兼雄	朝日新聞
11日	疲労と栄養④ 石灰を摂れ 井上兼雄	朝日新聞
12日	疲労と栄養⑤ 熱量を補給せよ 井上兼雄	朝日新聞
16日	疲労と栄養⑥ 食過ぎも悪い 井上兼雄	朝日新聞
18日	疲労と栄養⑦ 体の潜在ビタミン 井上兼雄	朝日新聞
19日	鉄蒔 玉蜀黍の食法	朝日新聞
19日	疲労と栄養⑧ ビタミンB ₂ の効 井上兼雄	朝日新聞
23日	疲労と栄養⑨ 有害物の中和へ 井上兼雄	朝日新聞
25日	疲労と栄養⑩ 緑茶の効用 井上兼雄	朝日新聞
26日	疲労と栄養⑪ 色のある野菜がよい 井上兼雄	朝日新聞
9月26日	母乳を検査 牛乳の配給を適正化	朝日新聞
10月6日	疎開学童へ温い手 第一回対策協議会開く 栄養 宿舍の冬支度	朝日新聞
14日	急げ食糧の武装化 栄養の多い「乾燥法」 貯蔵や輸送にも便利 野菜 生命を維持する大切なビタミン給源 魚介 日光が一番 多量に獲れる種類を選べ 理研所員 井上兼雄	朝日新聞
20日	おさつ 栄養を生かして 他の惣菜と一緒に食べよう	朝日新聞

【調理に関する記事】

1月16日	お子さんへ栄養ある魚の臓物 ねり味噌 つみいれの作り方 愛育会 武藤静子	朝日新聞
17日	甘藷の千切干 二日から配給されます 千切干の炊き方	朝日新聞
18日	茹水は少く うどん類の調理法	朝日新聞
29日	アクを抜き乾す 甘藷食用切干しの作り方 農商省食糧研究所 木原芳次郎博士	朝日新聞
2月3日	こつはぬるま湯 切干 豆萌上手な調理法 一戸伊勢子氏談	朝日新聞
7日	配給籠 塩茄子 塩出しをして芥子漬に	朝日新聞
23日	活かせ一握の米 空襲時の家庭糧いろいろ 東京都嘱託 一戸伊勢子女史	朝日新聞
26日	創意工夫 節米「新国策炊き」満腹感を味わってしかも燃料節約になる	朝日新聞
29日	朝の味噌汁は前夜に 防火と炭の節約に一石二鳥 大日本婦人会生活委員 竹田菊氏談	朝日新聞
3月8日	創意工夫 お惣菜を活用して学校給食に“かただき雑炊” 筒井政行	朝日新聞
12日	なにがよいか 必勝の腹ごしらえ 農省米穀利用研究所技師 農博 木原芳次郎	朝日新聞
14日	創意工夫 味つけの“楠公軍飯” 炊き方に新しい工夫をして	朝日新聞
18日	給食隊を編成 料理屋さん出動	朝日新聞
18日	食生活の簡素化 “真生活運動”で出勤率向上	朝日新聞
24日	創意工夫 こうすれば三得 御飯と惣菜の共同炊事 若木はな子	朝日新聞
29日	生食の研究 “火を使わない料理” 空襲に備えてぜひ馴れよう	朝日新聞
4月11日	創意工夫 醤油不足の解決 こうすれば二倍に使える	朝日新聞
12日	食べられる野菜いろいろ いたどり あざみ	朝日新聞
14日	食べられる野菜いろいろ つわぶき たらのき おとこなえし	朝日新聞
14日	そとわりニシン やわらかい煮方 一戸伊勢子氏談	朝日新聞
22日	カロリーは鯛の四倍 “外割にしん”の上手な調理法 東京都衛生試験所 筒井政行技師談	朝日新聞
28日	おいしい炊き方 燃料も砂糖も節約になる いんげん豆 一戸伊勢子	朝日新聞
29日	野菜入りお粥 ビタミンをこわさぬ炊き方 大日本生活協会 守屋磐村氏	朝日新聞
29日	醤油の上手な使い方 一戸伊勢子氏談	朝日新聞
6月18日	携帯食を作ろう 防空煎餅 なめ味噌 干飯の粉食 一戸料理研究所 一戸伊勢子	朝日新聞
23日	空襲時の食物 平常から用意しよう 味噌入お握り いもち 乾し蒸パン 惣菜物	朝日新聞
7月5日	新じゃが代用食 郷土食豊かな調理法いろいろ 薯カレー 薯おはぎ 澱粉麵 馬鈴薯米 馬鈴薯団子 薯飯 薯粥 薯やきもち 厚生省研究所国民栄養部 松澤九二雄氏	朝日新聞
22日	固い干魚を軟らかにする法 愛育会 武藤静子女史談	朝日新聞
28日	節米 南瓜の代用食 郷土に伝わる色々な食べ方 南瓜飯 南瓜粥 南瓜すいとん 南瓜団子 焼南瓜 南瓜餅 南瓜つき入れ団子 南瓜切干 厚生省研究所国民栄養部 松澤九二雄氏	朝日新聞
8月9日	協同炊事 栄養もたっぷり 労力と時間を省く このよい実例を学びましょう	朝日新聞
12日	おいしい粉食 栄養があって満腹感 蠟山さん一家で大好評の調理法 パン 焼餅 もみ殻まんじゅう 翼政会代議士 蠟山政道氏提唱	朝日新聞
26日	小麦粉の利用 パン化しましょう 消化 保存 風味とも満点 野菜入蒸パン 平焼パン 食糧協会 金子竹松氏	朝日新聞
9月1日	“献立”を見てすっかり安心 文相 学童疎開地を視察激励	朝日新聞
2日	南瓜を活かす おいしい決戦料理十二種 南瓜蒸し 南瓜飯 変南瓜 南瓜パン 南瓜すいとん 包み蒸し 石垣蒸し コロッケもどき 蒸し南瓜きなこまぶし	朝日新聞

	南瓜かん たね味噌かけ 南瓜濃厚汁 戦争生活協力会	
10月7日	防空食生活 一日一回の調理 ご飯ばかりでなくおかずも	朝日新聞
11日	いもの皮が綺麗にむける便利な“軽石むき” 渋谷 宮川芳子	朝日新聞
11日	水の上手な使い方 一人一日の必要量を心得よ	朝日新聞
11日	南瓜から 飴が作れます	朝日新聞
20日	勧めるおさつ料理 おさつ衣 そばいも	朝日新聞

昭和20年(1945年)

【食に関する記事】

1月1日	当局に聴く 疎開先と米の配給(疎開先の米の配給量)	朝日新聞
1日	寒い狭い部屋で伯林は団欒 避難はしても強気の越年	朝日新聞
2日	都防火陣 元旦の敢闘 怯まぬ神風鉢巻 焼けぬ隣組がお餅供出	朝日新聞
2日	藁座敷 父さん隠し芸 工夫一つで防空壕の正月楽し 壕内食	朝日新聞
2日	海豚の大漁 敵機のお年玉	朝日新聞
2日	独の攻勢半月 米の“総攻撃” 立往生 物量の敵物量補給に苦悩 敵米の食糧異変	朝日新聞
2日	年頭の諸御儀 前戦将兵に大御心 畏し野戦兵食を召させ給う 陸軍・海軍野戦兵食献立記載	朝日新聞
3日	帝都へ初荷 魚のお年玉	朝日新聞
3日	鉄鯨に明ける決勝新春 海底に拝む祖国 出撃へ鬚も剃った晴姿 某潜水艦基地にて	朝日新聞
3日	青鉛筆 山下将軍へお土産に下関のうに持参 火野葦平氏の出陣の弁	朝日新聞
4日	本年の食糧需給 基準配給は確保 混食率の増加は必至	朝日新聞
4日	配給 野菜 初荷野菜の配給量は昨年より多い	朝日新聞
4日	当局に聴く 疎開と食糧配給	朝日新聞
6日	青鉛筆 集団疎開学童の寮母の帰京の土産に むしパン バター 握り飯 疎開先で物資の心配もなく 殆ど全部目方がふえたよう	朝日新聞
6日	増税案 要綱 分類所得税等六税目税率を引上げ 酒税・遊興飲食税	朝日新聞
6日	決戦増税と日常生活 耐乏で“納税一本” 禁酒もしよう 旅行も自粛	朝日新聞
7日	元素から創る衣食住 濠北に明朗敢闘の勇士	朝日新聞
7日	職域の合宿所に必需物資を配給 酒は一人で一世帯分	朝日新聞
7日	石鱈 バター等を特配 老幼者妊産婦等疎開転出者に対する物資特別配給	朝日新聞
8日	疎開学童便り 群馬県富岡町で一人六合のお餅 楽しいお正月を満喫	朝日新聞
9日	主要食糧 幽霊人口退治 自給体制強化の一本槍で	朝日新聞
9日	甘藷増産に糠を確保	朝日新聞
10日	配給 白くなるお米 一分搗き米から四分搗き米へ	朝日新聞
12日	空襲罹災者へ煎り豆の贈物 岩手の学童が一握宛持寄って	朝日新聞
12日	増産の春巨大麦生る 交雑による新品種 桐生高女博物教諭 京大農学部嘱託 中島吾一氏	朝日新聞
13日	配給 ふくらまし粉	朝日新聞
14日	薪一本で炊ける一升の御飯 小さな燃料はこんな工夫で	朝日新聞
16日	配給 雑穀 米と混合配給	朝日新聞
18日	支那からお砂糖 都民一人当り廿匁 ありがとう陳公博閣下	朝日新聞
19日	酒税引上げ 生活に反省と鍊磨 必勝納税に邁進しよう 濁酒 白酒も本決り	朝日新聞
20日	味噌を値上げ 一割五分	朝日新聞
20日	配給 お菓子と防空糧菓	朝日新聞
21日	お台所の冬枯対策 配給の野菜 鮮魚の減量	朝日新聞

22日	十月の生計費続騰	朝日新聞
22日	配給合理化 食糧増産に積極策を 木村正義氏	朝日新聞
23日	味噌 醤油需給調査	朝日新聞
24日	味噌汁政治 値上げの報道で業者が荷止め 庶民に届かず	朝日新聞
24日	社説 食糧自給策論議の基調	朝日新聞
24日	米麦諸類等の価格 農商相 改訂考慮を言明	朝日新聞
24日	配給 母乳素	朝日新聞
25日	お味噌配給 心配無用 二月上旬から定量確保	朝日新聞
26日	議会焦点 「二合三勺は確保」と農商省 闡明された疎開具体案	朝日新聞
26日	食糧不安一掃へ 基準量は絶対確保 首相・農商相 力強い言明	朝日新聞
26日	配給量を強化 食塩	朝日新聞
26日	お酒の代わりに配給 葡萄酒	朝日新聞
27日	甘藷増産の完遂を期せ	朝日新聞
27日	生鮮食料品 空襲下にも確保 心配なし非常配給の陣立	朝日新聞
28日	甘藷飛躍増産 各省で分担遂行	朝日新聞
30日	都の対策 お米 災害発生時に都内の避難先なら五日間は無料配給	朝日新聞
30日	米 平年作下廻り 麦は二千四・五百万石 十九年度実収見込	朝日新聞
30日	お魚の配給は六日に一回 その代り大根やお豆腐を確保	朝日新聞
31日	社説 耐乏生活と食糧増産	朝日新聞
31日	諸類 特攻魂で二倍増産 滅敵へ液体燃料を確保 中央に緊急増産部	朝日新聞
2月1日	農村へお酒廿万石 甘藷と米の供出者へ酒の特配	朝日新聞
2日	米の酒は減らさぬ	朝日新聞
2日	かまぼこ値上げ	朝日新聞
3日	配給生活確保 配給実情 鎌倉武士	朝日新聞
5日	配給問答 お茶は統制品に非ず 都食料課生鮮食品部 遅れた大豆や小麦粉 都食糧営団配給課 麦麵課	朝日新聞
6日	配給 野菜 底をつく	朝日新聞
10日	青鉛筆 棄てられていた冬葉を利用して粉末茶の製造開始「栄養新緑茶」と命名	朝日新聞
10日	配給 味噌 一人当り百匁	朝日新聞
11日	配給 豆腐 納豆 煮豆	朝日新聞
12日	お蕎どころ 千葉県下野田村の農事組合が三万貫近く超過出荷	朝日新聞
22日	配給 味淋 ビール	朝日新聞
23日	配給 小麦粉 ふくらし粉	朝日新聞
26日	配給問答 支那からお砂糖 いつ届くのか	朝日新聞
27日	職場は職場で 米も味噌も持寄ろう 寮には罹災の全家族を	朝日新聞
28日	野菜の出荷 野菜の統制出荷に対する意見 山川生	朝日新聞
28日	配給問答 疎開学童の味噌醤油 帰宅後の配給量の申請方法	朝日新聞
3月1日	青鉛筆 “何が何でも南瓜を作れ” の声に答えて 堀 垣根に六十余個	朝日新聞
2日	魚の眼玉も航空食	朝日新聞
3日	青鉛筆 学生の心意気 罹災者への応接	朝日新聞
3日	麦 甘藷増産へ郷軍動員	朝日新聞
4日	お寺へ集団疎開 妊産婦 乳幼児の初の試み	朝日新聞
5日	配給問答 醤油 味噌旧通帳でも入荷遅れの味噌は 都食料課食品係が回答	朝日新聞
5日	空襲下に “強い親切” 全町一家の団結で戦いぬく	朝日新聞
6日	配給 切干大根	朝日新聞
7日	配給 お酒 量と価格	朝日新聞
7日	どうなる今年の食糧 配給の八割で暮せ 浮かした二割は貯蔵へ 当局者と一問一答	朝日新聞

8日	焼け跡に芽ぐむ“菜園の春”	朝日新聞
9日	配給 食用油	朝日新聞
10日	未だに幅利かす「顔」闇に蠢く“閉店開業”享楽追放その後	朝日新聞
10日	自給製塩を推進 各種団体 隣組も動員	朝日新聞
12日	巷に強し“戦友愛” 焼跡で分合う煙草 握り飯	朝日新聞
12日	赤ちゃん練粉乳 副食物や日用品なども配給	朝日新聞
13日	各地から温い救援の手 都下から沢庵十萬貫	朝日新聞
13日	みかんやお魚配給 罹災者の疲労回復のため鮎玉配給	朝日新聞
14日	青鉛筆 帝都の罹災地にみた一情景 焦げ臭い砂糖に整然と行列	朝日新聞
14日	罹災者へ都援護課の回答 配給には罹災証明書必要	朝日新聞
15日	甘藷作り幹部に学徒を動員	朝日新聞
16日	徳王主席から肉牛三千頭の贈物 蒙古政府から	朝日新聞
16日	戦災下一般家庭の食糧配給 米 十分に準備 野菜 味噌醤油 缶詰 魚等もあり遅れないと発表	朝日新聞
16日	青鉛筆 罹災地からの馬鹿げた流言が気力を蝕む	朝日新聞
17日	見舞のお魚第一陣 東北 北陸 北海道から 大根 沢庵 白菜等も 鯉節を各家庭へ 片栗と米 罹災者へ配給	朝日新聞
19日	青鉛筆 災害をまぬがれた都内各署の衛生挺身隊が奮闘 四谷署では三日で十五万五千食のお握りを運ぶ	朝日新聞
20日	戦うドイツの防空態勢 食糧も分散貯蔵 被害復旧に修理列車	朝日新聞
20日	鍋や包丁は水に浸せ 土蔵 倉庫の換気孔を塞ぐこと	朝日新聞
21日	塩の節約と自給製塩の普及	朝日新聞
23日	青鉛筆 戦災余聞 今度の帝都の戦災でお味噌も厄害を被る	朝日新聞
24日	罹災者に平貝を寄贈 千葉県富津町漁業組合	朝日新聞
24日	米・麦価格近く決定 藪類は倍ぐらいに引上 農商相答弁	朝日新聞
25日	先ず食生活を 外食券食堂の凄まじさは社会問題	朝日新聞
26日	二合三勺を確保 食糧増産 軍も協力 農商相言明	朝日新聞
27日	配給 つぶし味噌	朝日新聞
28日	無償でお砂糖廿匁 陳公博氏の贈物	朝日新聞
28日	コンロ土釜鍋の配給 戦災者優先	朝日新聞
31日	主要食糧の配給制を改訂	朝日新聞
31日	配給 外食者に乾パン	朝日新聞
4月1日	主食糧の配給合理化 労務者加配は稼働日数に応じて来月初旬実施 年齢別配給も改訂	朝日新聞
1日	決戦生活も衣替へ 酒類公定価格改正	朝日新聞
6日	春鯉の初漁は好成績	朝日新聞
6日	食パンを差引配給	朝日新聞
6日	食料塩値上げ 来月から実施	朝日新聞
7日	食パン代替配給は一回だけ	朝日新聞
11日	食料増産に婦人連絡員	朝日新聞
12日	お嬢さんもお藪作り 帝都へ美味しい春鯉 スキー場に玉蜀黍馬鈴薯	朝日新聞
15日	乾パン廿九萬食 毛布四萬枚 チリ紙 箸等も戦災地区へ	朝日新聞
15日	鉄箒 食の合理化	朝日新聞
15日	食糧 配給券等の交付について	朝日新聞
17日	寝具や下駄ちり紙を配給 都から戦災者へ贈る応急対策品 食糧 雑品	朝日新聞
18日	焦土のお塚に配給なし 戦災者心得帳 家財には禍償金	朝日新聞
18日	食糧配給調べは一日に変更	朝日新聞
24日	山菜採取に乗出す	朝日新聞

24日	“あますら”から砂糖	朝日新聞
24日	泉熱で甘藷温床づくり	朝日新聞
25日	食塩値上げ	朝日新聞
25日	元寇と耐乏（上）命倍 力倍廿七年 福岡市博物館長 永島芳郎	朝日新聞
25日	元寇と耐乏（下）噛みしめる悪食 福岡市博物館長 永島芳郎	朝日新聞
26日	五月の外食券改正	朝日新聞
26日	暖房利用の製塩奨励	朝日新聞
27日	当分蒲焼もお預け 浜松の養鰻池を美田に	朝日新聞
29日	買入価格を引上げ 麦平均六割 諸類廿六割強	朝日新聞
31日	お芋増産へ汗の生産兵	朝日新聞
31日	有毒の野草にご注意	朝日新聞
5月1日	米穀の銘柄間 格差を簡素化	朝日新聞
1日	戦列への復帰が第一 戦災者必携 職場は君らを待つ ためらわず進め	朝日新聞
2日	春鯨がどっと入荷しました	朝日新聞
3日	心うたれた特攻隊基地 握飯二つと渋茶 特別待遇なき出撃前夜	朝日新聞
5日	配給はどうなる 味噌 醤油	朝日新聞
6日	春鯨漁獲十八万五千石 豊原	朝日新聞
7日	副食物を増配します 戦災地に家畜飼養計画 一割減と食生活新設計 並川都経 済局長談	朝日新聞
8日	配給 乾麺	朝日新聞
9日	酒田で鯨輸送に海洋筏	朝日新聞
12日	生活に潤いと落ち着きを 大食堂を外食者に 工員寮には料理人を配置	朝日新聞
12日	荒地から美味しいお諸 大湊	朝日新聞
15日	麦の供出を強化 配給 消費に創意工夫 農商相説示	朝日新聞
15日	お米の配給制きょうから切替え	朝日新聞
18日	鉄筆 罹災者の取扱い 味噌 醤油 石鹼 マッチ	朝日新聞
18日	配給 酒	朝日新聞
19日	青鉛筆 大本営報道部副長 栗原海軍少将の自宅の庭で自給自足	朝日新聞
20日	飢えるまで配給なし 独逸の事情	朝日新聞
23日	量目を正確に 米 味噌 醤油の配給 上田生寄	朝日新聞
24日	帝都向け昆布は豊作	朝日新聞
24日	急速調の自給製塩	朝日新聞
25日	都の配給物かずかず 戦災者へ 食糧 茶碗 箸など	朝日新聞
25日	旅行者も外食者も一安心 旅行者外食券 三食外食券制度	朝日新聞
26日	低温に米の新品種 ふ系十四・十六号	朝日新聞
26日	一石二鳥の電気製塩	朝日新聞
27日	戦災者への配給物 乾パン 缶詰 ローソク 燐寸	朝日新聞
29日	農学校が澱粉工場	朝日新聞
30日	味噌を配給 張満州国総理の見舞い品で四百九十万貫の味噌	朝日新聞
31日	空襲下 揺がぬ備蓄 食糧に不安なし 末端の配給にも筋金を	朝日新聞
6月5日	配給 パン 家庭用米穀通帳で	朝日新聞
5日	明るい壕舎生活へ 総合配給を強化 配給と隣組	朝日新聞
6日	鉄箸 大豆の活用 「呉（ご）納豆」の造り方 「練みそ及チーズ様食品」の造り 方 宇都宮農専 山崎百治寄	朝日新聞
6日	外食券食堂一本に 勤労者の食糧を確保	朝日新聞
7日	苺あり 特攻隊に捧ぐ	朝日新聞
8日	戦災者の葉 みなさん御存じですか こんな温かい手があります	朝日新聞
9日	大豆緊急増産 桑園の転換と甘藷畑へ混作	朝日新聞

10日	配給者より「配給量目を正確にせよ」との一文について回答 味噌醤油配給所 大石寄	朝日新聞
13日	配給 数の子	朝日新聞
14日	鋸屑から肉 栄養価も豊富 チューリッヒ十二日発同盟	朝日新聞
14日	疎開に大豆の御褒美	朝日新聞
15日	長岡市営で 製塩場	朝日新聞
15日	藩づくりに豆部隊活躍	朝日新聞
15日	大好評の山菜列車	朝日新聞
16日	にしん値上げ	朝日新聞
16日	「総合配給所」まで御足労を 来月から都民の食糧燃料を一手に	朝日新聞
16日	きょうから外食券食堂 年中無休 店の看板に町会名	朝日新聞
16日	みそをつける 日本人の体位低下は蛋白質源の不足から 横浜 長瀬研一寄	朝日新聞
17日	これは凄いぞ 外食券食堂は滑り出し好調	朝日新聞
17日	まず飲食物に注意 壕舎生活の衛生指導 飲食物 飲料水	朝日新聞
17日	欧州空前の食糧不足 ストックホルム十五日発同盟	朝日新聞
18日	馬鈴薯の板チョコ出現	朝日新聞
18日	女学生が砂糖の自給 青森県田名部高女	朝日新聞
20日	来月から醤油 月に二合七勺 味噌は据置が第一節約	朝日新聞
21日	配給替代 お米と抱合せて 玉蜀黍や高粱も登場 粉の食べ方 すいとん 焼いて食べる 雑炊	朝日新聞
22日	前線は自給自戦 自力で殖やす食糧	朝日新聞
23日	味噌・醤油用に電気製塩	朝日新聞
24日	勝ち抜こう食糧戦争 農民は国内戦士だ 赴難の気魄で増産	朝日新聞
24日	鉄箒 酒類と乳製品 人工混合栄養児の栄養が緊急の問題 汐見生寄	朝日新聞
26日	大陸みやげに大豆 満鉄が無料で旅客へ 新京二十五日発同盟	朝日新聞
27日	一万余人の家庭用製塩 函館	朝日新聞
28日	農村を批判するな 根気よく土の文化を汲み出せ 加藤完治氏から帰農者へ贈る言葉	朝日新聞
30日	樺太沿岸鱒の大漁 豊原	朝日新聞
30日	学童丹精の大豆を納豆に 福島	朝日新聞
7月1日	時間潰しから放免 蔬菜 魚のほか六種取扱い 総合配給所の発足 外食券食堂の登録	朝日新聞
2日	養鯉の飼料にいなご 長岡	朝日新聞
3日	神風賦 総合配給所 都内三百三十六ヶ所に設ける 日本魂をそこねるな	朝日新聞
3日	配給 満州国からのお味噌 満州国から大豆と塩の寄贈 味噌にして都民へ	朝日新聞
3日	お藩増産の腕くらべ 長岡	朝日新聞
4日	配給 食用粉 米に替り粉を配給	朝日新聞
5日	漬物五割以上値上げ	朝日新聞
5日	活かそう未利用資源 どんぐりや野菜の粉食お奨め 芋粕の利用法 納豆の作り方 厚生省内「戦時生活問題協議会」山岸常務理事の話	朝日新聞
5日	芋蔓や桑葉等で食用粉 これですくお米は百万石以上	朝日新聞
5日	代用食 食べ方いろいろ 玉蜀黍 甘藷 大豆 野草 農商省食糧管理局研究所 技手 川口武豊氏談	朝日新聞
7日	青鉛筆 内原の戦時対策研究所中村浩理博が尿から食塩を採る方法を考え出した	朝日新聞
7日	戦う地方基地 学徒が乾燥野菜作り 甲府 鉾泉から塩を作る計画 前橋	朝日新聞
8日	こんな雑草も食べましょう 蝸牛や井守も結構戴けます	朝日新聞
11日	郷土食の復活へ お米は晴の日の御馳走 根っこも木の葉も決戦食	朝日新聞
11日	鱒と夏鯉で樺太活況	朝日新聞
11日	裏磐梯で温泉利用の製塩 会津喜多方	朝日新聞

12日	白米より玄米を	朝日新聞
12日	規定の配給も貰えぬ 伯林市民に迫る飢餓 チューリッヒ特電	朝日新聞
12日	焼野原とはいえ地下酒場に湧くあすの戦力	朝日新聞
13日	味噌醤油値上げ	朝日新聞
15日	全従業員の食糧自給 菜園はおろか養蜂牧場製塩まで 大地に根を張った国鉄	朝日新聞
16日	食べられる雑草 活かそう この食資源 焼跡に路端にいくらでもある あかざ おおぼこ いぬびゆ いたどり いぬたで つゆくさ はこべ かたばみ うまごやし しろつめ草 れんげ たんぼぼ いのこずち	朝日新聞
17日	配給 乾数の子 乾わかめ	朝日新聞
20日	製塩 三人手間で廿五俵 高圧線を利用して好成绩 福島	朝日新聞
20日	都で製塩事業 羽田 江戸川海辺で製塩する	朝日新聞
21日	戦う地方基地 波打ち際にも馬鈴薯畑 大湊	朝日新聞
21日	無分別な 一度に三食分 外食券食堂の一箇月を視る	朝日新聞
22日	どんぐり飴はいかが 粉にすれば完全な食糧です	朝日新聞
26日	戦災中小都市のその後 少ないながらも配給も元通り 日立 十日間にお魚二回 宇都宮	朝日新聞
27日	指定疎開者へお酒一升 土浦	朝日新聞
27日	山形の学童が毎日五升塩作り 自給製塩に国民学童の戦果	朝日新聞
27日	熊笹の実で餅とお茶 秋田	朝日新聞
28日	青鉛筆 配給所の会話の様子	朝日新聞
30日	町会で配給物一括購入 甲府	朝日新聞
30日	海藻うどんを配給 新潟	朝日新聞
31日	家庭で加工しましょう 私有山の出入もお構いなし どんぐり五百万石を採取 コーヒー挽再登場 大豆は粉にして挽臼を近く隣組に配給	朝日新聞
31日	大豆と下痢 東京工業試験所 岩下生	朝日新聞
8月1日	青鉛筆 大日本種子協会のささん 庭を菜園に 配給大豆を煮てつぶして塩味を つけたものと配給味噌を混合して倍量の味噌を	朝日新聞
2日	青鉛筆 東京水産練製品統制組合で「揚げ蒲鉾」の製造 家庭に配給の予定	朝日新聞
2日	いか釣活気づく 艦上の空襲にもめげず 大湊	朝日新聞
3日	社説 農事に妙計なし	朝日新聞
4日	電熱で燃料難打開 家庭製塩や電気風呂許可	朝日新聞
5日	戦う地方基地 横綱安芸の海が塩づくり 静岡	朝日新聞
5日	配給 氷 病人および牛乳冷却用に	朝日新聞
5日	葡萄酒の自由販売好評 秋田	朝日新聞
6日	本年も大豊作 満州の農産物 新京特電五日発	朝日新聞
7日	戦う地方基地 北海道で自給製塩推進 札幌	朝日新聞
7日	敵襲を覚悟で鰯漁へ 青森	朝日新聞
9日	戦う地方基地 山梨で農家主食配給改定 甲府	朝日新聞
9日	少食精咀 腹八分で満腹感 今村明恒	朝日新聞
10日	お茶も食べ物 飲むより効果的 野菜不足の必要なし	朝日新聞
10日	明るい食生活の再編成 主食は加工配給 家庭的調理一擲の秋	朝日新聞
12日	戦災者へ七輪とバケツ 疎開回収の材料で大量生産	朝日新聞
12日	居たぞ四重どりも 九日間で幽霊が食った百二十万食 幽霊人口問題	朝日新聞
15日	乏しき食糧を覚悟 整然たる供出 忍べ節食	朝日新聞
終戦後		朝日新聞
18日	配給機構は確保 先渡し分を食い込むな 今後の食糧	朝日新聞
19日	栄養パンを献上 澱粉粕 どんぐり アカザ クローバーの葉 粳米の五種類が 材料	朝日新聞

19日	お蕎麦の蔓などで 栄養パンを製造 近く工場を新設配給	朝日新聞
19日	気に病む配給 繰上げは一時的	朝日新聞
20日	美味しい食べ方 脱脂大豆と食用粉	朝日新聞
21日	野草のお料理 こうすれば美味しい アメリカセンダン ミズナ イノコズチ イヌビエ シロザ スベリヒユ 宇都宮	朝日新聞
24日	鉄箒 栄養と工夫 帝国発明協会常務理事 小川潤次郎	朝日新聞
26日	主食糧以外は特配 前渡で揉めた神奈川	朝日新聞
27日	あったぞ 明朗配給 厄介な大豆で“赤坂饅頭”はいかが 都長官 初巡視の収穫	朝日新聞
28日	丸干鰯を増産 小田原	朝日新聞
9月2日	帝都へ贈る新甘藷 浦和	朝日新聞
3日	八郎潟の佃煮復活 秋田	朝日新聞
5日	工場を離れた者は食糧も一般なみ 将来は家庭配給一本建て 主食配給一問一答	朝日新聞
6日	食糧は本国から 日本の事情を考慮して 連合軍が方針を明示	朝日新聞
7日	持越し二百三十万石 漸落一路今年度主食事情	朝日新聞
9日	青鉛筆 進駐軍が「菓子撒き」	朝日新聞
9日	原爆と植物 畸形の葉に残る謎 芽を吹いた南瓜 豆類三十種 福岡	朝日新聞
10日	大森で藍作り 一昼夜に百五十貫	朝日新聞
10日	豊魚の東京湾鰯 館山	朝日新聞
12日	秋刀魚二十一日解禁 水戸	朝日新聞
13日	進駐兵と麦酒 呷る終戦の味	朝日新聞
16日	湾内鰯 お待ちどおさま二十日から食膳へ 一回一人五尾は配給出来る	朝日新聞
17日	闇市の氾濫 王座は日用雑品 放出物資の横流しか	朝日新聞
21日	取り外す経済統制の枠 自由販売に還る まずお野菜と魚類から	朝日新聞
22日	配給は円滑 噂に根なし “いも味噌”で原料難も吹飛ばす	朝日新聞
25日	鰯ぼっぼっ入荷	朝日新聞
26日	お鍋の製造始る 川口で月産二万個	朝日新聞
26日	闇から解放の青果物 盛岡で大好物の市営市場	朝日新聞
26日	生鮮食糧の自由販売 事態に鑑みて再検討 農林当局で協議中	朝日新聞
29日	工場給食用の保管米を横領	朝日新聞
29日	お鍋に生れ変わる鉄兜 改造費一個 十一円均一	朝日新聞
29日	こんにゃく出廻る 前橋	朝日新聞
30日	旅行者外食券 有効期間を延長	朝日新聞
10月1日	日本の食糧窮迫 積極的決意に俟つ 連合軍経済科学部長言明	朝日新聞
1日	新米供出の皮切り 越後の稔りゆたか	朝日新聞
3日	食料品の自由販売 実情に応じて許可 クレーマー大佐言明 民需統制は非常手段	朝日新聞
3日	秋田 新潟から お米の専用列車 京浜へ日に六千石	朝日新聞
4日	復員迎えて秋場所準備 太鼓腹に祟った“二合一勺” お相撲さんの近況報告	朝日新聞
5日	日用品の生産目標時期決まる 年内に鍋六百九十万個 戦災者には毛布百万枚 商工省の指示	朝日新聞
5日	配給改善案の実施延期 生鮮食料品	朝日新聞
7日	瀬戸内海の塩田被害 下半期生産目標は三分の一に	朝日新聞
8日	飢餓の戦場に“米の虫”	朝日新聞
8日	帰った兵は三分の一 米軍は鄭重と語る 原田大尉	朝日新聞
9日	学園作物を勝手に処分 校長を排撃 上野高女四年生が盟休	朝日新聞
10日	迫り来る深刻な窮乏 米記者 農業会首脳と自由討議	朝日新聞
11日	母の叫び 配給量少ないと途方にくれた母の投書	朝日新聞
11日	米兵暫く酒場とお別れ メチルアルコールで米兵失明	朝日新聞
12日	三百万トンを懇情 カロリーによる算定基礎	朝日新聞

12日	食糧危機迫る 水害に戦く生命線 割るか五千万石 農民に悲し 欺された怨み	朝日新聞
12日	暗澹たる食糧の前途	朝日新聞
12日	必要物資の輸入 まず米穀 塩 原棉 最低生活維持に限定 マ司令部措置指令	朝日新聞
12日	需給推算による不足額	朝日新聞
13日	出廻らぬ野菜と魚 休眠した配給制 職域配給停止で危機を突破	朝日新聞
13日	闇値 主食は天井知らず 日用品 一般労賃は漸次下り気味 農村需要品は依然高値	朝日新聞
15日	軍糧秣横流し 元兵曹長ら送局	朝日新聞
17日	酒とビール 塩田定雄 官庁用物資の不合理 北山生	朝日新聞
17日	鉄箒 支那甘酒の製法	朝日新聞
17日	チャブ台等 来月から出廻る	朝日新聞
17日	米 豆粕 粉の大闇 主計中尉が七十二万円の横流し	朝日新聞
19日	証拠品の砂糖を換価 部内だけで分配 遠藤検事長 退職処分 「換価処分」の手で法網を潜る 検事五十斤 書記は三十斤	朝日新聞
19日	青鉛筆 品川駅ホームにおける鯖の闇商売のやりとり	朝日新聞
21日	雑穀類を包含する 総合供出の容認 篤農家集め供出委員会 農林当局で検討	朝日新聞
22日	生れた応用食連盟 未利用食料資源の活用をはかるため	朝日新聞
23日	学童の弁当難から 午後の授業中止 寒心すべき盛岡の食糧事情	朝日新聞
23日	お米差引きでパン配給	朝日新聞
24日	返還軍需物資の配給措置決定す 内閣に特殊処理物件委員会	朝日新聞
24日	主食として配給 澱粉 一キロは米六合六勺と代替	朝日新聞
25日	総合配給所は廃止 隣組単位の自由登録 食糧配給の今後	朝日新聞
25日	朝鮮から塩七万噸 連合軍司令部も快諾	朝日新聞
26日	塩 楽観するのは早い 朝鮮塩移入は米軍の好意	朝日新聞
27日	芋羊羹など 蒞の供出に褒美	朝日新聞
27日	明年度の清酒 醸造高 百二十万石 本年度より二割増し 京都	朝日新聞
28日	恐るべき闇値 警視庁で調査	朝日新聞
29日	昂進する栄養失調症 配給だけでは“死” 足りないビタミンと蛋白 理化学研究所 井上兼雄氏談	朝日新聞
29日	公価なしの食粉奨励 一定限度は米の代替供出認む	朝日新聞
31日	清酒横流して百五十万円 次々と暴れる軍需品の闇取引	朝日新聞
31日	食料品携行基準表	朝日新聞
11月1日	戦災者にどっと台所用品	朝日新聞
2日	食生活の実態 [東京都] 買出しから“破産” 絶対量に遥か足らぬ配給 [甲府] 正に飢餓線上 [大阪] 野菜配給月に一度 [盛岡] 農家も代用食	朝日新聞
2日	早場米の供出 去年の半分 悪天候と凶作に祟められた新潟県	朝日新聞
2日	こおろぎ・バツタも粉食にして配給 栄養失調症の撃退策 柿沼博士の話	朝日新聞
2日	主食 配給内容を充実 六大都市では蒞類を特配 今月中旬から実施 内閣決定	朝日新聞
2日	焼蒞の自由販売 水戸で一人五十銭	朝日新聞
4日	山形高校休校 食糧逼迫から	朝日新聞
4日	宙に迷う救援の蒞 出荷論議で千葉と都庁が食違う	朝日新聞
8日	密殺肉を配給 佃煮等に加工	朝日新聞
8日	連合軍よりの返還油も配給	朝日新聞
9日	千葉県産甘蒞の自由販売 一貫匁僅か二円五十銭	朝日新聞
10日	米穀買上価格の大幅引上げ 政務官会議で要望	朝日新聞
10日	魚 野菜は自由登録 二十一日から二十五日までに切替え サービス本位に改善	朝日新聞
10日	農林省 蒞買出しに出動 一貫五円二・三十銭	朝日新聞
10日	一石百五十円程度 本年産米供出価格引上	朝日新聞

12日	団栗のパンや飴玉「応用食糧こども会」のお土産	朝日新聞
13日	この家庭を見よ お蔭の援軍で辛うじて	朝日新聞
13日	近頃帝都の盛り場風景 売上げ日に八百円 瓢箪池の周りに八十軒の飲食店	朝日新聞
13日	主食配給にこの矛盾 不合理 年齢別と労務加配	朝日新聞
14日	腐りかけた倉庫の麦に、農相 至急対処する	朝日新聞
14日	茨城の諸出荷計画	朝日新聞
14日	駅弁値上げ	朝日新聞
15日	応用食糧連盟と本社共催で応用食糧こども会 日比谷公会堂で開催	朝日新聞
15日	砂糖 油の配給も豊富 米軍占領下の沖縄の昨今	朝日新聞
16日	茨城県真壁町に甘藷加工工場開く	朝日新聞
16日	青鉛筆 千歳飴は飴ならぬいり豆	朝日新聞
17日	野菜当分の間値上げ 公定価の六・七倍どころ	朝日新聞
18日	枠のとれた野菜とお魚 依然出渋る野菜 せいぜい一人二十匁平均 市場の見解	朝日新聞
18日	日曜菜園 蔬菜の簡易加工	朝日新聞
18日	生鮮食料品の統制を二十日全面的に撤廃 価格及び配給業者の自治運営	朝日新聞
18日	供米 一石百五十円 明年産麦価も引上げ	朝日新聞
18日	魚 自由販売で補える	朝日新聞
20日	野菜だけせり売り 魚 家庭へは入荷の七割を	朝日新聞
21日	青鉛筆 相撲とりに「国技奨励」特配	朝日新聞
21日	間値よりも高い蛤市場 「アッ」という間捌けた野菜	朝日新聞
23日	特配の甘藷 予定の二倍半	朝日新聞
23日	足らぬ筈…量目ごまかし 主婦よ お米配給に注意しよう	朝日新聞
25日	「自由値」うんと落ちつく 初日十七円の大根が五円に	朝日新聞
26日	食糧輸入実現へ 見返り物資と船腹準備に この三箇月間全力傾倒	朝日新聞
27日	埃つきおでん大盛況	朝日新聞
28日	消費者間の交換は自由 「米麦取締強化」の疑義を当局に訊く	朝日新聞
28日	米の輸入 朝鮮 南方に期待 農林省提出の希望数量	朝日新聞
28日	魚 野菜に協定値 高い値段に追放の一案	朝日新聞
28日	値下りは生鮮食料から日用品へ	朝日新聞
29日	藤沢市野菜の先買い	朝日新聞
29日	都で廉売店 魚やお野菜	朝日新聞
30日	炭鉱労務者の食糧配給 五合に復活	朝日新聞
12月1日	合成酒等値上	朝日新聞
1日	四百噸余を取押え 帝都密移入物資に光る眼	朝日新聞
1日	政府の本年度管理米麦 茨城県で千九百俵消ゆ	朝日新聞
3日	値下りは望み薄 なんとと言っても品払底	朝日新聞
3日	青鉛筆 大学で蔭の配給が始まる	朝日新聞
4日	銚子に初秋刀魚	朝日新聞
4日	三合配給決議 福井 石川 富山 長野 新潟五県の十八市長会議	朝日新聞
5日	帰らぬ“放出物資” 繊維 食糧など回収は僅か	朝日新聞
5日	粉食の具体策 農相が答弁	朝日新聞
5日	魚の頭や骨でバター 未利用資源こうして活用	朝日新聞
6日	“闇飲み” 封じ幼児へ 乳なき母親へ牛乳の新切符	朝日新聞
6日	米国からかきの注文 宮城県の生産者はりきる	朝日新聞
7日	お魚の協定値 効果は今後	朝日新聞
8日	銚子沖の秋刀魚の水揚げ四十万尾	朝日新聞
9日	塩三倍増産	朝日新聞
11日	いも蔓などで人造米	朝日新聞

11日	都民の栄養状況調査 マッカーサー司令部の要請で	朝日新聞
12日	酒一升 糶は一キロ 平和第一年 お正月用の配給品	朝日新聞
13日	配給 肉 一人二十匁	朝日新聞
13日	新春から台所へ直配 主食 諸から麵や粉に転向	朝日新聞
13日	甘藷 野菜の贈物	朝日新聞
14日	青鉛筆 欧州のインフレは日を追うて悪化	朝日新聞
18日	手数料が十割超過 漁獲増加で引下げ	朝日新聞
19日	配給 婚礼用の酒ふえる	朝日新聞
20日	露天衛生の取締	朝日新聞
20日	魚と野菜高値追放 六円七十銭の大根が六円に 二十五日実施	朝日新聞
21日	禁断の日本食糧 連合軍総司令部が発表	朝日新聞
21日	配給 正月用缶詰	朝日新聞
23日	餅の摺賃三倍に	朝日新聞
24日	新年を考えている 並川長官の話	朝日新聞
25日	供米の実績振わず 早場供出加え一割一分	朝日新聞
26日	貧困者にお魚特配	朝日新聞
27日	米売渡価格 石七十円 配給値段 東京で十キロ当六円	朝日新聞
27日	消費者の配給管理を要求 米の量目不足営団への不満爆発	朝日新聞
29日	魚を現価の半値で 標準協定で値段決定	朝日新聞
30日	お塩を値上げ	朝日新聞
31日	六十人以下の工場 加配米を禁止	朝日新聞
31日	帝都へ正月用のお魚	朝日新聞
31日	八丈島から満載宝船	朝日新聞
31日	おらが正月の餅つき 古ばばが丸める餅の口伝かな (一茶)	朝日新聞

昭和 21 年 (1946 年)

【食に関する記事】

1月1日	供米やや好転す 廿日現在一割五分五厘 日本再建の一切が農民の供出にかかっている	朝日新聞
1日	供米の明暗を衝く 米倉県行脚記	朝日新聞
3日	荒涼たるお正月 お餅のない仙台市 食も石炭もなし北海道	朝日新聞
4日	日本経済極度に逼迫 食糧三百万トン不足 マ元帥の日本占領報告 食糧三百万トン輸入の要	朝日新聞
6日	供出を鈍らすな 内相 地方長官へ指令	朝日新聞
9日	「暴利取締り」初出動 原価の二倍近くで売っていた野菜	朝日新聞
9日	高い野菜打開の協議	朝日新聞
10日	供米まだ二割三分 消費県の努力顕著	朝日新聞
10日	苦難の十万世帯へ野菜 魚の廉売店や無料宿泊所 都援護資金漸く活用	朝日新聞
10日	協定値の魚は別に リンク制の販売方法決まる	朝日新聞
10日	配給 丸ぼしいわし	朝日新聞
12日	野菜にあすから協定せり 標準きめて十日目毎に変更	朝日新聞
14日	リンク制のお魚入荷第一陣	朝日新聞
15日	食糧専売制も考慮 副島農相談	朝日新聞
15日	緊急食糧対策運動 全国農業会が乗出す	朝日新聞
15日	蔬菜の種を朝鮮へ	朝日新聞
16日	外食券の期限延長 十二月分と一月分	朝日新聞

16日	声 供米と農民	朝日新聞
16日	声 曲物は標準反収	朝日新聞
18日	応急米の量を制限 貧困者や配達遅延を優先的に	朝日新聞
18日	一級酒十七円 あすからお酒値上	朝日新聞
19日	主要食糧を強制買上 生鮮食糧品に再び統制の枠 管理強化 緊急勅令近く公布	朝日新聞
19日	空配給既に廿日 札幌	朝日新聞
22日	自治で米買付け 札幌 室蘭両市の事例	朝日新聞
25日	市場を素通り直売 鯨で魚の闇撲滅 「高い公価」に強敵出現	朝日新聞
26日	供米三割四分位 廿日現在生産県は停滞気味	朝日新聞
26日	果実酒にもメチール	朝日新聞
27日	食料輸入開始さる 比島から小麦粉一千トン	朝日新聞
27日	お魚の販売はお台所へ直結	朝日新聞
27日	お酒の相談所 メチールの検査	朝日新聞
28日	声 隠された食糧	朝日新聞
29日	食糧配給に都民の参与制	朝日新聞
30日	天声人語 比島から東京に輸入せられた小麦粉一千噸は米にして六千八百石に当たる	朝日新聞
30日	折角の直売も不評 古鰯 安値で市民に試食させたが	朝日新聞
30日	鯨肉配給はじまる	朝日新聞
30日	口に入らぬ代用パン 社会相を知らぬお役所仕事	朝日新聞
31日	食糧解決の努力要請 小麦粉一千トン輸入の意義	朝日新聞
31日	教室の消費組合 鰯の配給をします 都立五中	朝日新聞
2月1日	比島小麦 全部都民へ 食パンにして米差し引きで配給	朝日新聞
1日	牛肉を自由販売	朝日新聞
5日	供米実績 一月末まで 一千万石を突破す 大生産地一層の奮起期待	朝日新聞
5日	販売に二重価格制 自由党 食糧緊急対策を発表	朝日新聞
5日	食糧に揺らぐ北海道	朝日新聞
5日	新しくて安い魚を 中央水産業会の直配を決議	朝日新聞
7日	小麦六百万噸を欧亜に輸出 米の飢餓救済	朝日新聞
7日	緬甸米の輸出見込薄	朝日新聞
7日	心細い味噌 醤油 醤油は四倍に味噌は三倍以上に	朝日新聞
8日	米 穀物使用を制限 食糧救済に小麦酒精化禁止	朝日新聞
8日	味噌 醤油値上げ	朝日新聞
9日	魚組合の直売店 十五日から各区の盛り場に	朝日新聞
12日	日本食糧事情最悪	朝日新聞
13日	佃煮配給	朝日新聞
13日	不思議や獲物は出ず 隠蔵物資摘発 第一日成果	朝日新聞
15日	輸入小麦近く引渡	朝日新聞
15日	お野菜の移動市	朝日新聞
16日	世界の米不足二百万トン 英外相が報告	朝日新聞
16日	配給 キャンデー	朝日新聞
18日	半値は三月末か 野菜 魚	朝日新聞
21日	やけたぞ 比島パン 廿三日から一人二・三個配給	朝日新聞
23日	生産者米価三百円	朝日新聞
23日	青少年に主食を増配 四月頃から労務加配も合理化	朝日新聞
24日	救え乳児の失調 関東食協牛乳の闇対策	朝日新聞
26日	魚配給も人民の手で	朝日新聞
28日	野菜最高 貫当り十円 生鮮食料の廉売制本極まり 野菜 魚	朝日新聞
3月1日	魚 値段は三分の一に いわし百匁一円五十六銭	朝日新聞

3日	新物価体系を確立 きょう物価統制令を施行	朝日新聞
3日	新円たたる魚野菜 都の入荷めっきり減る	朝日新聞
3日	酒類小売価格引上げ 麦酒大樽一本三円 一級酒一升二十三円に	朝日新聞
5日	嘆き再来『量不足』 監視を要する横流し	朝日新聞
5日	支払い方法で一揉め 常磐 北海道からぼつぼつ入荷か 野菜配給日に一万五千貫か 野菜の公価決る	朝日新聞
6日	待望のお魚どっと 野菜の入荷も殖えた	朝日新聞
8日	「配給制復活」と近郊都市 どう防ぐ「耐乏生活」 帝都 恐れる「割のよい東京」近郊	朝日新聞
8日	まぐろ八円 かつお五円 お魚 切身の公定価決る	朝日新聞
10日	塩の買上価格約六割引上げ	朝日新聞
10日	食糧輸入の先陣切って 今月中 小麦八十噸 塩一万九十噸	朝日新聞
10日	朝鮮からタロ芋	朝日新聞
15日	魚配給に民主委員会	朝日新聞
15日	鱈の㊿売り断行	朝日新聞
17日	魚 予想通りには集らず 再統制発足のきのうの市場 野菜入荷盛り返す	朝日新聞
19日	英対日食糧供給増加に難色	朝日新聞
19日	塩二千三百噸近く塩釜港へ	朝日新聞
19日	パン二斤を配給 米軍の贈物の小麦粉	朝日新聞
20日	都の配給 半数は遅延 手持米に赤信号 頼みの綱は近県の供出	朝日新聞
20日	大根七円 白菜が八円 野菜の春季最高価格	朝日新聞
20日	援護世帯への配給	朝日新聞
20日	外食券食堂値段改正	朝日新聞
23日	小麦船日本へ 先発二隻が米を出帆	朝日新聞
23日	配給 酒 都下一円に二十三日頃から家庭用の酒が配給される	朝日新聞
23日	還元配給の家に余剰米 一部農家にこの大量隠匿物資	朝日新聞
24日	値下り とたんに姿消す 一人一日五匁 始った抱合せ 野菜	朝日新聞
24日	コッペになる七万袋 京浜へ小麦の贈物	朝日新聞
26日	加州米横浜へ	朝日新聞
26日	野菜は結局出ない 出廻り期でも家庭菜園が必要	朝日新聞
26日	終戦直後の十倍に激増 待合 料理屋等の新設許さず	朝日新聞
27日	供米 五割七分六厘 八割突破は僅か六府県	朝日新聞
27日	鯨六十二万貫 北海道から嬉しい便り	朝日新聞
27日	名ばかりのミルク	朝日新聞
28日	千葉 山形の援助に 息つくお米危機 多少の遅配は免れよ	朝日新聞
28日	三多摩にも白パン	朝日新聞
28日	もっとうまく焼けぬか 米将校の配給パン製造視察	朝日新聞
29日	まだもめるお魚統制 魚商デモ 消費者代表に異議あり	朝日新聞
29日	築地に十万貫 鯨肉 三十匁一円で配給	朝日新聞
31日	米麦二万五千トン 非常用に米国から到着	朝日新聞
31日	野菜 魚出廻り状況	朝日新聞
31日	高級料理店相変わらず高値で繁昌	朝日新聞
31日	国民酒場の切符制	朝日新聞
4月3日	青鉛筆 よく噛む運動をはじめる	朝日新聞
3日	日二十石足らず 激減した帝都の入荷量(牛乳) 搾乳より食肉に	朝日新聞
3日	坊やのミルク赤信号 公定価でも月に百三十五円	朝日新聞
4日	魚缶詰百万ポンド 米軍から引渡し	朝日新聞
4日	沖野大佐が語る「虜囚二年」豊富な料理 明るいドライブ 重慶から米国へ	朝日新聞

4日	病人 妊産婦に卵特売	朝日新聞
5日	都で製塩 二万トン	朝日新聞
6日	魚商 消費組合の二本建 魚の配給方法決る	朝日新聞
6日	諸の直売ご法度 前渡し切符に頭痛病む	朝日新聞
7日	供米漸く六割三分 政府全くその日暮し	朝日新聞
7日	おいも廉売打切り	朝日新聞
7日	北海道の食糧危機 強権 時期遅れに 来月からの配給は疑問 二十五日から五十日間の欠配 本州の移入米に依存 買溜めには配給停止も断行	朝日新聞
13日	半数以上が配給遅延 都の食糧事情再び悪化 都民の食糧半分は闇	朝日新聞
14日	千九百トン日本側へ引渡し 米陸軍の余剰食糧	朝日新聞
14日	おいもの保存法考えよ マ司令部食糧生産課長談	朝日新聞
15日	主婦と生活 創刊五月号近日発売	朝日新聞
15日	足りぬ網 塩 輸送力 魚の山も見逃し まだぐずつく配給機構	朝日新聞
17日	窮余の危機打開に 応急米の廃止へ きょうから一般配給繰入	朝日新聞
18日	朝鮮からお魚輸出	朝日新聞
18日	持込み料理もお断り 警視庁 料理飲食業者と懇談	朝日新聞
19日	手持の主食は申告 加配米を整理 応急米は全国廃止 農林省の危機突破対策	朝日新聞
19日	配給遅れ九割以上	朝日新聞
19日	旅行者外食券も抑制 ふえる「都内旅行」外食券に脅威	朝日新聞
20日	缶詰等一万噸 沖縄から日本へ	朝日新聞
20日	日独へ小麦を追加供給	朝日新聞
21日	伯 九十万トンを輸出	朝日新聞
23日	お膝元の大蔵省で不可能の太鼓判 五百円生活副食物の調査 十万石やっと入荷 都長官 危機突破の弁	朝日新聞
23日	配給 お総菜	朝日新聞
24日	尼僧ら施粥の奉仕	朝日新聞
25日	六百三十円の大赤字 新円一ヶ月 四人世帯でこの悩み	朝日新聞
25日	栃木から米 小麦粉 宮城県から八万俵 遅配区域へ練配給	朝日新聞
26日	斯界唯一雑誌 「食生活」四月陽春号	朝日新聞
26日	働く者の食を確保	朝日新聞
28日	特殊飲料 ホドナー	朝日新聞
28日	野菜の廉売制継続 五月から買出しは厳禁	朝日新聞
28日	きょうからコッペ配給	朝日新聞
29日	京浜に小麦粉 パンで配給	朝日新聞
30日	育児必需品 赤ちゃんを健やかに丈夫に育てましょう	朝日新聞
5月1日	赤ちゃんの牛乳又も危機 たたる原乳供出を一律価格	朝日新聞
1日	配給 冷凍甘藷	朝日新聞
1日	米の入荷盛返す 都の遅配一まず峠か	朝日新聞
3日	新食糧に“常盤干”	朝日新聞
3日	“醤油 味噌”の試作	朝日新聞
3日	左党に朗報あり 酒 ビール近く配給	朝日新聞
5日	四月より四割五分安 野菜の最高販売価格決る あすから	朝日新聞
5日	北海道にしん大漁	朝日新聞
5日	二本建てに改正 勤労加配米	朝日新聞
7日	代用そば売出し 一日に一万六千食	朝日新聞
7日	遅配の最高十日五分 前途暗し主食の入荷	朝日新聞
7日	野菜の配給値段	朝日新聞
8日	玄米の味 澤瀉久孝著	朝日新聞

8日	米 互に出し合って 食糧突破に同胞愛の運動	朝日新聞
8日	子供の栄養と米なし弁当の工夫展	朝日新聞
8日	魚の配給率合理化	朝日新聞
9日	パンの代りに小麦粉	朝日新聞
10日	東京復興は南瓜からだ	朝日新聞
10日	井の頭に苺の安売り	朝日新聞
10日	宮城で一合八勺案 実施時期は慎重に考慮	朝日新聞
11日	果物の苗を無料で	朝日新聞
12日	おやつの間買いに つのる家計失調 世論調査に親心の悩み	朝日新聞
13日	食糧 どう切り抜ける 五月危機の中間報告	朝日新聞
14日	ビタミン 鈴木梅太郎著	朝日新聞
14日	主婦の友 五月号 栄養食とお弁当二十六種	朝日新聞
14日	魚は人民管理 都協同組連発足	朝日新聞
16日	日本への食糧八十七万トン	朝日新聞
16日	救護米の運用と割当量決る あすから実施 委員会設け配給監視	朝日新聞
17日	主食に最悪の危機 都営団の保有量半日分	朝日新聞
18日	保有米八千石放出 今日から	朝日新聞
18日	初かつお入荷	朝日新聞
19日	さつまの苗安売り	朝日新聞
19日	配給 米軍缶詰	朝日新聞
20日	牛乳の配給に管理委員会	朝日新聞
21日	独の食糧状態悪化 配給量引下げて	朝日新聞
21日	日用品買う余裕なし 食うに追われる人民生活 役人の見た物価安定	朝日新聞
21日	小麦粉で五日分を 米軍 京浜に放出 米差引であすから配給	朝日新聞
21日	三度米食者は一割 四十九校 学童の食事調べ	朝日新聞
21日	戦災者へ無料で芋苗	朝日新聞
22日	雑炊や雑粉で外食券食堂の行き詰り対策	朝日新聞
23日	銚子でいわしの大漁	朝日新聞
24日	買出し公認は無茶 麦供出に悪影響 地方は挙って反対の色	朝日新聞
25日	一ヶ月千百三十円也 指数から見た都民の生計費	朝日新聞
26日	命つなぐ麦の早刈り	朝日新聞
26日	都民菜園 収穫見込みはよいぞ	朝日新聞
26日	千六十カロリー 都民の摂取量	朝日新聞
26日	秋田から六千石 米軍の小麦粉で息つく都民	朝日新聞
26日	米政府は疾病 騒擾の防止の助けとして 穀類十四万余トン今月中に日本へ送付	朝日新聞
26日	台湾から塩を輸入	朝日新聞
28日	本「妊産乳婦栄養と献立」 藤本薫喜著 「栄養学概論」 鈴木梅太郎 二国二郎 共著	朝日新聞
28日	茨城から来るぞ 六万俵 救援米の入荷 新潟等から一千四百石	朝日新聞
29日	待たれる救護米の到来 月末には遅配平均十五・六日か	朝日新聞
29日	青鉛筆 ちょっと気持ちは悪いが頭髪から醤油	朝日新聞
29日	お酒やめて食糧に 酒造工場から原料供出	朝日新聞
30日	本「健康とビタミンの科学」 医学博士 竹広登著	朝日新聞
30日	団子に化ける牛馬の飼料	朝日新聞
30日	雑誌 婦人倶楽部 五月号 主食代用の栄養料理各種	朝日新聞
31日	水産加工品も統制 ちくわ 鯉節など家庭配給に	朝日新聞
31日	救護米 六月は千石	朝日新聞
6月1日	アメリカから南瓜の種	朝日新聞

1日	栄養失調へ救いの神	朝日新聞
1日	高くなるお野菜	朝日新聞
2日	農具や茄子苗を配給	朝日新聞
5日	移出麦を月別割当 府県内では民主的に需給調査	朝日新聞
5日	中学以上 夏休繰上げ 料亭は一斉休業 食糧危機に国民運動	朝日新聞
6日	救援米の供出県を見る	朝日新聞
6日	馬鈴薯の供出割当	朝日新聞
6日	雑草食の講習会	朝日新聞
6日	声 食生活の考慮	朝日新聞
7日	食糧危機に国民運動 民主的追うち供米促進	朝日新聞
7日	声 牛乳の闇流れ	朝日新聞
7日	都民へ贈る苗床いも	朝日新聞
7日	声 苗床甘藷の利用	朝日新聞
8日	魚の手数料引下げ	朝日新聞
8日	新聞従業員へ藪苗	朝日新聞
9日	粉食加工の実演会	朝日新聞
9日	かわる旅行外食券	朝日新聞
10日	旨く安く栄養高い 代用食料製法 日本栄養科学研究所	朝日新聞
11日	米軍から小麦粉 京浜へ一万トン（六日分）放出	朝日新聞
11日	欠勤を生む欠配 給料貰うと買出 地方行き希望者が続出	朝日新聞
11日	隣人愛の海草食 大森の飢餓突破委員会が配給	朝日新聞
11日	江戸川の救済米運動	朝日新聞
11日	中国から「ふすま」	朝日新聞
11日	生貝は危い 腸チフスに御注意	朝日新聞
12日	北海道へ小麦八千トン放出	朝日新聞
12日	平均遅配日とは	朝日新聞
12日	馬鈴薯の供出割当三百余万貫	朝日新聞
13日	余剰魚類は輸出可能 米側の接案内容 蛋白質不足を補給	朝日新聞
13日	一戸一升ずつ 宮城日農から救援米	朝日新聞
14日	早期出荷へ奨励金 新麦 馬鈴薯の供出促進	朝日新聞
14日	雑誌 主婦と生活 六月号 馬鈴薯を主にした栄養食二十一種発表	朝日新聞
15日	本「食物衛生」高野六郎 柴山知輝 共著	朝日新聞
15日	内食者が外食にかわるとき	朝日新聞
16日	日曜菜園 忘れずに追肥と害虫退治	朝日新聞
16日	穀類七万三千余トン 米軍 受取り方を指令	朝日新聞
16日	農牛の乳も供出 牛乳不足に緩和策	朝日新聞
16日	配給 バター	朝日新聞
17日	農作物の腐敗防止	朝日新聞
18日	雑誌 主婦と生活 六月号 料理 主食の工夫 馬鈴薯料理法 塩の作り方 梅干漬の作り方	朝日新聞
18日	遅配分や全国的 緊急救援米出荷捗らず	朝日新聞
18日	都民は何を食べている？ 今夜のかてはミカンの皮 デパートにのぞく一断面	朝日新聞
18日	代用そばの配給	朝日新聞
18日	孤児に乾パン 缶詰	朝日新聞
19日	遅配 二十日を突破 平均化ようやく実現	朝日新聞
19日	配給 赤ちゃんにお砂糖	朝日新聞
20日	安くなる冷凍魚の値段	朝日新聞
22日	都に米の入荷なし	朝日新聞

22日	床いもでパン作り	朝日新聞
23日	小麦十三日分を放出	朝日新聞
23日	露天には野菜の山 闇と配給がどうどうめぐり	朝日新聞
24日	酢の素 三倍に薄めて使う 最高級イゲタ	朝日新聞
25日	小麦 米二万二千トン 京浜へ第三回目の放出	朝日新聞
25日	過半数が三食とも代用食 麻布本村校で児童の食調べ	朝日新聞
25日	配給 有難や小麦粉と米 都が受け取った米国からの第三回輸入	朝日新聞
28日	薯を倍に値上げ	朝日新聞
29日	東北 関西も遅配 二十日現在 供米七割五分四厘	朝日新聞
30日	青森 山梨に食糧放出	朝日新聞
30日	本「アミノ酸及蛋白質」赤堀四郎著	朝日新聞
30日	貝類あすから値下げ	朝日新聞
30日	街頭の代用醤油禁止 氾濫する代用醤油を正しい配給ルートにのせるため七月一日から勝手な街頭売りを禁止する	朝日新聞
7月3日	主食三十一万余石 七月上旬分十八地方へ放出許可	朝日新聞
3日	真白い粉が四日分 はじめに配給	朝日新聞
3日	貴院食堂で二十二名中毒	朝日新聞
4日	配給 お盆用お酒の配給 学童に肉やすめる	朝日新聞
5日	声 食生活の合理化 東京九段坂病院胃腸科部長 医博 眞寿屋実享	朝日新聞
5日	ズルチンの販売許可	朝日新聞
6日	アイスクャンデーの中毒か	朝日新聞
8日	主食の闇買い 六月の台所 一人が一升八合 野菜の不足一貫五百匁	朝日新聞
9日	都内産馬鈴薯の配給	朝日新聞
9日	寒天買取価格引き上げ	朝日新聞
10日	供米 ようやく二千万石	朝日新聞
10日	はんぺん 中毒百数十名 危ない主食代用の配給品	朝日新聞
10日	心細いお米の入荷 米軍小麦で遅配ひと休み	朝日新聞
11日	食糧七万六千トン 月内に米国から缶詰 小麦など	朝日新聞
11日	はんぺん中毒八百余名に拡大 原料の腐敗か輸送の疎漏か	朝日新聞
11日	青鉛筆 野草を食べましょう	朝日新聞
12日	増税案決まる 酒税 清涼飲料税 砂糖消費税	朝日新聞
12日	原因は原料の腐敗か はんぺん中毒 千五・六百名に拡大	朝日新聞
13日	かにで中毒 一名は死亡	朝日新聞
13日	引換券で配給 民主色盛った牛乳対策	朝日新聞
14日	香港から豆類 硫黄島の余剰米	朝日新聞
14日	四十万八千石(七月中旬分) 米軍から小麦や缶詰など	朝日新聞
14日	東京は十三・七日分 缶詰は都民へ洩れなく 第五回放出割り当て	朝日新聞
15日	また かに中毒 鱈中毒か	朝日新聞
17日	公価で自由販売 リンゴ 蜜柑は優先配給	朝日新聞
17日	配給かん詰食べ方ご注意	朝日新聞
18日	すいとん中毒 一三四名が	朝日新聞
18日	貯蔵食糧配給 無償で要補助者へ	朝日新聞
20日	青果物の新公価決まる 廿日実施 十分の一の安値へ	朝日新聞
21日	野菜の入荷減る 統制会社も歎く新公価	朝日新聞
21日	商工省は酒麴の製造禁止を通牒	朝日新聞
21日	配給 食用油	朝日新聞
21日	味覚の⊙…麦酒一本三円八十銭 料理は三十円以内 来月からぐっと取り締まり	朝日新聞
21日	ジャガイモ異動制限	朝日新聞

23日	米軍七月下旬分 食糧を放出	朝日新聞
24日	配給 輸入小麦粉 母子寮などへチョコレート	朝日新聞
27日	麦 倍額に引き上げ 原価と同額を奨励金に	朝日新聞
30日	青鉛筆 バターの配給	朝日新聞
30日	十一万余キロ 八月分の救援米	朝日新聞
8月2日	米 五千五百万石予想 大部分作況「良」又は「稍良」	朝日新聞
5日	どじょう景気	朝日新聞
6日	四十二万五千石 八月上旬の食糧放出	朝日新聞
6日	小麦粉八日分と缶詰1ポンド 都に輸入食糧配給	朝日新聞
7日	七月中都民一日の配給量 一人当たり一・八合弱	朝日新聞
7日	露店に有毒サッカリン	朝日新聞
8日	粉と缶詰生活 栄養にどう響く 都が三万六千名を細密検査	朝日新聞
13日	食糧三万四千余トン引取指令 チョコレート放出	朝日新聞
13日	期待外れの再統制 野菜 魚 魚の配給店も許可制に	朝日新聞
15日	食糧 輸入や輸送に強力 来年はよくなる 純経済問題で取扱う マ司令部見解	朝日新聞
15日	小麦等五万五千トン放出 缶詰は四万一千トン放出される	朝日新聞
15日	トウモロコシ二日 粉六日分 都内に輸入食糧配給	朝日新聞
15日	トウモロコシの食べ方	朝日新聞
16日	輸入ミルクの飲み方	朝日新聞
20日	玉蜀黍が二割被害	朝日新聞
20日	缶詰を配給本月中・下旬分	朝日新聞
22日	栄養状態は好転 総司令部 多面的な食生活のお陰	朝日新聞
22日	東京湾へ鰯の大群	朝日新聞
22日	焼酎で失明 鮫と蟹の中毒	朝日新聞
23日	湾内鰯にはご注意 コレラ発生で魚市場は大消毒	朝日新聞
23日	大豊作の家庭菜園 とれたぞ南瓜二百万貫 主食代作物はお米で十日分以上	朝日新聞
23日	カブの種子配給	朝日新聞
25日	小麦粉で七日分 トウモロコシ二日分 輸入食糧の配給	朝日新聞
25日	粉食指導者を養成	朝日新聞
25日	秋蒔野菜の種販売	朝日新聞
29日	放出食糧の調理法 (1) 乾燥野菜のもどし方のコツ	朝日新聞
30日	放出食糧の調理法 (2) 粉末卵や乾燥イーストなど	朝日新聞
31日	放出食糧の調理法 (3) 乾燥したとうもろこしで菓子やかゆ	朝日新聞
9月3日	青鉛筆 アイスクャンデー	朝日新聞
4日	新しい家庭用品購入へ通帳 味噌 醤油は個別登録	朝日新聞
4日	配給の小麦から中野で五千名中毒 毒性草木の根が混入か アトロピン中毒の疑い	朝日新聞
5日	重傷は五十名位 中野の小麦粉中毒	朝日新聞
5日	米価の引き上げと五百円生活	朝日新聞
6日	声 食糧を生かせ 神奈川 医師 石川幸一	朝日新聞
8日	小麦粉中毒の原因 佐々木博士が示唆 毒麦(毒成分ロリン)とも考えられる	朝日新聞
11日	荻窪にまた小麦粉中毒 中野と同種 軽症ながら六十三名	朝日新聞
13日	はんぺん中毒 製造禁止のものを販売	朝日新聞
13日	また 小麦粉中毒 深川と板橋で三十八名	朝日新聞
14日	板橋の中毒粉 横浜工場で製粉	朝日新聞
14日	段当たり千九百五十六貫 ジャが諸増収に日本新記録	朝日新聞
17日	世田谷区にまた粉中毒	朝日新聞
20日	無許可で公定販売 現れ出た移動果物店	朝日新聞
10月2日	おり詰め中毒	朝日新聞

5日	料理最高五十円 料理改正 店は三級に分かれる	朝日新聞
5日	主食 大半を国内産で 新米と甘藷でやっと一息	朝日新聞
6日	お芋作りの腕競べ	朝日新聞
9日	腐る藜一万俵 七日の雨に埼玉の悲鳴	朝日新聞
13日	ここ一ヶ月の副食物は 野菜 三日目に五十匁 魚 さんまもぼつぼつ	朝日新聞
16日	また杉並に小麦粉中毒 症状は中野と全く同じ	朝日新聞
16日	お知らせ 初のサンマ到来 仔豚売り出し 上野動物園で	朝日新聞
23日	カロリーなど不足 栄養確保に食生活の転換	朝日新聞
31日	栄養に科学的裏づけ 厚生省で食生活研究所新設	朝日新聞
11月8日	魚と野菜 配給のからくり 闇より高くて少ない	朝日新聞
13日	食用塩を大幅削減 家庭配給はそのまま	朝日新聞
17日	塩の減配 調味料も大減り	朝日新聞
18日	泳ぐ魚をどう捕える 統制より自由競争	朝日新聞
18日	まぐろの行方 沖で大漁 帰りは空船 東京へ闇の水揚げ	朝日新聞
22日	魚はいつ出回るか もうしばらくお待ちを 末端は世帯別の自由登録に	朝日新聞
23日	お弁当に温かい汁 学校給食の準備打ち合わせ	朝日新聞
23日	魚よこせ大会 都から一札	朝日新聞
26日	またお米の遅配はじまる 最高はすでに八日 来月が案じられる	朝日新聞
26日	魚を逃がさぬ相談 市場の荷分けを公正に 少ないながらもよくなる配給	朝日新聞
29日	配給 食用油 バター	朝日新聞
30日	主食以外はみな値上がり	朝日新聞
12月10日	正月から学校給食	朝日新聞
10日	ヤミの魚屋退治 二軒に営業取り消し処分	朝日新聞
22日	モチ米 年内に配給 一人一合七匁	朝日新聞
22日	㊦より三割高 お正月用野菜値段	朝日新聞
29日	嬉しいもちつき 厚生会館にも明るい年の瀬	朝日新聞

あとがき

昭和16年が明けるとまもなく新聞紙等掲載制限令が発令され、国策遂行に支障ある事項の掲載は禁止となった。4月には国民学校令の施行実施により、従来の小学校という名称が国民学校となり、義務教育年限は8年に延長された。通信簿の点数制を廃止、優・良・可方式となったのもこのときであった。全国の学生、生徒は10か月以内に学業を休止して、農業の増産のほか、高度国防体制の整理に必要な諸訓練の実践にあたった。一方、女性にも訓練をと文部省が強調したのは、乳幼児の養護、救急看護、炊出し等の実習を徹底して行うということであった。

この年、千葉市に全国初の隣組共同炊事場が開かれ話題となるが、その経緯は当時の東京日日新聞(昭和16年4月17日夕刊)が詳しく伝えている。そして12月8日「帝国陸海軍は今八日未明西太平洋において米英軍と戦闘状態に入れり」(12月8日午前6時)という大本営発表によって開戦が告げられたのである。年末には英米音楽は禁止ということになったがしかし、わが国に古くから伝わり、明治時代からは学校唱歌教材にとりあげられている「蛍の光」、「庭の千草」などは、日本題名で演奏することは差し支えなしということになった。

17年早々には味噌、醤油が六大府県で割当配給となり、間もなく本格的に割当切符制を実施すると農林省が発表、つづいて衣料にも点数切符制を導入、都市生活者は1年100点で、ちなみにツーピ

ースは27点、ワイシャツは12点というように品目別に決められた。この切符制実施の理由は、当時の商工省の発表を要約すると、大東亜長期戦下の国民衣料生活の安定確保に資せんとする、ということであった。

4月、京浜・中京・阪神地区に米機が来襲、焼夷弾を投下、本土への初空襲であった。下関、門司間の関門トンネルの下り線が開通、新聞がその日の乗客の興奮を伝えている。ちなみに、上り線は19年8月に開通している。18年5月22日の新聞は、時の連合艦隊司令長官山本五十六、南方で戦死と報じた。つづいてアッツ島の日本軍全将兵が“玉碎”という記事に驚かされると同時に漠然とした不安を覚えたことを思い出す。やがて金属回収令が発動されると、早大球場の鉄スタンドや照明灯、甲子園球場の大鉄傘、ついに渋谷駅の名物ハチ公の銅像までが対象となった。

そして学徒出陣もこの年の10月21日のことで、壮行会は、雨の降りしきる神宮外苑競技場で行われた。慶應義塾大学医学部学生の「諸兄よ元気で征け…」との壮行の辞、「誓って頑敵を撃滅する…」と述べた帝国大学文学部学生の答辞、息子を送り出す母の感想、これらの全文がその日の朝日新聞夕刊（18年10月21日）に掲載された。当日見送る立場であった学生たちもやがて戦地へ赴くことになったが、その直前に終戦となったという。この体験を語るができる人もいまでは少数となった。

一方、女子も女子勤労挺身隊として動員され、校内での作業や軍需品工場通いなどに割り当てられ、筆者の母校は勤労のない日曜日を登校日とし、終日専門講義が行われるという、一週間休みなしのスケジュールが続いた。そのうち、19年になると政府は苛烈な戦局に対応する非常処置を決定、帝国ホテル、精養軒、学士会館、星ヶ岡茶寮等の高級料理店をはじめとし、ほかの飲食店や喫茶店も一斉休業となり、その数九千有余にのぼった。新聞も19年3月、夕刊が全廃となった。

米国の爆撃機B29が北九州に飛来、そして東京も空襲に見舞われるという戦局下、学童の集団疎開の基本方針を文部省や東京都が発表、それに基づいて第一陣が群馬県の妙義へ出発、百畳もの宿舎に落ち着くことができ、大きなお握り二つに魚の佃煮というのがはじめての晩ご飯であったという。

20年の東京は3月と5月の大規模な空襲で、家を焼かれ、家族を失い自らも被災した犠牲者はおびただしい数に上った。4月には沖縄本島に米軍が上陸し、地上戦となった。大切な家族や友人を失った人々は、その終焉の地をいまなお訪れて祈りつづけている。悲惨な出来事が続くなか、8月6日広島に、9日には長崎に、米軍は新型爆弾、いわゆる原子爆弾を投下した。

ついに戦争は終結の方向へ。そして8月15日、終戦詔書の放送をもって太平洋戦争は終わりを告げた。

戦争は終わったが、8月末、マッカーサー司令長官の到着によって始まった占領軍による管理行政は、昭和27年対日平和条約、日米安全保障条約の発効までつづいたのである。10月7日の毎日新聞には、「銀座商店街、木造で一斉に店開きへ」と題した記事で、銀座再建の槌音が響く段取りになったことを告げている。焼野原からの復興はこうして始まった。

このような国の状況下であって、新聞にもその影響は現れ、従来どおり3分野に分類して年表を作成することができたのは昭和19年までで、20年は全く不可能となった。記事の見出しが戦争の現実を如実に物語っていたことが、いまにして思えば理解できるが、筆者の世代は神風が吹くと信じていたのであった。

昭和16・17年ごろは、しゅんのものとか郷土食の紹介があったり、料理といえるような記事も掲載されているが、次第に戦争のかけが濃くなって行くに従い、内容に変化が見えて来る。目立つ文字

としては決戦、燈火管制、そして銃後の食生活など。また連日の紙上は配給とか特配の知らせが主たるもので、配給とはいえ、そのころの母親には食物を手に入れるための行列も珍しくなかった。「決戦栄養学」と題して、理化学研究所の所員の科学的な啓蒙記事がシリーズとして組まれたり、「学童と栄養」という13回つづいた内容を見ると、学童期の体位はやがて戦力も左右する…強健潑刺たる学童の生れるところ大東亜建設の日は期して待つべきと思う、と述べられている。

食物が欠乏してくると、食べられるものは何でも食用にするための工夫が促進された。花より食用ということで、不忍池も掘りおこしたが、観賞用の蓮なので根が深く、掘るのは困難であったという。当時、配給される食品は量的には満足できるものではなかった。たん白質補給のため、豚、兎、鶏などを自家用に飼うことを勧めたり、空き地という空き地にはビタミンの多い野菜を育てようと呼びかけ、生きるためのぎりぎりの生活を余儀無くされた日々そのまま終戦の日を迎えた。

戦争が終わったからといっても直ちに食物の事情が好転したわけではなく、その後も殆ど不足の生活であった。しかし焼け跡には青空市場なるものが店開きをし、あらゆるものが並んでいたが、40倍、50倍という値段のものもあり、東京の銀座も闇市化していくような終戦後の一時期もあった。

朝日新聞20年9月9日、原子爆弾と植物という見出しがあるが、その記事は、「原子爆弾の被害地は七十五年間に亘り不毛の地となるであろうと外電は報じ、(中略)果たしてその報道通りか」、農林省の技師らが長崎の現地を視察した報告の結果は、「植物は一斉に芽を吹き、今ではすっかり見違えるばかり青くなっている」で、種別は南瓜、豆類など約30種類あった。しかし「葉が奇形だったり、斑点入りのものが多い」と、「その植物は将来実るかまた実った種子が正常なものになるかどうかということが問題」だが、「兎に角植物は一斉に芽を出しはじめたことは事実…(後略)」というものであった。

最後にこの20年間(1926-45)の資料整理中に、筆者が学生の頃から、またその後の勤務時代を通して、本学とかかわりのあった桜井省三先生、樋口太郎先生、北川敬三先生、山田慎三先生、大嶽六郎先生などの懐かしいお名前に、記事の上で再びめぐり逢えたことは望外の喜びであった。

* 年表作成にあたり、旧字体は新字体に改め(人名等、一部私意による)、歴史的仮名遣いは現代仮名遣いに改めた。また、明確な誤字は修正し、適宜補正を試みた箇所がある。

* 本稿執筆を終わるにあたり、新聞記事の収集、保存、整理その方法等を通して、かつての若輩の学徒に示唆をお与え下さった、いまは亡き人見圓吉先生に深謝申し上げます。

5年間、この機会と場所を提供して下さった昭和女子大学近代文化研究所にお礼を申し上げます。

なお、島田淳子特任教授、大橋きょう子教授にご助言をいただき、データ作成に際し、本学卒業生中平玲子、斎藤慶子の各氏にご協力をいただきました。併せて謝意を表します。

* あとがきに記した事柄は主として下記の参考文献によります。

参考文献

加藤澄江 近代日本食物史—昭和篇のはじめに— 学苑 778号 昭和女子大学文化研究所(平成17年)

加藤澄江 近代日本食物史(Ⅱ)—新聞記事見出しに見る昭和初期(1926-30)の食物事情— 学苑 790号 昭和女子大学近代文化研究所(平成18年)

加藤澄江 近代日本食物史(Ⅲ)—新聞記事見出しに見る昭和初期(1931-35)の食物事情— 学苑 803号 昭和女子大学近代文化研究所(平成19年)

加藤澄江 近代日本食物史(Ⅳ)—新聞記事見出しに見る昭和初期(1936-40)の食物事情— 学苑 815号 昭和女子大学近代文化研究所(平成20年)

昭和ニュース事典編纂委員会 毎日コミュニケーションズ 昭和ニュース事典 第七巻 毎日コミュニケーションズ (平成6年)

昭和ニュース事典編纂委員会 毎日コミュニケーションズ 昭和ニュース事典 第八巻 毎日コミュニケーションズ (平成6年)

昭和史研究会 事件・世相・記録昭和史事典 講談社 (昭和59年)

奈良本辰也監修 読める年表 昭和編 自由国民社 (昭和56年)

半藤一利 昭和史 平凡社 (平成16年)

笹山晴生他6名編 日本史総合図録 山川出版社 (昭和60年)

小菅桂子 近代日本食文化年表 雄山閣 (平成9年)

(かとう すみえ 本学名誉教授・近代文化研究所客員研究員)